滿洲日報

（明治卅八年十二月二十五日 第三種郵便物認可）

昭和九年十月二十八日　夕刊　（日曜日）　第一萬二百五十六號　（一）

十月二十七日發行

發行人　鈴木昇
編輯人　橋本喜代治
印刷人　本村武盛
大連市東公園町卅一番地
發行所　株式會社滿洲日報社

日英第一次專門家會議
兩代表とも技術的に相當突き込んで應酬す

【ロンドン二十六日發國通】第一次日英海軍專門家會議は午前の第二次會談に引續き二十六日午後三時半から英國海軍省で開會

▲日本側　山本少將、岩下大佐、溝田通譯
▲英國側　チャットフィールド大將、リッツル中將、クレエギー外務參事官

諸氏出席審議二時間半にて散會した、右會議においては山本少將とチャットフィールド軍令部長との應酬に終始したが、特に各國共通の最大兵力量決定問題を始め防禦的並に攻擊的兵力の兩部門に亘り艦種別に技術的立場から兩代表とも自國の見解を披瀝した、專門家同士のことゝて技術的且つ具體的に相當突込んだ應酬が進み、殊に共通最大限兵力量の具體的數字については英國側から專門的立場よりして可成深刻な質問が出たものと解せらる、專門家會議は來週に入つて一回續開することゝなるかも知れない

英代表部會議

【ロンドン二十七日發國通】イギリス代表部は日英第二次會商終了後議場に居殘つてそのまゝ直に代表部會議を開き午後零時十分より四十二分まで協議するところあつた、右は日本側より當日新に追加提示せられた軍縮案內容につき各自の所見を突き合せて今後の會議進行方針に就き協議したもので、就中

一、國防平等權と安全保障の關係
一、保有量共通最高限の性質と質的軍縮との關係
一、主力艦縮廢に關する量的及び質的提案

等の諸項については當日の日本代表の補足的說明を基礎として技術委員會よりも種々意見の開陳あり會商內容は益々多岐複雜化の傾向が顯著となつた

コムミュニケ
第二次日英會談

【ロンドン二十六日發國通】二十六日の第二次日英會談後左のコムミュニケが發表された

第二次日英豫備會談は二十六日ダウニング街の首相官邸で擧行された、本日の會談に於て日本代表は日本の新軍縮提案中數箇の點を明らかにするため一層詳細なる說明を行つた、第三次會談は近日中に開會の筈である、本日の會談に於ける双方の出席者は二十三日の第一次會談と同樣である

日本の立場に關し遙に良好なる諒解
イギリス代表部談

【ロンドン二十六日發國通】二十六日の第二次會談は英國側をして日本の新軍縮方式の眞意を呑み込ませる上に多大の効果があつたものと觀られ、第一次會談において頗る難色を示した英國側も漸く我軍縮案の根本精神を諒解するに至つた模樣であるが、總噸數主義を骨子とする共通最大限設定の根本原則に對しては英國側に相當難色があり、從つて豫備會談は相當に長引き幾多の曲折を免れぬものと觀られてゐる、第二次會談後、イギリス代表部は語る

二十六日の會商は双方とも極めて率直に突込んで話合ひ、會議進行上大いに裨益するところあつた、今や我々は日本の立場につき前回より遙かに良好なる諒解に近づきつゝあり、日本側が何を要求してゐるのであるかといふ事につき可成り判然した觀念を得るに至つた、我々はこの新らしき理解をアメリカ側へ傳へたい、來週初めの日米會談に先んじ今一度英米會談を行ひ相互的理解增進を圖りたい心組みである

贊否は別としてわが態度は諒解
會商後山本代表語る

【ロンドン二十六日發國通】日英專門家會商後山本代表語る

相當詳細な質問があり隔意なき意見を交換した、贊否は別としわが態度が明瞭に諒解され又之により先方の言分も判つた、武器の主張は双方に大懸隔があるといふ程ではない、中には大差のあるものもあるが大體において及第點といひ得る、滿洲事變以來の國際關係の反動で、日本の態度はジニネーヴ軍縮會議當時と比べて隨分相違がある、英國から幾分數字の提示があつたが日本は共通最大限等根本方針を提示したのみで數字は出さなかつた、專門家との會見は今一回開いてよいが大體は終了した、米國專門家との會見は未定である

專門委員會開催事情

【ロンドン二十六日發國通】二十六日の日英會談で日本がワシントン、ロンドン兩條約に代る新軍縮條約の基礎となるべき根本原則及びその技術的細目として包藏されてゐる重要點の全貌を餘すところなく說明し盡し、日本は數字的審議に入る前に先づ此等諸原則の決定を主張するものなる事を明確にし、之を理由に數字の提示を拒絕した、英國は旣に日本の原則には贊成しない樣子であるが、會談促進の立場から更に海軍專門家のみで專ら技術的細目の審議を續行するに意見一致し專門委員會はこの見地から開催されたものである

南滿事務局等の細部機構審議
けふ關東廳重要會議

新在滿行政機構官制は旣に法制局において草案を脫稿、關係各省に內示されたが、滿洲現地機關としての關東廳に對し拓務省を通じその意見具申方を通達し來つたので關東廳では豫て三局長始め各課審議室などにおいて法制局草案を基調として詳細に亘り檢討審議を行ひつゝあつたが、二十七日午後一時より長官々邸において大場、日下、中村三局長以下全課長等南滿事務局及び關東州廳並びに各分掌規定等につき細部的の根本方針を協議決定のため重要會議を開くことになつたが、これが決定に基き今後各部局に於てそれ〴〵現狀に卽せる事務機關體系を檢討し、これらを綜合し滿洲現地機關として適切萬全なる官制體系を整へ法制局に對し最長の參考資料たらしめることになつた

廳員慰留に軍部の協力希望
日下內務局長けふ土肥原機關長訪問

關東廳日下內務局長は二十七日正午遼東ホテルに土肥原特務機關長を訪問、二十六日の機關長の新任挨拶に對する答禮の後機構問題今後の善處につき懇談するところあつたが、日下內務局長は關東廳側の空氣を詳細に說明し、三局長はじめ首腦部は部下の慰留には萬全を盡して居り、大勢は大體において漸次平穩化しこのまゝ新機構に投合せんとする空氣が濃厚となりつゝあるもなほ相當强硬なるものもあるにつき、これに對しては軍としても充分協力されたいと述べた、之に對し土肥原機關長は非常に滿足なる旨を答へ、出來得る限りの協力を惜まないものであると約し會談一時間十五分の後辭去した（寫眞日下局長右と土肥原機關長）

騷がず靜觀
土肥原機關長談

會見後土肥原特務機關長は語る

日下局長は廿六日の答禮に來られたのだが話は自然機構問題に觸れた、大變立派な御意向なので、自分としては非常に安心した次第だ、今後はあまり騷がず靜觀してなれば自然解決するのと思つてゐる

日下局長談

土肥原特務機關長との會談後の日下內務局長は記者の質問に對し

今日は特務機關長の新任挨拶に對し答禮に來たのだ、勿論土肥原少將とは同縣人であるし以前からの知人であるから色々の話は出たが、別に機構問題の具體的解決策につき相談などしない廳內の空氣は平穩化しつゝあるのだからあまり騷がないやうにして欲しい、僕等幹部の辭表撤回などまだどうなるか判らないと語つた

公共團體代表の慰留諒とす
關東廳局課長態度

關東廳官吏慰留のため蹶起した全滿各地の公共團體は二十四日奉天において全滿公共機關聯合會を組成し邦家のため隱忍自重して留任されたき旨の決議を行つたが、更に旅大において慰留運動をなすべく同聯合會中の各團體代表者たる石田奉天商議會頭、野口奉天居留民會長、安彥營口、上郡山開原、長井鞍山、山下大石橋の各地方委員議長又は委員および中原撫順實業協會副會長の七氏は打揃つて二十六日來連、同日赴旅、午前十時より關東廳において三局長および各課長と約二時間に亘つて會見、委曲を盡して留任方を勸告するところがあつた、公共機關聯合會側の意向としては機構改革問題に對する關東廳側の主張は實際においては目的の大半を達したものとも考へられる、しかるに連袂辭職が傳へられるのは民留民の憂慮に堪へざるところであるから既往の經緯は水に流して非常時局の重大國策に協力されたい、それには三局長をはじめ各課長がまづ飜意して全廳員一致して留任されんことを切望するといふにあつたが、これに對して三局長以下各課長とも、諒とする旨を答へ一同辭去した、なほ全滿公共機關聯合會の代表者の一半は新京に赴き關東軍當局に對しても善處方について要請して居ると

統制委員會本部を訪問

全滿公共機關聯合會は廿七日午前十時大連警察統制委員會本部に六名の折衝委員を派遣し新機構順應を要請した、警官側は統制委員會春川部長及び大連署代表高橋、中島、池田、日笠の諸氏出席、約二十分間に亘つて會談、警官側は飽くまで初志の貫徹を强調し結局何等具體的成果を得なかつた

增稅問題
主稅局で作成した二案の內容
藏相の裁斷を待つ

【東京二十七日發國通】大藏省主稅局においては豫てより增稅に關する調査研究の結果漸くこの程成案を得藤井藏相の斷の一字によつて何時たりともこれに應ずる準備を整へてゐる、而して主稅局の原案は大體左の如き二案より成つてゐるが、第一案は金額少く大正八年における戰時利得稅の如き類似せる前例もあり、實施の方法よろしきを得ば經濟界に與ふる影響も比較的少なく實現容易であるところから頗る有力視されてゐる、而して主稅局は兩案を劃然と區別することなく場合によつては兩案を折衷して增稅の卽行を具體化せんとする意向の如くである

第一案　非常時利得稅なる新稅を創設する、非常時利得稅は法人及び個人に區分して賦課す法人の場合は課稅對象となる法人の資本金最低限度を定め利益金の百分の十內外を徵收す、個人の場合においては過去數ケ年の實績に徵した所得增加額を決定し之に或る程度の課稅をなす而して課稅法人に對しては事業の性質上多少の例外を置くも特に軍需工業、爲替關係業者等所謂インフレ事業に限定せず、右により年額約三千萬圓の增收を期す

第二案　法人所得稅、相續稅資本利子稅の稅率を引上げ約一億圓內外の增收を期す

愛國聯盟の宣言
直ちに活動を開始す

滿洲各地の愛國諸團體は軍縮問題滿洲問題等の時事問題について寄々意見の交換中のところ、先般新京の愛國團體の代表が來連を機會に各團體の幹部の懇談が開かれ、その結果各團體の大同團結を行ふことに決定、名稱を在滿愛國團體聯盟と稱し、本部を大連に各地に地方事務局を設けることになつた參加團體は現在のところ

大亞細亞建設社、滿洲青年同志會、興亞青年同盟、全亞細亞會、天兒社、惟神會、聖烽會、全滿在鄉軍人有志會、長勇會、明德會滿洲本部

の十團體で、これら全滿愛國團體の連絡統制指導を以て目的とし、長谷部照俉少將を臨時事務總長に推した、なほ同團體は二十七日左のごとき宣言を發表し直に活動を開始した

宣言

現下日本は未曾有の非常時に直面す、之を克服し大義を世界に布かんが爲には國民擧つて協力和合し、一貫せる國策の遂行に邁進すべし。若し之を阻害するものあらば內外を問はず斷乎之を一掃する覺悟と準備を有す。時局今や切迫し一日も苟安を許さず、玆に愛國團體は聯盟して難局打開の爲に聖陣を張らんとす、以て日本の滿洲國策遂行に獻身し、併せて日本に向ひて在滿日本人の眞正なる輿論を知らしめ、共に國難克服に拮据せんことを期す。

右宣言す。

政民聯携問題
野村代議士談

民政黨代議士野村嘉六氏は臨時議會を前に滿洲各地を視察のため二十七日入港あめりか丸にて來連、船中政民聯携問題に對して左の如く語つた

政民聯携問題は內地方面で相當問題になつてゐるがこれは五月頃政民兩黨の有志の間に思想、教育、米穀の政策協定が表面化し、民政黨より米穀調査委員長に小山君、思想、教育調査委員長に自分がなり、政友會でも色々と研究をなしてゐたものであるが、結論には未だ到達せぬ、聯携問題はこれが機運となつたので現在もこの問題に對し熱心に研究運動を續けてゐるが、目下のところ新聞等に報ぜられてゐる程度までしか至つてゐない

（寫眞は野村氏）

司法制度視察
滿洲國司法部員

滿洲國司法部では今回日本の司法制度視察の爲め同國司法部中のエキスパート二十三名を日本へ派遣することゝなり、一行は二十七日午前七時四十分着列車にて來連、同日出帆のうすりい丸で離連した、團長は奉天高等檢察廳長徐維新氏で同氏以下九名が視察の途に上り殘りの一部は日本への留學生として元氣よく日本へ向つた

有吉駐支公使
來月上旬北支へ

【上海二十七日發國通】有吉公使は來月五、六日頃有野書記官、横川書記生隨伴、北支へ向ふに決定した

我等の訪日は單なる漫遊
袁滿洲國參議語る

滿洲國參議袁金鎧、增韞、胡嗣瑗、寶熙氏ら訪日視察團一行十二名は二十七日午前七時四十分來連した金州迄出迎への記者に袁金鎧氏は語る

今度の旅行は政治的意味をもつたものではなく、多年憧憬の焦點であつた秋のニッポンを鑑賞するためと、日本にゐる私達の舊友と語るための漫遊にすぎない、日本には未だ一度も行つたことのない我々ですから…日滿親善視察團と見做してよいかつて？いや、視察とかそんな固苦しいものではありません

一行中の寶熙氏は現代日滿支を通じて書に於ては第一人者で、丁度奈良の正倉院が十一月三日より十二日間在庫書畫を曝書するため、その中に唐時代の有名な書畫が豐富にあるので、それを見るのが最上の樂しみだといつてゐた、大連驛頭には滿鐵杉本秘書役はか多數日滿官民の出迎へあり、午前十時矢田參議を加へてうすりい丸で出發した

（寫眞右より增韞、袁金鎧、胡嗣瑗三氏）

郡山滿鐵理事

公主嶺以南の沿線視察のため二十七日午後四時二十分發列車にて北行の筈

ク領事赴哈

【ハルビン二十六日發國通】在チチハル、ソ聯領事クズネツォーフ氏は二十六日午後二時半來哈した

扶桑丸船客

【門司特電】二十七日發二十九日大連入港豫定の扶桑丸の主なる船客諸氏

日本製鐵取締役吉田豐彥、大連市會議員高塚源一、同熊谷直次、大學教授伊藤誠哉、神戶市商工部奉天出張所主任野添愼、會社員秋田可作、海軍々人杉江一三、浦田哲一、小河愛吉、大澤正之丞、平野源藏、ドイツ染料會社代表一行ベイラ外三名、アメリカ副領事（北平駐在）ドラムライト

人事

▲山田長三郎氏（陸軍省軍務課長）二十七日午前七時着列車にて來連うすりい丸で歸任
▲早川唯一氏（奉天憲兵隊副官）二十七日午前七時四十分着列車にて來連
▲秋田豐作氏（鐵路總局機務處運輸課長）同上
▲上野巍氏（元國務院總務廳總務科長）同日うすりい丸で內地へ
▲中村明星氏（新京通信社長）同上來連
▲滿洲國司法部日滿法曹協會代表一行十五名　同上
▲小林準氏（陸軍步兵大佐）二十七日午前九時發はとにて新京へ
▲神鞭常孝氏（昭和製鋼所常務）同上歸鞍
▲藤井論三氏（富山商工會議所顧問）同上新京へ
▲野口多內氏（奉天居留民會長）同上歸奉
▲王杼氏（北滿鐵路監事會秘書）同上歸任
▲野村嘉六氏（代議士）二十七日入港あめりか丸で來連
▲三輪環氏（滿鐵監查役）同上歸連
▲小山倉之助氏（滿洲行政學會社長）同上來連
▲渡邊傳氏（中山太陽堂理事）同上
▲中野義雄氏（一等軍醫）同上
▲山際滿壽一氏（關東軍囑託）二十七日出帆うすりい丸にて內地へ
▲小澤太兵衞氏（新隆洋行主）同上
▲矢田七太郎氏（滿洲國參議）同上
▲袁金鎧氏（同）同上
▲寶熙氏（同）同上
▲胡嗣瑗氏（同）同上
▲增韞氏（同）同上
▲徐維新氏（奉天高等檢察廳長）同上
▲婁學謙氏（奉天同法院長）同上
▲吉益匡賢氏（日本柑橘滿洲輸出組合理事）同上
▲藤田順氏（滿洲土建協會顧問）同上內地へ
▲防野幾之助氏（日本柑橘滿洲輸出組合理事長）同上

蛇角

折も折、英米蘭三國から飛んだ橫槍が日本へ突き出された。

◇

問題が石油だけに滑べり過ぎたのかも知れないが、この橫槍の方向は全くのお門違ひ。

◇

當の滿洲國もまたお門違ひだといつて居る、お門違ひ序にその槍先を支那に向けたらどうだ。

◇

誤解があるからその誤解を解くべく說明したら、それをまた內容公表だと誤解して非難した。

◇

山口武官大迷惑だがこれは誤解でなくて曲解のせいだらう。

哭くな青春（25）
三上於菟吉
吉郁二郎畫

銀座の人人（その十）

さつきは、百合子とまで懸意でもなかつたし、一緒に當のない散歩をする程、餘裕のある氣持でもなかつたが、しかし、ふり切れも出來なかつた。

彼女も、寂しいには寂しかつた。

「さうね、ぢや、少し歩きませう」

二人は、肩を並べ、靴音をそろへて、歩み出した。二人とも、さまで美人と言ふでもなかつたが、揃つて大柄な、立派な體格の娘たちだつたので、かなり、往き來の青年たちの、目を惹くに充分だつた。

百合子は、歩みながら、あたりへ媚のある、微笑を送ることを忘れなかつた。京橋まで行く間に、二三度は、若い男女と、目禮の挨拶を交した。なか〳〵社交的な娘であることは、それでも解つた。

「わたしも今夜、このままでは、眠れないやうな氣がするのよ。何か輕い飲物をのみませうよ」

京橋をこして間もなく、百合子は、とある橫丁の、薄紫色の光が煙つてゐる、ドアを押して、さつきを招き入れた。

小さな、室には、櫛の花のやうな、夢はしい光が、朧にたゞよつてゐた。顏馴染らしい女給が、

「まあ、ようこそ——」

と、百合子を迎へた。

百合子は、娘らしい女給に、微笑して見せて、隅のテーブルに坐つた。

室の中は、他に客の姿がなかつた。二人はアルコールがいくらか入つた、甘い飲物をのんだ。

ふと、百合子が言ひ出した。

「あなた、蘭子さんと、お親かつたわね？」

さつきは、はつとしたやうに相手を見た。

「ええ、この夏は、フランス文學の講習會で、毎日お目にかゝりましたわ」

さう言ひながら、あの、か弱く美しい蘭子の面影を目に浮べて、苦い胸苦しさを、感ぜずにはゐられなかつた。

彼女は、蘭子と義文との仲を、はつきり安心して、考へることが出來ないのだつた。

百合子は、さつきのさうした氣持には、恐らく氣がつかなかつたであらう、彼女は、例の、あけすけな調子で、

「蘭子さんと言ふ方、仲々野心家だつて言ふぢやないの？」

「どうしてでせう？」

と、さつきは當らず觸らずに言つた。

「だつてあの方、フランス文學の堀田さんに、隨分厚がましく、接近して行つてゐたと言ふことを、誰からか聞いたことよ」

さつきは、義文の名が出たので、ぎくりとして、急には、返事が出來なかつた。

——この人は、何もかも知つてゐるのだらうか？まさか——

さう思ひながら、しかし答へに窮してゐると、

「あなたのお友達のことを、かれこれ言つては惡いけれど、その評判は隨分高いのよ」

「わたし、ちつとも知らなかつたわ」

と、さつきは、辛うじて呟いた。

「あなたが、知らないのなら、嘘かも知れないけど、でも、堀田さんが家庭がさみしいのにつけ込んで、何かたくらんでゐるらしいと言ふ話を、堀田さんとも蘭子さんとも知つてゐる、識物新聞の河田さんが、言つてゐるつていふわ」

記念式とバザー

大連神明高女は今年校齢二十歳に達したので二十七日午前十時から同校講堂で創立二十周年記念式を擧行したが、來賓多數列席の上君ヶ代合唱、勅語捧讀、式辭、關東長官告辭など嚴肅に行はれ、併せて十年以上勤續の大野、中村、野口、茂木、田中、前田、伊佐、大田諸先生の表彰を行つたが、市中でも古い女學校だけに多數の同窓生が目立つた、式後正午よりは三階大ホールで祝賀宴、一時五十分よりは卒業生、生徒等の祝賀音樂會等校内には終日喜びが溢れてゐた（寫眞「上」記念式の光景「中」生徒作品展覧會）

恒例の羽衣高等女學校のバザーは二十七日午前九時より同校講堂で開催會場は生徒、校友數多の製作品で美はしく飾られ、更に松風會主催各流生花の陳列會、新光倶樂部佐藤俊子孃個人寫眞展等も華やかに色をそへ、生徒の學藝餘興は完全に觀覧者の目と耳をうばつたこの外食堂にては生徒の手料理賣試食會を始め、三越その他の賛助店の婚禮調度品陳列優秀商品の陳列などあつて終日講堂にあふるる觀覧者を喜ばせた、尚明二十八日の日曜も本日同樣午前九時開催午後四時閉會の筈（寫眞下）

幸運摑んだ六十名 異色ある職業人
應募の志望者二千名を突破 あす"あじあ"試乘會

二十八、九兩日に亘る滿鐵々道部主催の"あじあ"試乘會はいよいよ二十八日午前八時五十分大連驛を出發、華々しく行はれるが滿鐵からは八田副總裁、山崎理事、石本總務部長等その他旅大の知名士約百名、これに募集に應じた民間からの志望者中當籤の幸福を拾ひ當てた六十名とが試乘する、何しろ流行の尖端を切つた"あじあ"に大手を振つて臨學守を決め込んで記念品まで戴けると云ふ破天荒のサアビスだけに"あじあ"試乘の志望者は二十六日の締切までに二千名を突破し内婦人が二百名と云ふ盛況振りに宣傳課を面喰はしたが宣傳課では五十餘種の職業別に嚴正な抽籤をなしたので、當籤の幸福者六十名は音樂家、畫家、教師、土木事業家等に至るまでの職業オンパレードであるが内婦人二十四名で異色なのは美濃町の藝者さん四名と星乃家の仲居さん二名で民間ロータリークラブを現出するわけだ、なほ日歸り往復の希望者のため特に蘇家屯で一分間停車の豫定であつたが運轉の都合上取止めとなつた

お歴々をずらり證人に引出す
薩摩温泉の土地をめぐる繋爭 けふ口答辯論開かる

市内初音町二六五番地薩摩温泉の土地を繞り温泉主村田平次郎氏が大連郊外土地株式會社山川吉雄氏を相手取つて起した十一萬四千二百四十圓の損害賠償請求事件の口頭辯論は廿七日午前十一時から大連地方法院民事部川畑裁判長係りで開廷、二年越しもつれた事件解決のため關東廳民政部時代の内務局長鷹瀬直幹、財務課長西山左内、上田官有土地財産主任及び當時の安川東拓支店長等外觀名の證人訊問を行ふこととなり舞臺の轉換に興味を惹いて來た――原告村田氏の主張は

現薩摩温泉の土地（七百卅餘坪）は元官有地で大正八年原告が滿人王某外六名から貫借權を買收占有した、然るに翌年郊外土地會社創立されるや被告會社は原告旅行不在中にあたかも原告の承諾あつた如く裝ひ、老虎灘一帶の土地と共に原告土地を包含關東廳に拂下出願した、原告はこの事實に氣付いて驚き被告會社及び關東廳に嚴重交渉の結果、大正十年九月被告會社代表古財治八、鷹瀬内務局長、西山財務課長、小川（現大連市長）地方課長、安川東拓支店長及び原告立會の下に原告に拂下決定したが一面被告會社が一括拂下を出願してゐるので拂下統制上被告會社の名義で形式的拂下を受け立替拂下金を支拂つた後、原告名義に書換へて貰れと會社に請求したが整理を口實に應ぜなかつたところ被告會社は昭和二年十二月原告土地を東拓に賣却したこれが爲め原告は十一萬四千二百四十餘圓の損害を蒙つたといふにあり、これに對し被告の郊外土地會社では

會社が老虎灘一帶の土地と共に原告土地を含めて關東廳から拂下げを受けたもので、殊に舊官有地は個人に拂下げをなさず、原告の主張は誤りである

と反駁、二年越し繋爭を續け二十六日口頭辯論では前會社代表者古財、八氏等の證人訊問を行つたが結局兩者主張の相違に就いて當時關東廳幹部の證人訊問を行ふこととなつたものである、なほ前回口頭辯論に訊問財務課長で現電々會社監査役西山左内氏の證人訊問あり、被告會社に有利な證言があつたが次回訊問が行はれることとなり、鷹瀬前内務局長、安川前東拓支店長の證人調べは東京地方裁判所民事部に囑託された

感激の慰問文
死んだ戰友に代つて 遙々小學生を訪問

【東京特電二十七日發】二十六日午後桃園第二小學校を訪れ戰死した戰友から頼まれ慰問文の御禮に來ました六年生に會はせて下さいと申込んだ兵士があつた、右は高岡二等看護兵で滿洲で此の程名誉の戰死を遂げた戰友歩兵二等兵瀧田七郎兵衛氏（岐阜縣出身）の戰友で瀧田君が公主嶺で最後の息を引取る時高岡君に

自分が一番感激したのは中野桃園小學校の一生徒から貰つた慰問文でどんなに自分を力づけて呉れたか分らぬ是非御禮に行つて呉れ最後のお願ひだ

と頼んで息絶えたので右の訪問となつたのであるが先生達は非常に感激し早速集めた六年生に高岡君は涙に咽びながら戰友の眞心を細々と述べて純眞な子供達に非常の感動を與へた

京圖線で列車襲撃
三百の共産匪

【奉天電話】二十七日午前四時十五分頃京圖線濛江發新京行き第五十二列車が亮兵臺南滿間九百二十三キロの地點で共産匪三百名が路線に石塊を積重ね運行妨害をなし列車の徐行と共に左側山上より一齊射撃を始め乘客滿人女一名は右大腿部に貫通銃創を受け列車は三十數發の彈痕を殘して通過したが詳細は不明である

"生きた學問をさす"
康德學院の講師として赴任の上野氏、車中に語る

元滿洲國々務院總務廳總務科長上野巍氏は二十七日午前七時四十分着列車にて來連したが氏は今回駒井徳三氏の阪神寶塚に建設された康德學院の講師に招聘せられて赴任の途にあるもので車中に同氏を訪へば語る

今回辭表を提出して學院に於て滿洲、支那の政治經濟の事情を講義する事になつた、學院の組織は同紙に掲載中であるが、愈々來年四月より授業を開始するが、程度は專門學校程度で係累なき十人の學生を身體、思想、學力の點より考査し、之に衣食住を給與し、三年間のあひだ我等も之と寝食を共にする、講師は帝大、商大、阪大等の著名氏が當られるが、現代の學校組織の缺陷を完全に除去し、主として現代の經濟、政治に就て研究をなし之を詳細に亘り檢討、生ける學問を施こし語學の教授をなし將來日滿の第一線に立つて活躍する人材を養成する積りだ

校舎は目下建築中であるが氣候清爽な寶塚において薫陶された之等の學生から將來日滿を背負つて立つ偉材が續出するであらう

白菊號
平壤へ向ふ

【新義州二十七日發國通】松本菊子孃の白菊號は二十七日午前八時十五分太刀洗出發平壤へ向つた旨當地飛行場に入報があつた、當夜平壤に一泊新義州着は二十八日午前中と見られる

功臣、官吏の群で宛ら滿洲國船
檣頭たかく五色旗を飜して うすりい丸出帆

二十七日出帆うすりい丸は宛も滿洲國デーの觀を呈し日滿連絡船に相應しい船出をした、先づ日本訪問の矢田七太郎參議に案内された滿洲國の貴金鑄、增韞、胡嗣瑗、寶熙の四參議は何れも

老人 揃ひで側近の者にいたはられつゝ乘船したが、新聞社のカメラ班に"デッキの上で撮れ"と乘船する時の痛々しさは何處へやら先に立つて元氣よく階段を上る有樣、日本語は判らぬながら滿面に笑を浮かべて見送りの人々に感謝を捧げる、この一行十三名に續いて日本の司法制度見學のため赴日する滿洲國司法官徐奉天高等檢察廳長、妻國法院長等一行二十二名を始め日本の教育制度見學の哈爾濱北滿特別區教育會觀察團

一行 十五名は教育主事原謙一氏に引率され緊張した面持で三等の一角を占めたが主として小學校の校長で孰も日本は初めてとある、この外に建國以來總務科長の要職にあつて寧日なく建國の基礎確立に奔走した上野巍氏は今回退官して恰もこの船で鄕里へ、かくて定時の午前十時うすりい丸檣頭に五色旗を掲げて敬意を表しつゝ出帆した

雪を血に染め 悲戀の鐵砲心中
國道局警備員と酌婦

【新京電話】國道局警備員山梨縣生れ岡友吉は豫て馴染の城内東三馬路料亭綠の酌婦ユカタ事奥儀氏（二二）と新京郊外國道局東南六千米の畑中で折柄降り積つた朝雪を紅に染めて警備用歩兵銃で鐵砲心中をとげてゐるのを廿六日午後六時發見されたが屆出により新京領事館警察より田中警部補以下現場に出張檢視の後、男の死體は警備隊に女は料亭主にそれぞれ引渡した、原因は御多分に洩れず添ひ遂げられぬことを悲觀した結果らしい

チチハルにまた天然痘

【チチハル二十七日發國通】去る二十三日チチハル市内に天然痘發生し市民に多大の恐慌を與へてゐるが又復市内新開路文房具商本籍京都市烏丸通り園丑之助（三五）は二十五日醫師の診斷により眞性天然痘と決定直に隔離した、之でチチハル市内に二名の患者となり非常に市民の恐怖を招いてゐる

李經芳氏遺骨

元駐英、駐日、駐白公使にして去る九月廿八日大連に於て逝去した故李經芳氏の遺骨を本國に埋葬するため遺子李國壽氏は一行七名と共に二十七日出帆の大連丸で上海へ向つて離連

全日本軍の…投手として上京
米國職業團と對戰する 滿倶の濱崎主將

近く來朝する米國職業野球團と試合する全日本選拔野球軍の投手に推薦された滿鐵々道部勤務現滿倶の投手で主將の重任を帯びる濱崎眞二氏は二十七日出帆うすりい丸で關係者多數の見送りを受け上京したが語る

試合は十一月四日頃から開始されて歸連するのは十二月初旬になるでせう、試合は勿論問題にならんことは當然のことですが、ベーブルースが來てゐることはファンにとつても又我々ベースボールをやつてゐる者にとつても嬉しいことで、これを樂しみにまあ出來るだけのことはやつて來ます（寫眞は濱崎氏）

闘志火と燃ゆ
早慶戰・華々しく展開

【東京特電二十七日發】秋の東京大學野球リーグ戰もいよいよ終幕に近く法政の優勝も決定した後ではあるが今シーズンの掉尾の人氣を背負つて立つ天下の早慶戰、優勝への望みはなくとも傳統に生きる兩校の試合はファンの人氣を獨占し戰前既に觀衆は全スタンドを埋めつくし春の一戰に四―二で敗れた早大は今秋兎角振はざる慶應に對して鬪志滿々たる攻撃陣を布き慶應亦早大を邀撃せんと戰前すでに殺氣は神宮球場に漲り一塁側早大、三塁側慶應の兩軍應援團は「都の西北」と「若き血に燃ゆる」校歌の應酬だ、この日朝來薄曇り、雨を氣遣はれながら午後一時三十四分藤田（球）野本、齋藤、永澤（壘）四氏審判、慶應先攻にて開始された

早大	竹谷	佐武	高須	長野	小島	夫馬	鵜飼	若原	島津
	8	5	6	7	4	9	2	1	3

慶應	本田	櫻井	山下	岡	中村	碣石	水谷	岸本	勝川
	7	2	8	4	3	5	9	1	6

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	合計
慶大（先攻）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
早大	1	0	0	0	0	0	0	0	A	1A

バッテリー 慶大 岩本（投）櫻井（捕） 早大 若原（投）鵜飼（捕）

經過

◇一回 慶應本田投ゴロ、櫻井投手足下を抜く單打に出て山下四球に櫻井二進したが岡中飛中村二ゴロ▼早大竹谷右中間二壘打に出て佐武遊撃強襲單打に竹谷三進高須の三ゴロに竹谷還り佐武一塁三塁に走つて刺され長野左飛

◇二回 慶應碣石三ゴロ、水谷四球に出でたが岸本の三ゴロに併殺▼早大小島三振、夫馬三振、鵜飼中飛

◇三回 慶應勝川三振、本田投手足下を抜く單打に出て櫻井遊ゴロに封殺、山下三ゴロに櫻井も封殺▼早大若原遊ゴロ、島津一壘頭上を抜く單打に出て竹谷の一ゴロに島津封殺佐竹右中間單打に竹谷一塁三進したが高須三振

◇四回 慶應岡左飛中村一ゴロ、碣石左飛▼早大長野四球に出て小島三ゴロに併殺、夫馬三振

◇五回 慶應水谷一、二壘間を抜いて出て岸本投飛後水谷投手牽制球に刺され勝川三ゴロ失に出たが本田三飛▼早大鵜飼四球に出て若原捕前バント野手封殺せんとして二壘に惡投し鵜飼一壘三進島津の遊ゴロに若原二進、竹谷三振後佐竹四球二死滿壘となつたが高須の遊ゴロに早大又も好機を逸す

◇六回 慶應櫻井三邪飛、山下四球に出て岡遊ゴロ失に山下二進走者一、二壘よりの好機となつたが中村三振、碣石三邪飛▼早大長野小島共に遊ゴロ永澤（夫馬の代打）左飛

◇七回（早大永澤右翼となる）中山（小谷の代打）三ゴロ、岸本左飛、勝川中飛▼（中山右翼となる）早大鵜飼右飛、若原右飛、島津二壘右を抜く單打に出て竹谷前單打に續いたが佐武遊飛

妻と店員に斬り付く
新京の刀劍師

【新京電話】朝鮮咸鏡南道生れ市内梅ケ枝町三ノ一六刀劍師秦大川（三五）は二十七日午前九時頃自宅に於て妻女のシン子（二九）と同家の外交員宋景鱗（二〇）の兩名に日本刀を振りかざして斬付け負傷せしめ直に新京警察署に自首して出たが、右は外交員の宋が秦と同家隣のおでんやの女給京子（二九）との間に私通せる事實ある如く妻のシン子に中傷しその爲二、三ケ月前から夫婦仲に不和を生じてゐた所二十七日朝秦は妻女のシン子と宋及び隣家の京子を自宅に呼んで對談中激昂した揚句前記の始末に及んだものであるが、宋は頭部に三ケ所、腕に二ケ所の重傷を受け滿鐵病院に入院加療中、妻女のシン子は肩に一刀浴びせかけられたが生命には別條ない模樣で自宅で加療中

寄附電話抽籤

電々會社では二十八日午前十時より市内敷島町青年會館に於て遞信局、警察新聞社側立會の上急設寄附電話申込者四千名の抽籤を行ふ筈

天氣予報

二十八日 北西の風晴一時曇

滿潮（午前一時二十分 午後一時三十分）
干潮（午前八時五分 午後七時三十分）

各地溫度（二十七日午前十一時）

大連	一三	奉天	九
旅順	一五	新京	七
營口	一一	新義州	一四
ハルビン	六	承德	一一

今日の小洋相場（十一時半） 金百圓につき百十一圓三十錢

親鸞聖人 (32)

梅檀篇

吉川英治作　山村耕花畫

かげらふ記（八）

「あ、もし」

介はあわてゝ、吉光の前のことばを遮つた。

「――おしかり遊ばすな。和子樣のは、世間のいたづら童が、飛びまはるのとは違ひまする」

「でも、かういふ時には」

「ご尤もです。けれど、介のぞんじますには、おそらく、和子樣は、お父君のお病氣に、小さな胸をおいためあそばして、それを、お祈りしてゐたのではないかと思はれます」

「ほ……何うして?」

「介が、諸方をお探しして行きますと、いつか、和子樣を負つて、粘土を取りに參りました丘の麓にかう、坐つておいであそばしました」

介は、庭へ坐つて、十八公麿が

してゐたとほりに眞似をして合掌した。そして、三體の彌陀如來の像を作つてゐたこと、一心に何か祈念してゐたこと、それがとても幼い者の振舞とは思はれないほど嚴かな居ずまひであつたことなど目撃したまゝを、つぶさに話した。

「まあ……和子が……」

母の眸には、涙がいつぱいで、それが笑顔にかはるとたんに、ほろりと、白いすぢが頬に光つた。

「では……そなたは、お父君のおいたつきが癒るやうにと、その小さい手で、御佛の像ちを作つてゐたのですか。……さうかや?」

髮をなでると十八公麿は、母の睫毛を見あげて、幼な心にも、何か、すまないものを感じるやうに、そつと、うなづいて見せた。

報らせを聞いて、宗業も馳つて來る、乳母も、眉をひらいて駈けてくる。

侍女や下婢までが、そこへかたまつて、口々に、十八公麿の孝心を稱へた。それに、粘土で佛陀の像を作つてゐたといふことが、大人たちの驚異であつた。

宗業だけは、さう口に出して、賞めそやしたり稱へはしなかつたが、家族たちの手に交る交る抱き上げられて嬉々としてゐる十八公麿の姿に、まつたく、心を奪はれたやうに見入つてゐた。そして、

（この子は――）

と、將來の眩さを感じ、膝まづいて、禮拜したいやうな氣もちに搏たれた。

するうちに、築土の外に、黄いろい砂ほこりが舞つて、がやがやと、口ぎたない喚き聲がきこえた。

「こゝぢやな、貧乏公卿の有範の邸は」

介の後を追つて來た壽童丸と、その家來たちらしかつた。

「やいつ、今の若僧、出てうせい。ようも、わしが家來を、投げつ居つたな。出てうせれば、討ち入るぞよ。こんな、古土塀の一重や二重、蹴つぶして通るに、なんの雜作もないわ」

そして又、

「臆病者つ、答へをせぬか。」

壽童冠者が勢ひに怯ぢて、音も出さぬとみえる。――皆の者、石を擲れつ、石を擲れつ」

礫が熄むとすぐ、ばら／＼つと石つぶてが、館の廂や、縁に落ちてくる。

一つは宗業の肩を打つた。

「なんぢや、あの業態は?」

介は、睨めつけて、

「おのれつ」

と、口走つた。そして太刀の反を打たせて、

「おうつ、たつた今、出會うてやる程に、そこ、うごくなつ」

美しい映畫「南の哀愁」

日活館次週上映

朝にオオソレミオ、夕にサンタルチアを唄つて暮す南歐ナポリの旅行案内人ヂオヴアンニは或る日ウイーンから來た若い未亡人クレーレの案内をしてゐる内に、その純な心をクレーレに奪はれ、ナポリの戀人カルメーラを捨ててウイーンに出る、そして新進テナーとして處女獨唱會を開く前夜、ヂオヴアンニは上流社會の複雜な陰り多い生活に、クレーレに對する夢も破れ、人なき劇場の舞臺で唄つたのを最後にウイーンを立つてナポリに歸る……

このメロドラマは南歐の名匠カルミネ・ガローネがメカホンをとつてブリギッテ・ヘルムが未亡人クレーレに扮し又ナポリの案内人には歐洲一の美男テナーとして知られてゐるジャーン・キープラが扮してゐる、キープラはこの映畫によつて一躍世界映畫界の寵兒となつたのである撮影は「旅愁」の名手クルト・クーラン

この映畫の物語りは前記のやうに簡單なメロドラマで、結局、都會の女が田舎の青年を弄ぶといつた平凡なもので從つてこの映畫に對する興味はジーヤン・キープラの歌と、南歐に於ける素晴らしいロケーションにある、事實映畫中最初から最後までキープラの唄ばかりだ、或ひはナポリの海邊で、或ひはポンペイの廢墟で、或ひはウイーンの劇場で唄ふキープラ、歌はリゴレット、サンタルチア等五六種であるが、馴染深いものも多く觀客はその唄については充分滿足出來やう、南歐のロケもクルト・クーランはその力を充分現して非常に美しい場面を次ぎ／＼にスクーリンに描き出し觀客の目を樂しませる

失望するのはブリギッテ・ヘルムとキープラの芝居だ、この映畫を劇として見た時「プレジャンの舟唄」の監督カルミネ・ガローネを「南の哀愁」に見出せないことは非常な淋しさを感じさせやう―S―

新劇團を脅かすトーキーの發達

舞臺俳優の轉身相次ぐ

本邦トーキー界の活潑なる歩みは水谷八重子、澤村田之助、伊井友三郎等の舞臺人やら舞踊の花柳壽美、流行歌手の勝太郎、市丸姐さん連までをエクランに呼びよせ近き將來にはその歩みを舞臺の全面に及ぼさん意氣込みであるが、最近注目される事はトーキーが新劇團を脅かしてゐる事實である。即ち新劇の不振を打開しようとする新劇大合同は漸く「新協劇團」の設立を見るに至つたが、その前後に當つて新劇俳優の銀幕轉身は非常に目立ち、折角の大合同にも一抹の淋しさを感ぜしめてゐるのだ新劇から銀幕へ轉身した者の主なる者をあげれば左の通りである

▲丸山定夫（新築地劇團からＰＣＬ入社）▲細川ちか子（同上）▲汐見洋（築地座から日下入江プロへ出演）▲伊達信（新劇フリーランサーからＪＯスタヂオ入り）▲嵯峨善兵（中央劇場から新興キネマへ）▲佐々木孝丸（中央劇場からＪＯ入り）▲北原幸子（舊中央劇場員ＪＯ入り）▲石川由紀子（舊築地小劇場出身、葵令子と改名して松竹京都へ入社）

新劇森千惠子一座

近く大連劇場に來演

演劇界に新らしい形式を創始したことによつて内地においては相當知られてゐる森千惠子一座が近く大連劇場にデヴューする、一行は森千惠子を始め若葉晴雄、大倉欣也、水島京子、花柳綾子、六條榮子、舞踊の新進森房子等幹部級以下四十餘名で、何れも藝達者な處を揃へ、森千惠子は帝劇出身である、從來京阪神並びに名古屋方面を中心として活躍してゐたが、今回滿洲巡業を行ふこととなつたもので、劇は映畫式なスピードと脈新な舞臺效果によつて幕間なしの猛演である、大體の處十一月一日初日開演の豫定であるが、初日番組は竹田敏彥氏作「軍國子守歌」長谷川伸氏作「新供養」眞山青果氏作「旅藝人娘義太夫」の豫定、右三つの劇は從來各地の公演に於て何れも好評を博したものゝみでこの一座が最も得意とするものである（寫眞は森千惠子）

銀鈴少女會歌劇と踊

關西風水害罹災學童義捐

大連銀鈴少女會主催、大連新聞社後援の近畿地方風水害罹災學童義捐「少女歌劇と舞踊大會」は二十七日午後六時半、並びに二十八日午後一時半の二回に亘つて協和會館に於て催されるが、プログラム左の如し

▲第一部　舞踊「待ぼうけ」「さんだ／＼」「たそがれ」「煙の輪」「おもちやの兵隊」民謡「しぐれ日傘」舞踊「狸橋」「あの町この町」「證城寺の狸」「あかちやん」「兎の柴刈」民謡「眠し歌」

▲第二部　少女歌劇「其の後のカチカチ山」舞踊「ユーモレスク」「鶯の夢」「雨」「ローレライ」「朝の唄」「夢の人形」「鐘が鳴ります」「谷間の灯」「天使」「カッコ鳥」民謡「河原なでしこ」

梅若定式素謠番組

大連梅若綠葉會では二十八日午前九時より市内西公園町一四九の梅若流支部に於て定式素謠會を催すが當日の番組左の如し

龍田、七騎落、梅枝、成陽宮、鐵輪、野宮、富士太鼓、通盛、小鍛冶、船辨慶（仕舞）蟬丸、敦盛、班女、葵上、玉葛、忠度、鳥追舟（囃子）花月、八島、杜若

檢番ホール　特異な歩みを續けて漸次ダンス界に勢力をひきつゝある檢番ホールでは最近の催し物ことごとく斬新、ファンをキャッチしてゐるが、二十七日より三日間大懸賞と稱する珍催しを行ふ、この三日間毎夜番組を替へてこのホール獨特の踊りを見せるが二十九日には假裝せるパートナーの優秀審査をファンの投票によつて行ふと

州内に檢査所を設けて共同燻蒸を行ふ

農林省 關東廳　好轉した林檎入禁問題

農林省の滿洲苹果輸入禁止に對する態度は二十六日解禁促進のため上京中の滿洲果實販賣組合理事千葉豐治氏と長瀨農林次官との會見により明白となつた、卽ち農林省としては二硫化炭素燻蒸による結果を全面的に認めると同時にその方法として

一、移出地にて檢査燻蒸したものを移入港で再檢査する案
一、移出地にて檢査し移入港で燻蒸する案
一、關東州に農林省檢査員を出し關東廳と共同して檢査燻蒸する案

を提示したが、第三案が大體に於て支持されてゐる模樣である

檢査所急設を強調

かく內地において問題が圓滿に好轉しつゝあり、しかも當地における檢査所豫定地として滿販沙河口倉庫、海務局空地等があげられてゐるに拘はらず關東廳は二十六日突然本年度內においては豫算その他の關係で輸出に關する檢査規定並に檢査所は之を設置せず、從前通り民間の品質檢査程度にしておかれたいと言明したので狼狽した滿洲販賣組合では同夜直にこれに對する策を協議これが積極的解決を要請することゝなつた

百萬圓食つた林檎姬心喰虫

內地の輸入禁止による果樹園業者の損害

姬心喰蟲を理由に內地へ輸入禁止となつた滿洲林檎は、加ふるに昨年度より三割增產の四百萬貫といふ豐作だつたので、卸賣値段一貫目十八錢から二十錢に下落(昨年度は五十錢)してゐる、これがために州內林檎栽培業者の損害はどの程度に達するか、大連民政署地方課の見積りによると、まづ直接的打擊としては昨年度輸出總數量約十五萬貫(滿洲果實輸出販賣組合取扱ひ五萬貫、個人商人其他取扱ひ十萬貫)とほゞ同量を輸出するものとすれば、たとひ三割增產に伴ふ市價下落率を二割と見ても一貫目四十錢で、卽ち六萬圓の損失である、更に間接的損害としては上記のごとく精々四十錢程度の下落にとゞまるべきものが二十錢まで下落してゐるのだから總出荷數量四百萬貫については約八十萬圓の値下りで姬心喰虫のために果樹園業者が直接間接に蒙つた損害は實に百萬圓に近い數字となるわけである

關東州貿易の入超遂に一億を突破す

原因　輸出は昨年と同額だが輸入は三割二分增

昭和九年九月中に於ける海路に依る關東州貿易の槪況は輸出二九、五五七、九二五圓、輸入五一、五七五、八五一圓、卽ち輸出入合計八一、一三三、七七六圓で、輸入超過は二二、〇一七、九二六圓であつた、之を前月と比較すれば輸出に於いて八、七八五、四八九圓(四割二分增)輸入に於いて一一、八七八、三九二圓(三割增)であり、更に之を前年同月に比較すれば輸出に於いて七、二九八、四八四圓(三割三分)增、輸入に於いて二二、一九〇、四六六圓(七割六分)增である、又一月以降の累計を觀るに輸出二四九、一九一、三八六圓、輸入三五〇、七八一、五八七圓で、輸出合計五九九、九七二、九七三圓、輸入超過は一〇一、五九〇、二〇一圓となり之を前年同期に比較すれば輸出に於いて三三五、一八六圓(一分)增、輸入に於いて八七、四六二、三四八圓(三割三分)增で輸出は殆ど變化ないが、輸入は恰度三分の一を增加した計算になり、今年度の入超遂に一億を突破し、今年度中の輸入が如何に旺盛であるかを物語つてゐる、なほ九月中輸出入の重要品目及び國別を示せば左のごとし(單位圓)

輸出

品名別	價額
大豆	一七、四五八、一五三
小豆	四一一、〇八四
高粱	三七八、八三九
玉蜀黍	五九、四一六
落花生	六三二、三四七
蘇子	
小麻子	七七、〇四四
製鹽	二一六、〇一七
砂糖	二八四、五一〇
煙草	二六、九一八
綿糸	八四七、二六七
野蠶糸	一二、六三四
毛及毛糸	二四七、八八一
綿織物	一二九、八三〇
鐵及鋼鐵	三九九、五九三
皮革	一六二、七二二
豆油	一四〇、八九二
セメント	九、五二八
石炭	一、八九七、五八九
豆粕	九六二、七八三
人造肥料	一〇〇、三二〇
其他	五、一一二、五五八
總計	二九、五五七、九二五
前年同月	二二、二五九、四四一

國別	價格
◇亞細亞洲	一一、〇九三、九七九
日本(內地)	六、一二一、七三一
日本(朝鮮)	四三四、〇三〇
日本(臺灣)	八二五、九八八
滿洲國	八二七、九〇九
中華民國	二、二五六、〇九七
香港	三七七、三七五
英領印度	二二五七
海峽植民地	一二七、六二五
蘭領印度	四三、二四六
露領亞細亞	八、二二九
比律賓	六九、四九二
◇歐羅巴洲	一〇、九九〇、七四六
英吉利	一、二七三、一八七
佛蘭西	三〇、三二四
獨逸	八、八七八、三八四
白耳義	三一、三〇〇
伊太利	二五一、二六六
和蘭	四一一、七五七
葡萄牙	二〇、〇六四
丁抹	五五、五六八
瑞典	五、五九四
諾威	三、三〇二
◇亞米利加洲	四一五、二〇一
北米合衆國	三五一、五五三
加奈陀	六三、六四九
◇阿弗利加洲	七、〇五七、九九九
埃及	七、〇一九、四九九
其他	三八、五五一
總計	二九、五五七、九二五

輸入

品名別	價額
米	五四五、三〇三
小麥粉	六、二〇六、〇九七
果實及核子	七九、〇二三
魚介	六〇九、三〇一
砂糖	八八七、九六〇
酒類	五七二、四七六
煙草	一、六一三、二〇三
棉花	九七七、一三〇
綿糸	一、三二七、三一三
麻及麻糸	四四七、七六一
毛及毛糸	二二七、二〇四
綿織物	四、五二二、六〇五
毛織物	一、〇五〇、八七九
麻袋	九六二、九八〇
絹織物	六七三、〇八四
綿毛交織物	一〇〇、四二七
履物	五五一、九九四
化粧品	二七〇、〇八〇
車輛及部分品	三、四二三、一三五
發動機發電機及作業機械	四、六八二、三一七
鐵及鋼鐵	二、五六九、九九八
銅及眞鍮	四六八、七四八
皮革	一八八、三二〇
紙	八七六、三四七
油脂	八五六、四三八
藥材及藥品	一、五二三、五二二
染料	二二三、七九一
建築材料	三、四八九、七一三
木竹材	五三七、九九四
石油	一、一七、六三四
其他	一一、〇四二、九八四
總計	五一、五七五、八五一
前年同月	二九、三八五、三八五

國別	價額
◇亞細亞洲	四四、一九六、〇〇二
日本(內地)	三七、〇一六、六二三
日本(朝鮮)	三六三、四一五
日本(臺灣)	二〇七、一五八
滿洲國	三六〇、三九二
中華民國	四、〇三三、〇二三
香港	
英領印度	八七〇、三〇八
海峽植民地	五五一、二五〇
蘭領印度	一二三一、四〇二
露領亞細亞	一四八、三四五
比律賓	四三、五九八
	一、七四五
◇歐羅巴洲	二、三三四、一〇四
英吉利	八四六、五八〇
佛蘭西	二〇、六六一
獨逸	六五五、六五七
白耳義	四一三、四五八
伊太利	一六〇、二一七
和蘭	一四二、九四九
丁抹	四二、二九
瑞典	四五、二六一
諾威	二、四一八
波蘭	一〇一、六三三
露西亞	三四、二六二
ダンチヒ	一四、七六一
◇亞米利加洲	七六五、七六七
北米合衆國	七六五、七六七
◇阿弗利加洲	五八七
埃及	五八七
◇太洋洲	四二七一、三五一
濠太剌利	四二七一、三五一
總計	五一、五七五、八五一

世界を席捲する日本商品 4

石鹼・火藥の原料　魚油と硬化油　年輸出額・七百萬圓

◇…硬化油と云ふ名は餘り知れ渡つてゐないが、大抵の人は博覽會とか共進會とかで一度位は眼に觸れて居る。白い塊狀の脂で、見た處パラフキン蠟の樣である。之に硬化油と云ふ名稱が附記してあつても餘り人の注意を惹かぬ。固まつた脂だから

硬 化油かと思ふだけである。此の硬化油は魚油から造られる。主に鰊や鰮の油を原料とし之に水素を吸收させて無臭の脂肪としたものである。斯うして云つて了へば何でもないが、我國の技術が此處まで發達するには數十年間隨分と苦心を重ねたもので今日では我硬化油技術は世界に誇り得るほど上達した。そして日本は世界一の魚油生產國であるから魚油を原料とする硬化油生產額も亦世界一である。

◇…硬化油は何故そんなに苦心してまで造らねばならなかつたのか。魚油を脂肪として使ふには何うしても一度硬化油にして臭氣を拔き純度の高いものにする必要がある。

脂 肪の用途は最も大きいのは石鹼原料であるが脂肪から石鹼を造る時に同時にグリセリンが得られる。そのグリセリンは醫藥品や化粧品等色々の用途があるが、最も重要なのは火藥を造ることである。卽ち脂肪は石鹼と火藥の原料で、その供給の難易は國民衞生と國防上の問題である。

◇…凡そ脂肪の原料として世界的に大量のものは牛脂、棉實、亞麻仁、大豆、魚油等であるが、牛脂は我國にはホンの僅少しか產せず、棉實は米國が世界の供給を支配し、亞麻仁は英國が國際取引上指導的地位にあるから我國としては何うしても魚油と滿洲大豆とを脂肪の主原料とせねばならぬ。脂肪の自給が不十分であれば國防の危險をさへ感ずるのである。これが爲に我國では魚油の硬化技術を必死で研究した。大豆の方は

食 用油として需要の多いもので今まで硬化は餘り行はれて居らぬが、之も滿洲獨立後は各方面で研究が盛んとなつて來てゐる。

◇…我國の魚油產額は約五萬五千噸、此の大部分は硬化油とされる。魚油のまゝ鞣皮用其の他に使はれる量も多少ある。輸出は魚油及硬化油合計約七百萬圓で、輸出品中金額から云つても相當の重要性を持つものである。日本は世界に稀な魚油國として年毎に斯業は繁盛に向つてゐる。

◇…原料魚油は近年朝鮮、樺太等にも多量に產するやうになつたが、之等の魚油は總て一度油脂工場に集めて精製されその上で輸出される。魚油を硬化する爲に必要な水素瓦斯は電氣分解による苛性曹達製造の際副生するものを用ひてゐる。我國には電解曹達工場が多いから其副產物利用の便宜によつたのである。觸媒としてはニッケル粉末が使はれる。

◇…油脂と國防との關係は直接的でないから氣の付かぬ人が多い。まして鰊や鰮の

漁 業と火藥の關係など一般人の考へぬことであるが、日本近海に鰊鰮の多いことは此の意味に於て、我國の安寧に非常な貢獻をしてゐる。そして日本人は世界に稀な淸潔好きな國民でフンダンに使ふ石鹼の原料も亦之れに依ることが大である。考へれば妙な廻り合せである。(寫眞は硬化油仕上室)

大阪商船が着手する日・滿・臺新航路

日臺航路に一强敵

日臺航路を繞つて最近における大阪商船、近海郵船は新造船にあるひは傭船に猛烈な角逐戰を演じてゐる折から、一方大阪商船ではこれが側面的戰術に出て年內中に內地—大連—臺灣の三角航路を新設臨時定期的に就航せしめるべく目下臺灣總督府に申請中である、現在においては O・S・K 大連—臺灣線は月二回盛京、長沙、福建の三隻を配し北支沿岸における蒐荷をなすと同時に大連汽船、日本郵船と列んで滿臺貿易の衝に當つてゐるが、今回この三角航路を新設滿洲における豆粕類の臺灣仕向に備へるとゝもに近海航路と角逐中の日臺航路に拍車をかけるとなり目の的となつてゐる、なほ就航船その他に就ては近日中に發表される由

〃柑橘類の輸入徑路どれも一長一短〃

吉益輸出組合理事長談

柑橘類の輸送に就いては荷揚げその他の關係で大連經由に關し兎角の評があるが、右に關し目下在連中の日本柑橘組滿洲輸出組合理事長吉益匡賢氏は語る

大連經由に就いて荷揚げ、荷捌きが充分でないため內地では裏日本經由、鐵道經由等が問題になつてゐます、併しいづれも一長一短で殊に我々としては大連を中心として蜜柑を賣捌きたいと考へてゐますので、この問題に就いては滿鐵、國際、商船と充分協議の上連絡をとつてもらふ樣にしたいと思つてゐます

連鎖商店の更生第一步

改組委員會を開催

合資會社として業績兎角の不振だつた大連連鎖商店も既報のごとく二十六日民政署の正式認可を得資本金五十萬圓(全額拂込)の株式會社としていよ〳〵更生の第一步を踏み出すこととなり、十一月一日行はれる創立總會に先だち二十七日午後三時より改組委員會を開催し連鎖街組合の設置を協議すると共に株式會社設立に伴ふ株主組合、連鎖街組合の設置を協議するところがあつた、卽ち同組合は權利の賣買を許さず結束を鞏固にし更生せる連鎖街今後の伸展に資さんとするのみならず建築費約二百萬圓に對する十年月賦償還も合資會社として現在迄僅かに七十萬圓の拂込みを終了したのみで各商店建築物は滿鐵、福昌、滿銀等の大口債權者の擔保物件となつてゐる關係上建築物による金融も全然不可能であつたところ今回五十萬圓全額拂込株式會社新設により合資會社七十萬圓の拂込金より差引きした殘る二十萬圓は內入金として擔保の名義書換へを債權者側が認められることになつた、この結果從來合資會社として度々內部的紛糾を起した不合理が淸算される譯でこれに伴ふ自治的統制による連鎖街今後の動きは期待されるべきである

◇…一時は大連市發展上の癌のやうにいはれた連鎖街商店もいよ〳〵認可が下つて株式會社として更生することになつたのは芽出たい極みである

◇…それに大連驛の新築に伴ふシピック・センターの西瀨や、紫町筋の殷賑、ダルニー川沿ひの埋立による面目一新など環境一變にも惠まれてこれからの連鎖街は前途洋々たるものがある。

◇…これで失敗するやうなら邦商はこの種の共存共榮的營業は永久に不向きだと極印捺されても仕方あるまい。

◇…連鎖商店の組合員も一ト踏ん張りせねばなるまい。

政府米で一杯の日滿倉庫

三輪環氏談

來月開會豫定の日滿倉庫總會の打合せと川崎、大阪の滿鐵埠頭視察のため上京中の滿鐵監査役三輪環氏は二十七日入港あめりか丸で歸連、語る

川崎の滿鐵埠頭は滿洲の樣に荷役作業の獨占は不可能であるから今後も倉庫業に全力を注がればならない、現在同倉庫には本年度政府買上米が六十萬俵ばかり入庫されて居るが其他に今年上半期迄に石炭約十九萬噸程雜貨の輸出入は各々三萬噸合せて六萬噸程動いてゐる、歸途大阪の風水害を視察したが、クレーン二つ程壞はされて居り陸揚作業に大分變調を來して居る樣だつた

南潯鐵路の債權十年間に皆濟に決定

【南京二十七日發國通】東亞興業常務內田勝司氏は民國十五年以來支那當局が償還延滯を續けてゐた南潯鐵路の債權一千七百萬圓につき先般來當地鐵道當局と交涉中のところこの程同鐵路收益を以て今後十年間に皆濟するに兩者の諒解成立した

〃日本足袋の遼陽進出　分布上結構〃

關屋所長談

關屋奉天地方事務所長は本社と事務打合せのため二十七日午前七時來連したが日本足袋が遼陽に工場を移すことになつた事情につき左のごとく語つた

日本足袋は鐵西に工場地を設ける豫定であつたが遼陽に變更の樣子である奉天としては成るだけ工場豫定地が繁榮することを期待するが經濟の發展は全滿各都市に普遍化することが必要である、福助足袋と日本足袋が同一箇所で煙を吐くといふことは製造家としては希望しないから遼陽を選ぶことになつたと思ふなほ氏は廿八日歸奉の豫定である

麥粉市況　引續き不冴

十月中旬における大連港輸出入麥粉は日本粉のみ五萬七千八百袋を示し市況は民國政府の銀輸出稅引上げ斷行に連れ當地銀價の低落を見、たださへ氣迷ひ人氣の折柄買氣全く委縮し、加ふるに海外材料は引續き不冴を呈し當市場も伴れて弱含みを辿つた、尙ほ下旬に入つて濠洲粉二萬約七十萬袋の入荷を見、在庫高二百萬袋に上り、これを眺め嫌氣投げ續出し市場も目先いま少し安値を見るやも知れぬと懸念される海外も大體底を突いた如く、また舊正の最盛期を控へ相當の引當を見越し現狀維持を逝るものと見らる、なほ相場は現在三井寶船八十錢乃至八十五錢、三菱紅綠二圓五十八錢乃至六十錢見當である

上海爲替情報

【上海二十七日發】中央銀行の建値變向にて標金昂騰高値保合の所を國華銀行の賣物と思はれる大德成と恒余の賣にて下押す、爲替は北方筋の出動なく滬商內にて保合

上海標金	
寄値	九八六元一
高値	九八九元九
安値	九七九元三
止値	九八一元四

市況(廿七日)

特產　閑散裡に諸品軟調

今朝の定期は大豆は到着增加に奧地筋賣に軟調をつけ、豆粕は買見送りに軟調、豆油は僅く續落を辿り、高粱は閑散保合を呈した

◇定期前場(銀建)

豆

けさの大豆は到着增加を奧地筋賣に四錢方安と軟調を辿り、▲豆粕は邦商の買見送り散ながら軟調、豆油も買に續落、高粱は閑散に保合を告げ▲現物大豆は一二〇、豊安と弱保合三井二〇、豊に油房筋一二五と百五十出來高▲油房は連日十五軒四萬平均に生產高を示年の今頃に比し素晴しい

銀

海外銀塊は倫敦日不冴閑散である▲材料薄環境不良に場面共同事盂買八分と變らず▲上海は日本向り標金は四、五元高を入が當市は氣配變らず閑散も底固い商狀であつた▲後場はフランスの政局動金本位制危しとの報で強示しけさ右に關する情報も相場が割合に覗りにあ一般に先高を見越してゐめであらう▲茲等で相當合へば結句高い相場さみが多いやうだ

株

豫算編成にから稅懸念や軍縮豫議を中心とした國際不安で人氣は依然として冴えず▲株に滿配不可避とみら取引所株なども偶々八月の高値取組の納會に直面引立の商狀を呈してゐるれにしても新東の百三十は飽くまで堅いところ下値寂しい感を起させる局は茲二三ケ月續出した軟材料の包圍攻擊に相當ては相當織込濟みとなつで最早深押しの餘地なく年末高相場の素地を形づくつあるのではあるまい

錢鈔

奧地相場

特產

株式

商品　綿糸變らず麻袋保合

市場電報(廿七日)

銀塊及爲替

神戶日米

棉花

東京株式

大阪株式

東京期米

神戶期米

大阪期米

大阪綿糸

大阪棉花

橫濱生糸

印度麻袋

[以下の市況相場表は細字のため判読不能]

滿洲日報
朝夕刊共十二頁

滿洲機會均等問題を英國言論界重大視す

政府も國防の意を洩らし

ロンドン會商の空氣微妙

【ロンドン二十七日發國通】海軍豫備會談は日本代表部の提案を繞り早くも前途多難を豫想されるに至つたが、海軍問題とは別個に滿洲國の機會均等問題や、日英同盟復活論が擡頭して週末ロンドン會商の空氣は極めて微妙な動きを見せてゐる、機會均等問題に對する滿洲國政府の處置に就ては直接利害關係があるだけに英國の言論界は頗る事態を重大視しロンドン各紙の如き二十七日の紙上で英米兩國政府の抗議に對し日滿兩國政府が如何なる處置に出るかと、門戸開放政策の眞のテストだと力說してゐる、尤も實業界方面では滿洲國政府の新計畫が如何に運用されるかの點に就てもう少し事態が明瞭となる迄何とも云へぬと愼重なる態度を執つてゐるが、英國政府としては七月以來日本政府と折衝を續けてゐるが、未だに滿足なる回答に接してゐないとの意向を洩らしてゐる

米國政府も成行重視

【ワシントン二十七日發國通】海軍豫備會談の經過に就ては米國政府は深甚の關心を示しロンドンからの情報を注視してゐるが一方滿洲國の機會均等問題についても成行を重視してゐる模樣で何れにせよ帝國政府の軍縮新方式案に對しては受諾出來ぬと云ふのが米國政府の意向であり滿洲國機會均等問題に就ては東京駐劄グルー大使を通して飽迄自國產業界の權益を確保する方針と解される尙フイリツプス國務長官代理は二十六日新聞記者團との會見に際して以上の重要問題については一切言明を避けてゐた

米國代表部の方針

既存海軍條約不變更を堅持

【ロンドン二十六日發國通】米國代表部方面では日本が世界現勢の基調をなしたる既存海軍諸條約を徐々に根こそぎにせんとするものと見解を持し不變更主義擁護の必要を一層強く主張せんとの空氣充滿してをり、一部に於いて日本が總噸數絕對均等を主張するは決裂の危險を最大にするとなすものがあるが代表部では右の如き問題を考慮する程に會議は進捗してゐないと見てゐる

豫想を

裏切られた樣子で露骨に反對意見を表明してゐるが英國政府は艦型縮小方針等につき必ずしも米國政府と利害が一致してゐるわけでなく內心我代表部の提案に反對せず出來れば直接日本代表部との衝突を避け問題を日米兩代表部間に移管し仲裁者の位置に立ちマツク首相を中心に日米兩國間に居中調停の一役を買つて出ようと云ふ一流の政治家的工作振りを示してゐる、專門家會議では原則論をその儘とし、原則問題と並行して技術討議を遂げ側面か

日米間の仲裁役

英國が引受けるか

—一流の政治家的工作振り

【ロンドン二十六日發國通】日本代表部の軍縮新提案に對する英米兩國代表の意向は二十三日以來前後四日間に亘る交涉で略明瞭となつた、米國代表部は思ひ切つた軍縮新方式に全く

英米第二次會商

けふ午後三時半から

【東京二十七日發國通】マクドナルド首相は日英第二次會商後米代表部と打合せをなし二十九日午後三時半より首相官邸でスタンドレー代表を加へて全員會同の英米第二次會商を開くことに決定したが右會合では一般技術事項に亘り緊張した重要折衝が行はれやう、なほデヴィス代表は英米會商前、日本側と會見して初會商の內容を確めんと希望してをり、二十七日松平大使との間において非公式の形をとつて行はるべく、デヴィス氏は二十七日郊外に松平代表を誘びゴルフをやつて午餐を共にした後

懇談を遂げんと我大使館に希望して來たと

……ら日本代表部の眞意を探り出來れば艦種別問題の

討議に

日本代表部を引摺り込む肚だつたらしいが日本代表としては原則先議の建前を堅持しつゝ技術的說明も敢て辭せずとの餘裕を示した、かくて英國政府當局も大體帝國政府提案の眞意を捕捉出來たものと見られるが今後英國政府がどう出るか、豫備會談は愈々來週から本舞臺に入るわけであるが米國代表部の態度に徵しても日米兩國の專門委員が會商しても

和かな

話合が出來るかどうか疑問だから日米兩國代表部間には當分專門家會議が開かれぬ模樣である

日英同盟說に

米國氣を病む

【東京特電二十七日發】ロンドン來電、豫備會商における日本の共通最大限設定提案は餘りに抽象的だと米國代表部は日本の眞意を疑ふやうな口吻を洩してをり、かゝる實現不可能な主張をなすのは會商を決裂させる魂膽だなど宣傳してゐるが、一方日英同盟締結の噂が傳へられ米國側は非常に神經を尖らしてゐる

こゝ數日中に

方針を決定

藏相の增稅問題態度

【東京二十七日發國通】增稅問題に關し藤井藏相は二十六日官邸で左の如く語る

財政上の重大問題として喧しい增稅卽行の可否について自分は就任以來各方面の意見と各般の情勢を綜合しつゝゆつくり考へて來たが、愈々大藏省の豫算も二十七日より開かれるし、こゝ數日中に何とか自分の最後的態度を決定せねばならぬと考へてゐる、然し目下增稅斷行か否かどちらとも定つてゐない

增稅額

一億圓以內か

【東京二十七日發國通】政府が增稅を斷行するや否やは種々取沙汰あり假令增稅するとしても數億圓に上る赤字を一擧に補塡するが如き大增稅案は大藏當局の夢想してゐない所であつてせいぜい一億圓以內の增稅を目指してゐる模樣である

菱刈長官へ

拓相から依賴電

關東廳官吏慰撫方を

【東京二十七日發國通】兒玉拓相は菱刈長官が此の月末旅順に來るのを機會に關東廳員動搖問題の善後措置依賴のため二十七日午後五時左の如き電報を發した

在滿機構問題の善後處置に關して引續き閣下の御配慮を煩したことは感謝に堪へない今回の關東廳員の擧措は全く國家を思ふの至誠に出たものであつて世上多少の誤解あるも官紀を紊亂したるが如き事實あるものとは信ぜられない、時局多難官民軍部一致協力して國策遂行に邁進すべき時須く大局に着眼して各々その職務に安んじ一意精進すべきを所員一般に充分徹底する樣御配慮あり度し

關東廳員慰留は

首腦部に信賴

軍の協力希望は誤傳

【東京二十七日發國通】……從つて二十七日正午日下內務局長と土肥原機關長との會見も大體左の點に就いて意見の一致を見た模樣で廳員の慰撫に對し軍部の

協力

を求めた事實はない

右に就いて日下氏は左の如く語る

廿七日自分が土肥原少將を訪問した用件は自分と土肥原氏の談として揭げられたところで盡きてゐる、その外に「廳員の慰留のため軍部の協力を希望した」云々」との推測記事が加はつてゐるが之は全く事實でない廳員慰留に付ては長官の命もあり自分達で極力最善の努力をしてゐるのである、從て此際外部で色々な工作をせられるのは却て結果が面白くないと考へて居るので此點もよく土肥原少將に御話した次第である

機構問題の善後措置に就いて關東廳三局長は新官制實施の曉、關東廳員の意圖を充分に達成實現せしむる方策に就いて最善の考慮を拂ふとともに菱刈長官の意を體して廳員の慰留に努力しつゝあるため

大勢

は漸次圓滿解決に向はんとしてゐるので軍部の特務機關其の他も此の際外部より積極的工作を行ふことなく暫く關東廳首腦部の措置に信賴する樂觀的態度により自然解決に赴くを俟つ

關東廳首腦部會議

法制局へ意見具陳協議

在滿新機構官制の細部審議のため二十七日午後一時より長官々邸に於て大場、中村兩局長外全課長等が參集し開かれた關東廳首腦部重要會議は新機構の細部的官制その他は目下法制局の手によつて愼重なる審議の下に起草中ではあるが滿洲現地機關として一層適切なる新機關となすがため相當重要なる進言をなすべく細部に亘り極めて原則的な諸點につき種々協議が進められたが結局先づ一應各課に於て夫々部分的研究を重ねこれを綜合して得たる結果により法制局に對し關東廳側の意向として具陳することゝなり午後三時過ぎ散會した

土肥原機關長

けさ空路奉天へ

土肥原特務機關長は大連の仕事も一段落ついたので二十八日午前八時の飛行機にて奉天に向ひ、諸般の事務整理後翌二十九日再び空路來連の筈

新舊拓相の事務引繼ぎ　廿五日午前十時半拓務大臣の親任式擧行後兒玉秀雄氏と前拓相の事務引繼ぎは午後一時半より官邸に於て行はれた（寫眞右兒玉新拓相、左岡田兼攝拓相）

日滿支間の交通

ブロック結成へ

內鮮滿臺間客貨の連帶運輸

來月から實施

【奉天二十七日發國通】豫て關係當局に於て立案中であつた內鮮滿臺間（鐵道省、朝鮮鐵道、滿鐵、國鐵、北鮮鐵、大阪商船、北日本汽船、島谷汽船、大連汽船）の旅客手荷物小荷物及附隨小荷物の連帶運輸規程は、この程最後的案の決定を見たので愈々來る十一月一日より實施されることゝなつたが日滿支經濟ブロツクの聲漸く大ならんとする今日この連帶運輸開始はその先驅たるべき日滿支臺の交通ブロツクに寄與する處亦大なるべく各方面より期待されてゐる、因に同案の要旨左の如し

一、連帶運送取扱ひ驛は商船連帶の場合と同樣主要驛のみに限定す

二、乘車券の通用期間は船路連帶の場合と同樣片道乘車券一ケ月往復乘車券二ケ月團體乘車券は片道一ケ月往復二ケ月とす

三、學生、公務旅客其他特殊旅客に對する運賃割引方は概ね商船（鐵道省）連帶と同じとす

四、旅行見合及中止等の場合船室の豫約をなしたる時は當該汽船片道運賃の二割五分を當該汽船會社の收得とす

五、手荷物小荷物に對する制限は他の聯絡運帶の場合と略同樣とす

六、手小荷物に對しては着拂代金引換價格表記及配達の取扱をなさず

七、新聞紙、雜誌運賃は商船連帶の場合と異なり總局線發の場合は國幣二分五厘最低運賃四分大汽海航路、天津航路發の場合一キログラムにつき金二錢五厘最低運賃四錢大汽上海航路發の場合一キログラムにつき大洋銀二分五厘最低運賃四分とす

八、換算に對しては關係運輸機關の連帶としてその責任に任ず

點心

乘馬は巧いが

惜い哉小兵

中西敏憲氏

◇…小粒でもピリリツとした山椒のやうなのは滿鐵地方部長中西敏憲氏「五尺二寸はあるから男一人前だよ」と御本人は言つてゐるが內心大きく見せやうと人知れぬ苦勞をして御座る。

◇…毎年秋に催される州外學生聯合演習に統監として馬上豐に二千の學生を檢閱するのは滿鐵乘馬倶樂部會長として西統監の肥馬に跨つた勇姿とての中西さん得意のところだが、乘手の小さいところを馬で補はうと毎年土地の地方事務所長が大きな馬を探すに一苦勞するさうだ

◇…昨年は贔の良い世話係が先頭に背の低い支那馬に乘せた一人を步かせて、續く中西統監の肥馬に跨つた勇姿と對照比較錯覺をおこさせることによつて成功した、殊勳の發案者は後に部長からお賞めに預かつたかどうかそこまでは聞かなかつたがこの中西さんが今度多額納稅者になつたことは未だ人々は知らないだらう。

◇…先般嚴父吉之進氏が永眠されたので目下鄕里の福井縣神山村に歸省中だが一人ツ子の中西さんは家督相續をせねばならぬ、家は福井縣切つての素封家、多額納稅者だ。

◇…「今に貴族院議員中西敏憲氏の滿鐵改組演說なんてのが議會で聞かれやう」とは地方部雀のさへづり。

軍需工業課稅

考慮は當然

林陸相の意見

【東京二十七日發國通】二十六日の定例閣議後林陸相は藤井藏相と豫算問題で懇談したがその內容は左の骨子と傳へられ成行注目さる

一、軍需工業方面は相當利潤を擧げてゐる傾向あるが故にこの業務を脅かさぬ程度において適當な課稅はどうか

一、軍需工業以外にも一般より特に高率の利潤を得つゝある工業及び會社工場にもその業績に應じ臨時的に適宜課稅や增稅はどうか

等の問題を話合つた、本問題に關して林陸相は語る

軍需工業に課稅してもその金額は幾何でもあるまいが、大戰參加各國の軍部が實行した戰時利得稅といふやうな精神から見ても亦負擔均衡を圖る事の一般觀念の上に及ぼす影響から考へても當然だらう

大藏省議開催

來年度歲入の審議

けふに持越し終了

【東京二十七日發國通】大藏省は十年度豫算に對する主計局の査定が終了したので二十七日午後一時半より愈々來年度豫算に對する大藏省の態度を決定するための大藏省議を開催藤井藏相津島次官以下各局長主計局各課長出席先づ歲入豫算の審議に入り中島主稅局長より十年度租稅收入に關して詳細說明あり次いで官業その他の收入見積りに關し夫々關係官より報告して審議に入つた、歲入に就いての審議は二十七日中には全部の終了至難であるから廿八日日曜にも拘らず省議を續開し同日で歲入關係の審議を終り二十九日より陸海軍豫算の審議に入り三十一日から來月一日迄には省議を終了最も重要性を持つ國務豫算及び匡救事業關係豫算の如きは省議で最後の決定をなさず藤井藏相の政治的解決に讓る事となるものとみられるがこれを決定する三十一日又は來月一日頃の省議に於ては增稅に對する大藏省の方針も決定する事となるものと見られその前途は各方面より注視の的となつてゐる

國策審議會

具體案

閣僚間で研究

【東京二十六日發國通】町田、床次、後藤三相は國策審議會設置に關し協議の結果、政府の陣容も整備したので速かに實現して將來の國策樹立に資すると共に現內閣の補強工作を爲す要ありと意見一致し、岡田首相に進言、贊成を得たので、右の機構や具體案を閣僚間で研究した上、吉田翰長の手許で具體案を作成することゝなつた

張實業部大臣

參內

【東京二十七日發國通】日本の產業視察旁々朝野の名士と會談の目的を以て來朝の實業部大臣張燕卿氏は高橋實業部總務司長等を從へ二十七日午前八時三十分東京驛着日本の顯官多數及び大橋外交部次長以下駐日滿洲國公使館員一同の歡迎を受け、直に滿洲國公使館に丁公使を訪問挨拶を爲し、帝國ホテルに入り、同十一時三十分參內天皇陛下より謁を賜はり午後は各宮家を訪問した

蔣作賓公使廣田外相訪問

北支懸案懇談

【東京二十七日發國通】蔣作賓駐日支那公使は二十七日午後二時半外務省に廣田外相を訪問し北支諸懸案につき懇談を遂げて同四時辭去した

川島公使赴哈

【新京二十七日發國通】北鮮並に京圖沿線の視察を終へ二十六日午後九時四十分入京した川島公使は二十七日午前八時三十分ハルビン視察の途についた

海軍定期進級

大異動の發令

來月十五日の豫定

【東京二十七日發國通】大角海相は來る二十九日宮中の御都合を伺

澤田大使

宇垣總督と會見

【京城二十七日發國通】澤田ブラジル大使は十日間の滿洲視察を終へ二十六日夜當地到着、二十七日は宇垣總督及今井田總監を訪問懇談の後午後四時三十分發列車にて歸京の途に就いた

林滿鐵總裁昨夕東京に着く

【東京二十七日發國通】林滿鐵總裁は二十七日午後四時五十五分東京驛着『富士』で入京したが臨時議會の開會前に東京で其の間在滿機構改革案に關聯し中央政府と種々打合せを行ふ筈である

桑原宮司

熱田神宮宮司桑原芳樹氏は北滿の曠野で匪賊討伐に奮戰する皇軍兵士慰問のため老骨を提げて奔走中、皇軍慰問を終り、廿六日午後四時四十分着列車にて來連した、氏は北滿各地に駐在する皇軍兵士に對し熱田神宮の御神符一枚と御神酒一合を配付皇軍の武運長久を祈つたものである

產金買上價格

【新京二十七日發國通】滿洲國財政部二十七日發表

一瓦につき國幣三圓二角

千歲丸

二十八日午後一時大連港外着の豫定

人事

▲加藤育一郎氏（滿鐵撫順炭礦火藥製造所總務係主任）二十七日午後四時二十分發列車にて歸任

▲秩父固太郎氏（滿鐵囑託）語學檢定試驗のため一ケ月に亘り北滿旅行のため同列車にて離連

▲金井清氏（滿鐵ハルビン事務所長）同上歸任

▲堀三之助氏（日滿土建協會長）同上新京へ

▲ルドルフ・ヘルマン氏（チエツコスロヴアキア新聞通信員）二十七日午後四時四十分着列車にて歸連

▲渡邊柳一郎氏（洮南鐵路局文書科長）同上來連

▲島一郎氏（滿鐵安東地方事務所長）二十七日午後六時三十分着はとにて來連

▲金璧東氏（新京特別市長）同上

▲鳥山喜一氏（京城帝大教授）二十七日午後六時三十分着列車にて來連ヤマトホテルに投宿

九觀・小觀

海軍々縮豫備會談第一週終る▲思ひ起す、ワシントン會議に於いて、開會式の席上▲議長ヒユーズが五・五・三の比率を提議して一氣に會議を押切つた▲今から考へると日本はあれほどまでに敗北心理に捕はれる必要はなかつたのだが▲ヒユーズの演說の後、滿場起立して萬雷のごとき拍手が起り▲その場の空氣は日本首席者を呑んで、これに唱和したといふから▲會議外交は公開外交の一手段としてヴエルサイユ條約以來漸く盛になつたが▲國運を賭すべき論爭が會議で行はれるのは多數の出席者や傍聽者がゐる……

社説　九國條約に據る三國の抗議

滿洲國に於ける石油統制計畫に關し、英米蘭三國から日本外務省に抗議があつて、我外務省は談話の形式を以て之れに關する回答の要旨を發表した。右によれば抗議は九國條約第三條に據るものださうである。九國條約第三條は左の通りである。

一切の國民の商業及工業に對し支那に於ける門戸開放又は機會均等の主義を一層有効に適用するの目的を以て支那國以外の締約國は左を要求せざるべく又各自國民の左を要求することを支持せざるべきことを約定す

（イ）支那の何れかの特定地域に於て商業上又は經濟上の發展に關し自己の利益の爲一般的優越權利を設定するに至ることあるべき取極

（ロ）支那に於て適法なる商業若くは工業を營むの權利又は公共企業を其種類の如何を問はず支那國政府若くは地方官憲と共同經營するの權利を他國の國民より奪ふが如き獨占權又は優先權或は其範圍、期間又は地理的限界の關係上機會均等主義の實際的適用を無効に歸せしむるものと認めらるゝが如き獨占權又は優先權（第二項第三項略す）

◇

條文は右の如くであるが、此條約は元來支那に關する條約である。隨つて滿洲國には無關係である。故に日滿關係に如何なる事があらうとも、此條約の關係諸國が、日本に抗議を持ち込むことは全然見當違ひである。諸外國は滿洲國の獨立を認めない關係上、その法理的立場から滿洲を支那の一部と見做して此條文を適用せんとするかも知れないが、既に滿洲國の獨立を認めてゐる我國にありては、此の條約によりて行動することは法理上不可能である。外務省が之れに對して餘り立入つた返答を與へることは、我國の滿洲國承認と撞着する虞れがある。全然立場を異にする諸外國の爲めに引摺られないだけの用意を持たねばならぬ。

◇

尚又此問題を以て、滿洲國の機會均等門戸開放の宣言に反すとなすならば、それは滿洲國に抗議すべき筋合ひのものであつて、日本外務省に之れを持込むのは是亦見當違ひである。我外務省の回答にも此旨を陳べて直接に滿洲國と折衝されて然る可きものと思考するとあるが、正にその通りである。滿洲國の此統制計畫は必ずしも門戸開放、機會均等の聲明に背反しないものであるとのことだが、それを餘り詳しく日本外務省が説明するのは聊か親切が過ぎる感がないでもない。列國協和の精神からして、親切は良いことであるが、親切が過ぎると、却つて餘計な引つかゝりを生ずる虞れがある。蓋し此の問題は先方が九國條約を適用せんとする限り、日本外務省にありては、九國條約の法理的解釋上の限界に於いて應答して然る可きものであらう。

懷柔策奏功せず　遂に武力解決

蔣氏の西南派對策

【上海特電二十七日發】蔣介石氏は汪精衞氏を以て西南派を懷柔すべく努力したるも奏功せざるため遂に戰意を固むるに至つたもの如く、廣東省境に近き長汀龍慶方面に約三萬六千の兵を移駐せしめ十哩を離れて廣東軍と對抗せしめたるを始め、張學良、何應欽も頻に戰備を進めつゝある模樣である

共產軍兵力五萬が突如廣西、廣東省境信方、安遠附近に現はれ、省境防備のため同地を守備せる廣東軍第一師、第二師を擊破悠々西進した

蔣介石氏入院

【北平二十七日發國通】蔣介石氏は二十六日午前十時より協和病院で診察を受け胃部のX光線寫眞をとつたが、同夕方同院に入院した病名は胃の神經痛で、入院豫定は約一週間であるが面會は一切謝絶してゐる

共產軍五萬　兩廣省境を突破

【廈門二十七日發國通】廣西省境の共產軍隊は最近西漸を開始したが二十二日朱德、毛澤東の率ゐる

胡漢民反中央を闡明

【香港二十七日發國通】王寵惠の斡旋により對中央態度軟化を傳へられた胡漢民氏は二十六日聲明を發し中央が現在の政策を改めざる限り飽迄敵とする旨を闡明した要旨左の如し

南京との協調如何は政治上の主義と政策の實際問題である蔣介石の現在固持するものは自殺的政策である、自殺的政策を固持するものは敵である、余は單なる交情から自己の政策を捨てることは出來ぬ、革命史實にみても武力や壓迫による統一運動は必ず失敗に終つてゐる、王寵惠の使命の成否は中央が國策を變更するか否かにかゝつてゐる

臨時產業調查局

人選終り準備全く成る

【新京電話】臨時產業調查局設立に關しては滿洲國實業部に於て專ら椎名統制科長の手によつて着々準備並に計畫が進捗してゐるが既にその臨時本部も財政部前第五廳舍に移轉し工場調查の本部への引繼も完了し今や官制の發布を待つばかりになつてゐるが同官制は目下法制局に於て審議中で法制局長の歸任を待つて十一月中旬には制定發布をみるはずである、右調查局が滿洲國產業の重大機關たる建前からその完璧を期する爲相當多數の人員が必要とされその人員については過般來內地及び關係各部に於て審議中の所現在では人選も終り目下採用方並びに配置方法の研究中であるが新採用人員は約二百名でその中各產業部內のエキスパートとして農林省產業資源局より約四十名その他滿鐵朝鮮總督府より經驗技術者並びに現地採用者合計百五十名であり少くとも本年末までには陣容を整備し本格的の活動を開始する豫定である

◇移管に依る自然收入（單位圓）

收入	
一、關東州地方税	一、六六六、〇〇〇
營業税	一、一八三、〇〇〇
雜種税	四八三、〇〇〇
一、水道收入	一、〇八二、〇〇〇
一、雜收入	二二、〇〇〇
◇新規課税	
一、國税（法人所得税）附加税	七〇、〇〇〇
（本税一、〇一〇圓九八七、一圓に付七錢）	
一、反別割	八〇、〇〇〇
（宅地二、五六一、七九二坪、一坪に付三錢、七六、八五三圓 耕地四四八、五四四坪、一坪に付一錢、四、四八五圓）	
計	二、九二〇、〇〇〇

支出	
一、市役所費	一三五、四〇六
一、教育費	一、一二七、一八〇
小學校費	九五二、六八六
公學堂費	二三三、五三三
商業學堂費	五、二三二
盲啞學校費	七、五九七
家政女學校費	一、一三五
青年訓練所費	六、七三五
社會教育費	一五、七〇〇
一、水道作業費	五三九、六八三
一、土木維持費	二五六、五一六
一、戸籍事務取扱費	一五、〇〇〇
一、退職死亡給與金	一〇、〇〇〇
一、臨時營繕及土木費	四一一、二六五
一、豫備費	二〇、〇〇〇
計	二、六一五、〇五〇
收支差引剩餘金	三〇四、九五〇

（水道施設公債償還の資に充つ）

外に水道施設の爲め關東廳に於て募集に係る公債額昭和六年度末現在四百七十八萬六千圓第四期水道工事完成迄募集豫定額八十萬圓、計五百五十八萬六千圓であるが此償還方法は利子年五分として元金は其の一萬分の百十六、年額約三十萬圓內外償還するものである

市政擴充後の收支狀態

―概算見積り

既報の如く小川大連市長をはじめ市政擴充代表委員はこの程歸連、目下該問題實現のため夫々側面工作に入つたが、機構問題の解決を見ざる現在彼らにこの運動のみを全面的に取上げるが如きは策を得ざるものとして從來の積極的活動から待機の狀態にある、然も大連市政の現在の特殊性に鑑み機構改革後に於ては何等かの形態を以て市政擴充は實現するものと見られ、市政改革に伴ひ當然起るべき市の收支狀態に關しては先般來市理事者の間に於いて調査中であるが、その概算は左の如く見積られてゐる

司法制度　改善諮問

法院で研究中

大連地方法院では司法省から司法制度改善に關する二十餘の諸問題につき諮問して來たので目下研究中であるが、時恰も全滿司法制度の改革問題が起つてゐる矢先とて諮問事項に關し非常な注意が拂はれ殊に滿洲司法制度に適合する事項、即ち「巡回裁判の制度を設くる要なきか」の如き諮問に對しては充分なる意見を附し回答されるものと見られてゐる、其他

一、少額な民事、輕微な刑事々件の夜間裁判を爲すの途を拓く要なきか

一、司法警察を全國的に統一する要なきか、その爲め現行司法警察の改善につき考慮すべき諸點

一、民事々件には辯護士に對する報酬を當然訴訟費用中に包含せしむるの要なきか

一、大審院（滿洲では上告審）に於ける事實審理を廢止するの要なきか

の諸點は滿洲司法制度改革の上にも重要な參考資料とされてゐる

八相　大連の都市美

◇十月二十六日の滿日で發表せられた阿部氏の意見には全く同感である、都市計畫として定まつたものがあれば今日のやうな亂暴な建築は許されまい、果してないとしたならば關東廳施政後約三十年間當局は何をして居たのであらう、大連、旅順の行政を除けば關東廳の普通行政は他に殆ど何物もない位のものである。

◇新聞紙で見れば時々都市計畫委員會が開かれるやうであるが單に姑息的應急的の問題のみに終始して居るのではあるまいか、例へば郊外地に集中する人口に對して現在の街路のみで將來の交通を緩和し得るであらうか、適當な空地が保留せられて居るか、アパートの族出に對して附近に子供達は何處に遊び場所があるか、一定の條件附で官有地の拂下を受けた土地經營會社は果して條件通りに土地の經營に從事して居るか、道路下水道等の施設は如何であるか、監督官廳は果して適當な指導監督を加へて居るか住居の快適を誇るべき住居地域（特に郊外住居地域）に非衞生的地區が蟠居してはゐないか家畜の飼養等が行はれてはゐないか。

◇若しありとせば如何に改善して行くか、外科手術は適當な時に施さなければ益々困難を感ずることになる、速かに手術を加へて將來に應ずる準備を爲し置くことが最も廉價な方法であり善政ではあるまいか、徒らに左顧右眄して必要な小賣市場の敷地すらも收用し得ないやうでは市の將來が案ぜられてならぬ。

◇斯うした事は單に机の上のみでは分らぬ、努めて實地を踏査して今の內に百年の大計を樹てぬと悔を後日に貽すことゝなる、敢て市民各位の關心を求むると共に當局の反省を促す次第である。（一市民）

日蘭兩代表の　私的懇談

廿九日開催

【バタヴイヤ廿七日發國通】日蘭會商はその後久しく停頓狀態をつゞけてゐるが二十七日日本代表部と蘭印政府との打合の結果二十九日越田、ベルデレン兩代表が私的懇談を遂げ今後の討議順序形式につき協議することゝなつた既に輸出並に輸入問題につき双方の提案が輸出輸入兩分科委員會の個別な止め綜合委員會としてバーター制の基準協定協議に入る方針である蘭印政廳でも會商促進の機運が見えるので二十九日には相當突進んだ重要協議が遂げられ砂糖問題も審議されるものと觀られる

堀切氏新京着

【新京電話】朝鮮經由渡滿の途にあつた前內閣書記官長貴族院議員堀切善次郎氏は安東經由二十七日夜七時半着〃はと〃で來京遠藤總務廳長、阪谷次長、山成中銀副總裁その他日滿要人の出迎へを受け直にヤマトホテルに入つた、氏は語る

特別の用は何もない、ごくフリーな視察にすぎぬから、別段日程も決つてゐないが、四五日間

村上氏表彰金　合計三千六百餘圓

來月四日表彰式當日本社から　直接村上氏へ傳達

本社提唱義人村上久米太郎氏の表彰式は愈々來る十一月四日新京に於て擧行すべく目下着々準備中でありますが右に關し本社が去る九月七日以來募集中でありました同氏表彰金は全滿各地は勿論遠く內地よりも續々熱烈な贊同あり本月二十五日を以て締切りました結果、豫期以上の好成績を以て別項の如く總計三千六百四十六圓九十二錢に達しました、この內二千五百圓は既に御報告申上げた通りハルビンに於て村田本社々長並に細野主幹より直接村上氏にこれを手交致しましたのでそれを控除した殘額一千百四十六圓九十二錢はこれを表彰式當日贊同各位の芳名錄を添へて直接村上氏に傳達する事になりました、本社は此の機會に於て本社今回の提唱に進んで贊同を寄せられた各位に對し深厚なる謝意を表します

十月二十七日

滿洲日報社

何れ劣らぬ　强豪老巧揃ひ

各國軍縮代表の横顏

一九三五・六年の危機に備ふべくロンドン豫備會商で虛々實々の火華散る折衝を續けつゝある日英米外交壁陣の立役者の横顏を眺めてみよう

◇◇◇松平代表◇◇◇

山本代表と共に日本の國運を負はされて健鬪しつゝある松平恒雄駐英大使は人格、識見、閱歷いづれも兼ね備はり、霞ケ關に「此の人あり」と知られたわが外交界の重鎭である、彼は海軍會議に緣故深く大正十年にはワシントン會議で全權委員として活躍し、ロンドン會議では松平・リード自由會談において盛名を馳せた、かやうな尊い經驗があればこそ、今日の重任に備ふるため永らくロンドンに駐在してゐたのであつて、今やロンドン外交團中の古株にしてサイモン外相とも親交あり、廣田外相は大使の手腕に全幅の信賴を置いてゐるといはれる

◇◇◇山本代表◇◇◇

わが光輝ある全海軍がその斗の如き膽ッ玉に惚れこんでロンドンに送つた山本五十六少將は出發以來早くもアメリカ各地やロンドンで最も率直明確に帝國政府の軍縮大方針をぶちまけ機先を制してしまつた、彼は少尉として日清戰爭に參加し敵彈に左上半身を燒かれ左手の食指と中指を失つた勇士であり ブッキラ棒だがロンドン會議にも次席專門委員として目覺ましい活躍をなし米國大使館附だつた經驗もある、放膽にして細心、大局を達觀するその才腕は必ずや國民の期待に反かぬであらう

◇◇◇マクドナルド首相◇◇◇

マクドナルド英首相は數年前勞働社會黨から追放され多年辛酸を共にした政友と離れたが、それは國際平和主義と現實味ある明朗な理想論に燃ゆる信念がさうさせたのであつて光榮ある裏切者といへよう、先般來眼病がはかばかしからず一時は政界引退說まで傳へられたが、今や彼は招請國の首席代表として世界平和建設のため心血をそゝいでゐる、その成果如何はともかくとして、彼の偉大なる政治的足跡は恐らく海軍々縮交涉を以て終結を告げるだらうと豫想されるだけに一段と期待される

◇◇◇サイモン外相◇◇◇

久しく國際外交の大立物として太陽西に傾く老英大帝國を双肩に擔ひ來つた一人であるサー・ジョン・サイモン外相は法律專門家に相應はしい理智的な紳士であつて今回も恐らく强硬に頑張る日米代表らの間に這入つてマアマアと纏めるのに苦心するものと豫想される、決して他を怒らしめず自らも憤らず而も多分に老猾味を有つ老練なる强豪である

◇◇◇モンセル海相◇◇◇

モンセル英海相は生え拔きの海軍出身で永らく技術方面の實際的仕事に携はり、その後一九三一年海相に就任する迄は保守黨の院內筆頭總務を勤め更に樞密顧問官として政界に確固たる地步を固めてゐた、彼の鼻ッ柱が强いのは有名であり保守黨の强靱な大海軍主義を陰に陽に飽くまで强調することを想像に難くない

◇◇◇デヴイス全權◇◇◇

ノーマン・デヴイス駐英大使は銀行家上りの風采あがらぬ小さなお爺さんだが、世界平和會議でウイルソン大統領の懷刀として縱橫に活躍して以來、歐洲の外交界は彼が居ないと舞臺が廻らぬといはれるくらゐのやり手だ、無口で演說嫌ひの彼は一切尻っ尾を攫ませず、常に實利主義に卽して堅實な外交手腕を遺憾なく發揮してをり曾て國際聯盟の軍縮會議でもヘンダーソン議長や故バルッー外相を動かし、匙を投げてゐた局面をさへ打開して妥協決議案を提出せしめたくらゐであるから今回の交涉における活躍振りは刮目して待つべきものがあらう

◇◇◇スタンドレー顧問◇◇◇

スタンドレー大將はかのプラット提督の後を襲つて作戰部長となつた米海軍第一の戰術家であり全海軍の輿望を擔つてゐる、或は戰場に或は帷幄に幾多の實戰を踏み持ち前の精悍勇猛な氣質と相俟つて、その把持する軍縮精神は極めて强硬なものとして知られてをり、彼が豫備交涉に出馬すると傳へられたとき關係國に衝擊を與へたのは記憶に新しいところである豫備交涉が專門的問題につき進んだとき彼が如何に頑張るか、大なる關心を寄せられる（東京一記者）

山田兵器課長　來連

參謀本部兵器課長山田長三郎大佐は二十七日午前七時奉天から來連したが語る

約二週間半の豫定で全滿各地の第一線を視察して來た、皇軍はいづれも元氣であつた、匪賊も段々少くなる樣子だが少數部隊が出沒するために討伐に向ふと分散するので惱まされてゐる、然し地方治安の確立と共に彼等も正業に還るからやがて解消すると思ふ、機構問題については全然關係がないから判らぬが一致協力を期待してゐる

……滯在して各方面を視察しハルビン、奉天を見た上大連へも行きたいと思つてゐる、まあ短期間に出來るだけ多く見て、歸つてから滿洲國のため些かでも御援助出來ればと考へてゐる、今度の臨時議會では在滿機構問題は出ないと思ふ、とも角對滿國策について各方面が一致協力して滿洲國發展のため全幅の支持をなすべきであらう

拓務省新京　出張所移轉

【新京電話】從來滿大使館關東廳舍內にあつた拓務省新京出張所は今回關東廳出張所の關東軍新廳舍移轉に伴ひ二十九日より市內富士町の新京取引所樓上に移轉することになつた

大同學院學生募集

【新京電話】大同學院では第一部第四期の學生を募集することになつたが募集期日は十月十六日より十一月十日まで人員は日滿人合計約百名の豫定で入學時期は康德二年四月十五日試驗地は例年の如く新京、東京、仙臺、京都、福岡、京城等である

旅順競馬（第三日）

◇第一競馬（在鄕馬）八百米1龍（岡野）一分一九秒、2小櫻（大差）3北風、配一、八〇
◇第二競馬（在鄕馬）八百米1日之出（堀）一分一六秒、2長門（三馬身）3火星、配二、九〇
◇第三競馬（在鄕馬）八百米1惠比須（秋吉）一分一三秒二、2天保（大差）3日光配四、五〇
◇第四競馬（在鄕馬）千米1小天狗（服部）一分三四秒、2君代（四馬身）3保定、配一、六〇
◇第五競馬（大連組）千二百米1星（石田）一分五〇秒一、2志濱（二馬身）3玄月、配二、二〇
◇第六競馬（在鄕馬）千米1隅田（川原）一分二八秒四2駒吉（四馬身）3勝代配一、四〇
◇第七競馬（大連組）千二百米1金陵（石田）一分四四秒、2淡州（一馬身）3三碧、配一、三〇
◇第八競馬（在鄕馬）千二百米1黃金（岡野）一分四八秒、2清山（鼻）3常盤、配二、九〇
◇第九競馬（混合）千六百米1玉錦（岡野）二分一四秒三、2榮（一馬身半）3福壽、配一、五〇
◇第十競馬（在鄕馬）千四百米1勇仁恩（桑田）二分一〇秒、2明月（四馬身）3山吹、配一、四〇
◇第十一競馬（改良馬）千二百米1柳春（岡野）一分四〇秒、2豐山（大差）3三矢、配一、五〇
◇第十二競馬（大連組）千四百米1大安（青木）二分六秒三、2白海（三馬身）3曉天、配一、二〇
◇第十三競馬（在鄕馬）千二百米1日高（青木）一分四二秒、2久菊（首）3久富、配一、六〇
◇第十四競馬（在鄕馬）千米1菊代（岡野）一分三〇秒、2天豐（大差）3道寬、配一、三〇、
總賣上高一萬六千七百十二圓

村上氏表彰金　寄附者芳名

（十月二十五日締切）

▲二十圓　大連日活館▲十二圓　南滿工專職員生徒▲十圓　大連汽船船渠工場職員一同▲十圓　大連中學職員生徒一同▲十圓　旅順第二小學校職員兒童一同▲六圓三十錢　滿鐵埠頭事務所有志▲五圓　三井銀行上海支店大連出張所々員▲五圓大連對馬町平井大二郎▲五圓　青島山內鶴子▲四圓二十錢　滿鐵埠頭事務所有志▲二圓　日本赤十字社大連委員支部田代仙藏▲一圓　大連櫻花臺松本林弌▲一圓旅順青葉町永野ミネ▲一圓蓋平城內青木正吾

小計九十二圓五十錢也

合計三千六百四十六圓九十二錢也

訂正　十月十一日附朝刊發表の百圓東京藤澤電氣工業株式會社藤澤威雄は內閣資源局藤澤威雄親族一同に付訂正す

近畿地方風水害義捐金芳名

（十月二十七日正午迄）

百十三圓九十五錢　大連市大連市役所市長以下吏員一同

四十二圓五〇　大正區

十圓　同

一圓六十八錢　大連晃臺小學校生徒立花丈平、山口昌男、光瀨弘司、關三男、玉木勇治、森永一男、佐藤正、安藤某

三圓宛　同大久保伊之助、紙屋勇助、古賀正太郎、岡野輝一、高田宗次

二圓宛　同白崎甫、島崎岩太郎、喜多虎、小島正太郎、濱野龜吉、長谷川內、西口佐一郎

一圓宛　同齋藤清十郎、金應淳、渡邊主一、本間要治、林一吉、村上幸四郎、豐浦クニ、小掠澈一郎、中村久之助、福島熊太郎、豐島太一郎、丸田イネ、渡邊才吉

五十錢　同伊藤弘

小計金二百十圓六十三錢也

合計金三萬四千六百十三圓八十九錢也

後場市況（廿七日）

特產　大豆續落

後場の定期は大豆は邦商の賣物あり續落を辿り、豆粕は大豆に伴れ弱保合、豆油は人氣なく閑散軟調を呈し、高粱は大豆安を眺め弱保合に大引

◇定期（鈔建）

▲大豆（續落）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十月末	三三〇〇	三三〇〇	三二六〇	三二七〇
十一月末	三二九〇	三二九〇	三二七〇	三二七〇
十二月末	三三〇〇	三三〇〇	三二七〇	三二七〇
一月末	三三三〇	三三三〇	三三一〇	三三一〇
二月末	三三八〇	三三八〇	三三二〇	三三二〇

出來高　二百五車

▲普通大豆　出來不申

▲豆粕（弱保合）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十一月末	一二五	一二五	一二五	一二五
十二月末	一二五	一二五	一二五	一二五
一月限	一二五	一二五	一二五	一二五

出來高　七萬八千枚

▲豆油（軟調）單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
十一月限	八三五	八三五	八三五	八三五
十二月限	八四〇	八四〇	八四〇	八四〇
一月限	八四〇	八四〇	八四〇	八四〇
二月限	八三〇	八三〇	八三〇	八三〇

出來高　一千五百箱

▲高粱（軟調）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十月末	三三七〇	三三七〇	三三七〇	三三七〇
十一月末	三三九〇	三四〇〇	三三九〇	三四〇〇
十二月末	三四一〇	三四一〇	三四〇〇	三四一〇
一月末	三四三〇	三四三〇	三四三〇	三四三〇
二月末	三四九〇	三四九〇	三四六〇	三四六〇

出來高　四十九車

▲包米（出來不申）

◇現物（鈔建）

品名	寄付	大引
混保大豆（袋込）	三三五〇〇	三四七〇
大豆（裸物）	―	―

出來高　百五十車

普通大豆（出來不申）

品名	寄付	大引
豆粕	一一七五	一一七五

出來高　五十枚

品名	寄付	大引
豆油	八三五	八三五

出來高　一千七百箱

高粱（出來不申）

包米（出來不申）

錢鈔　鈔票保合

後場材料薄と日曜控へに氣乘らず保合閑散

◇定期（單位錢）

	寄付	高値	安値	大引
期近	三三四〇	三三四五	三三〇〇	三三〇〇

出來高　百二十五萬五千圓

◇現物（單位錢）

	銀對金	銀對洋	金對洋
一時	三三四〇	三三四〇	二二〇〇
二時	三三九五	三三四五	二二二五
三時	三三六五	三三七〇	二二三〇

出來高（銀對金）三十萬一千圓
（銀對洋）一萬三千圓

北支保安隊兵匪化し熱河青龍に侵入
滿洲國軍警と數時間交戰
縣長參事官安否不明

【淩源】淩源憲兵隊に於ては二十一日午前二時青龍縣城匪襲され縣長參事官等拉致さるとの報に接し俄然大活動を開始し八方密偵を派し眞相の如何を搜査の結果綜合した現在の情報に依ると河北省永平縣保安隊一個中隊兵變匪化し附近匪と合流し約三百名關內青龍縣三岔溝に進出し來り同警務局に歸順を申込み二十一日午前九時之を諒とした福田指導官は少數の警察隊引率の上歸順式に臨むべく同地に出張せるに突然發砲抵抗の態度に急變し福田指導官の指揮にて交戰に入り駐青龍滿軍騎兵一連の應援を得、敵味方多數の死傷者を出し頑強に退かず交戰二時間の後双方攻擊を中止し對時の姿勢を持してなほ退かず同地方民避難して大混亂を演出した、此旨情報を得た滿軍承德部隊は平泉迄來り眞相の如何により行動を起すべく待機し淩源警備隊においても何時たりと共行動起すべく待機中である、同地は電信電話の架設を未だ見ず、道路又省內一の難路にて行動の敏活を侵され縣長參事官等の拉致說の眞偽に對し當憲兵隊は苦心して居る

保安隊の九百名武裝のまゝ脫走
給料不渡から匪賊化

【錦州】最近河北省の保安隊ならびに公安隊中には給料不渡りから匪賊化する者多く、各方面の被害尠くないので頗る憂慮されてゐる折柄、また復唐山保安隊の一部九百名は給料不渡りから武裝のまゝ脫走し、昌黎縣內石門鎭附近に立籠つて全く匪賊と化し、昌黎縣および安山縣下に出沒し熾に暴威を振ふので、一時は討伐隊も出動したが多數の負傷者を出した上却つて擊退され討伐の見込みなきものとして引揚げた、之がため同地方の治安は全く紊れ住民の不安昂まり何れも戰々兢々たる有樣である

村長父子が
反滿抗日軍の幹部

【錦州】錦西縣第三區富隆山村々長秦浚臣（六〇）及び長男秦武光（二五）の親子は同地方の治安工作上兎角の風評あり、同縣警務局において內偵中、愈々民國二十一年一月十六日附を以つて秦浚臣は東北民衆抗日救國義勇軍參謀長、秦武光は同副官中校（中佐）の辭令を受け黑山縣潛伏の同軍司令王登廷と連絡し遼西、熱河の各地に蟠踞する匪賊を指揮して私かに滿洲國の機密を探り、或ひは治安の攪亂を行つてゐた事判明、特務主任呂澤生氏は部下警士中の腕利き四名を選拔しこの程連山を出發し一氣に秦村長親子を逮捕せんとしたが、早くもこれを知つた秦親子は家族の者と發砲し突戰約一時間の後朝陽縣境の方へ逃走した、呂特務主任一行は止むなく家宅搜查の上

一、國恥條約二十一ヶ條の條約寫し一通
二、孫中山遺書寫し一通
三、三民主義五全憲法寫し一通
四、委任狀一通
五、三八式長銃一挺、モーゼル拳銃一挺

を證據品として押收引き揚げたが反滿抗日軍の幹部を村長に任命してゐた錦西縣公署ではこの事實を知り非常に狼狽し早速善後策を講じてゐる、省境に匪賊蠢動の折柄とて民心頗る動搖の模樣である

孫財務局長
日本を視察

【營口】滿洲國民政部にては今回各縣々長の推薦せる行政官中より更に十五名選拔して日本各府縣の行政を視察せしむることゝなり營口縣も縣長の推薦により財務局長孫金波氏渡日視察班に入る事となつた、氏は十一月一日新京にて一行に加はり出發する筈である旅行豫定は約一ヶ月の豫定であると

鐵道愛護村會議 瓦房店にて開く
各關係者村長等出席

【瓦房店】瓦房店鐵道愛護村會議は二十六日午前十時より瓦房店驛教育室に於て開催、守備隊田口曹長、復縣警務局岡本指導官、保線區三浦保線工長、渡邊聯合村長、谷口庶務方、通譯俞萬元、愛護村顧問三名聯合副村長十五名出席、先づ渡邊聯合村長開會の辭を述べ左の事項を協議並に希望注意する處があつた

一、鐵道愛護村旗掲揚方について
二、愛護村旗旗竿配給について
三、愛護村旗破損品取換について
四、牛馬豚等放牧を嚴重取締る事
五、產業發達の目的にて愛護村に栗栽培獎勵について
六、會議の際は手帳其他簿記用具を携帶し會議の要項を記載し村民に傳達の事
七、愛護村徽章佩用勵行の事
八、本年春期穀類種子消毒實施に關し成績調査の件

田口曹長、渡邊聯合村長より注意事項につき二三の副村長に復唱せしめて指示事項の徹底を期し愛護旗は風雨雪の際は保管上掲揚せざる樣にと指示した、尚ほ副村長からは家畜の放牧は復縣官憲よりも取締勵行を希望して午後一時終了した

綏中縣下の村を合併
四十村にする

【錦州】綏中縣內における村の數は從來八十村であつたが、今回縣公署では經費の關係上これを縮小すべく計畫し、縣公署內に全村長を召集し二村を一村に合併し縣下四十村とし村長の改選を行ひ、年齡二十五歲以上五十歲まで、財產五千圓以上または十天地以上の所有者で、保證人二人を要する者を村長資格者としたが、村長は一月二十圓、副村長は十五圓の手當が支給される事になつたと

間島視察團一行
視察を終へて解散

【圖們】鐵路總局主催の間島視察團五十名の一行は敦化よりの臨時列車にて二十四日十六時半圖們着市中各旅館に分宿し、二十五日は早朝より圖寧線の假營業全線を視察し同日夕圖們に引返して解散した、一行の主なる顔觸れは

豆信事務田村羊三▲東亞勸業社長向坊盛一郎▲實業部總務司長高橋孝順▲同農務司長松島鑑▲大連農事會社長大倉澤治▲朝鮮總督府事務官服部伊勢松▲大興公司理事中西瀧三郎▲中央銀行爲替課長長谷川忠治▲公主嶺農事試驗場長中元安藏▲滿鐵農務課長河村泰次▲同勞務課長上師嘉四郎

の諸氏で、圖們官民各機關の代表は一行が各方面の有力者たるを以て折角の來圖を意義あらしむべく二十五日は十七時半から若木家に五十名を招いて一大歡迎會を開き相互の意見を交換した

錦州尋常高等小學校
認可の指令

【錦州】錦州日本小學校では土地の發展と學童數の增加に鑑み、豫て領事館を通じ外務省ならびに文部省あて錦州日本尋常高等小學校として正式に高等科を併置すべく申請中であつたが、今回いよ〳〵認可の指令に接した

兵隊婆さん
遼陽を慰問

【遼陽】奉天醫大橋本博士の母堂は奉天兵士ホームの主催者で滿洲隨一の兵隊婆さんと推賞されて居る事は餘りに有名であるが二十六日來遼將兵の慰問をなし更に衛戍病院警察署を慰問した

有力者も交る 錦州の紳士賭博
行政委員五名、消防組頭等々
十三名・檢擧さる

【錦州】錦州領事館警察署では去る六月以來錦州一流料亭を根城とし旺んに開帳されてゐた賭博犯の檢擧に際し、相當名譽職に在るものも之れに參加してゐた事とて、一切新聞紙上の掲載を禁止し極秘裡に嚴重取調中であつたが、今回やうやく一段落を告げたので身柄は不拘束のまゝ一件書類と共に

檢事局 に送附し同時に掲載の禁止を解除した、卽ち檢擧された者は

▲原籍廣島縣佐伯郡玖島村當時錦州驛前赤玉カフエー事居留民會行政副委員長廣藤德松（三六）▲原籍滋賀縣犬上郡豐郷村當時錦州大馬路三丁目料理店日本亭事民會行政委員西山捨吉（四七）▲原籍和歌山縣海草郡紀三井寺村當時錦州大馬路二丁目料理店紀廼國家事同上西出甚太夫（三九）▲原籍大分縣中津市船町當時錦州東門外料理店錦城館事同上自見梅治（四九）▲原籍愛知縣名古屋市南區熱田尾張町當時錦州大馬路三丁目電氣器具商同上青山秀一（三七）▲原籍長野縣東筑摩郡村城村當時金州大馬路三丁目料理店桃太郎事民會行政副委員一ノ瀨道賢（三四）▲原籍福岡縣大牟田市住吉町當時錦州大馬路三丁目料理店丸古事消防組々頭古賀鐵太郎（六〇）▲原籍三重縣神前村當時錦州大馬路三丁目料理店桃太郎方生川銀二郎（五八）▲原籍福岡縣大牟田市三河町當時錦州大馬路三丁目料理店錦波樓事德安幸作方鐘ケ江興太郎（三四）▲原籍長崎縣南高來郡當時錦州大馬路三丁目料理店錦波樓事德安幸作（五三）▲原籍長崎縣北高來郡有喜村當時錦州大馬路三丁目料理店大凌河事廣谷辰之助（六五）▲原籍廣島縣蘆品郡服部村當時錦州驛前土木請負業鍋田喜一（四六）▲原籍佐賀縣佐賀郡西與賀村當時奉天日吉町三飲食店喜乃家事種田喜三郎（六三）

の十三名で彼等は常に日本亭、錦城館、錦波樓、大凌河等に集合し五百圓、一千圓の大賭博を開帳してゐたもので

この中 には錦州居留民會の行政委員が五名、副行政委員が一名、消防組頭など市民の儀表となるべき代表者が加入して居り、非常に衝撃されてゐる、なほ錦波樓主德安幸作は取調中死亡した

錦縣驛の發着時間改正

【錦州】奉山線は來る十一月一日より汽車時間の改正を行ふがこの結果錦縣、山海關に混合列車の一往復を增發し、また錦縣、奉天間に旅客列車の一往復を增發し、奉天で滿鐵線上下超特急と接續せしめ、區間旅客の便を圖ると共に大連または新京方面と錦縣方面との交通便益を圖ることになつた、改正による錦縣驛發時刻は左の通りである

◇奉山線（上り）

錦縣驛發	奉天驛着
二時〇二分	八時一五分
六時一〇分	一一時〇七分
一一時四二分	一五時五五分
一四時四六分	二〇時二〇分
二三時三三分	六時〇〇分

◇奉山線（下り）

錦縣驛發	山海關驛着
三時三二分	八時三〇分
六時〇八分	一一時〇〇分
一三時一三分	一六時五〇分
一六時五一分	二一時二五分

◇北票線（上り）

北票驛發	錦縣驛着
七時一〇分	一一時〇五分
一五時四〇分	二〇時〇一分

◇北票線（下り）

錦縣驛發	北票驛着
八時一五分	一二時五〇分
一七時〇〇分	二一時一四分

因に壺蘆島線は朝の九時四十分に發車するほか連山驛において接續する事になつてゐると

赤峰にも落地稅
清野領事、婉曲に拒絕

【錦州】熱河省內各地で施行してゐる落地稅は舊軍閥時代に制定された一種の惡稅で、王道滿洲國が建國された今日に於いてもなほ撤廢されず、邦商より滿商へ賣り渡した日本商品に對し賦課徵稅してゐるので、日本商品の熱河進出に對してその販路を阻害するものとして屢々問題になつてゐるが、たゞ赤峰のみは從來より輸入邦貨の少量なるため之れが適用を見ず今日に至つて來た

處が最近邦人の居住者激增と滿人側の日本商品への趣好轉向により同方面に輸入される數量も相當增加した結果、熱河省稅務監督署赤峰出張所では熱河省における課稅統一の必要ありと云ふ理由の下に、近々赤峰に移入せらるゝ日本商品に對しても同稅を賦課徵收すべく赤峰領事館に諒解を求めて來たので、同地日滿商人間に異常なセンセーションを捲き起してゐた

一方清野領事はこれに對し赤峰開放地において落地稅を賦課するは明かに條約違反なるにより大使より特別の訓達ない限り承認いたし難しと婉曲に拒絕した由である

殖える視察團
昨年のザッと二倍
名實ともに完備する奉天驛

【奉天】商工業都市として伸び行く大奉天の玄關をなす奉天驛は滿洲の樞要地であるのみならず滿鐵本線安奉、奉山、撫順、奉吉各線の中心地をなすため滿洲を目指して來奉する視察

見學 團體その他旅行客は逐年增加しつゝあるが、毎年四月の解氷期を待つて來滿するこれ等團體も寒氣に向ふと共に漸減し十月を以て大體終つたやうである

本年の統計によると團體數だけでも普通團體百四十三組、學生團體二百卌九組、合計三百八十二組その人員一萬八千六人に達し、これを昨年に比較すると團體は百九十九組、人員七千人の增加を示してゐる、又これに伴つて手荷物、小荷物等の數も增し奉天驛で取扱つただけでも實に九十萬個の多數に上り、昨年の二倍以上激增し、旅客、荷物の數においては他にその例を見ず、如何に奉天驛の

乘降 客が多いかこれを以ても窺知することが出來る

そこで奉天驛では現在のまゝでは狹隘を感ずるので目下屋上待合室を建設中で之が完成の曉には優に五千人の旅客を收容されるといふ壯大なもので、來る十一月一日から實施されるダイヤの改正に伴ひ旅客列車の增發で毎日旅客列車は百一個列車發着し、之に貨物列車を加算すると實に百五十個列車が奉天驛に出入し、七百五十名の驛員により取扱はれる旅客、小荷物等も更に著るしく激增するであらう、かうして人口百萬人を擁する奉天を目指し各方面の躍進振りは目覺しいものがあるが、近き將來名實共に完備し奉天市民の

誇る べき大玄關を形成するであらう、ダイヤ改正による各列車の發着ホームは左の通りである

▲第一ホーム　大連、營口方面安奉線發（東線）
▲第二ホーム　撫順線發着（西線）
▲第三ホーム　新京、吉林、チチハル方面（西線）安奉線（到着）
▲第四ホーム　奉吉線及び奉山線發着

尙釜山、新京間直通となる急行「ひかり」で新京行きは第三ホーム、釜山行きは第二ホームに着發し乘客に便利を與へることゝなつてゐる

外人も多い
九月中だけで一千百餘名

【新京】滿洲建國以來滿洲へ〳〵と押しかける旅行者、視察團は後を斷たずもの凄い勢ひだが、外國人も滿洲國商人よりも一足先にまづ現地調査にと滿洲國現地に來るもの多く、氣溫下り氣候が惡くなつた九月でさへ一千百七名の來滿者あり、これを前月に比較すると、もはや觀光季節をはなれた關係で百八十名の減少を示してゐるが、前年の九月に比すれば二百三十八名の增加である

これを人種別にみるとソ聯人百三十四人でトップ、次に合衆國人百三十三名、イギリス人百二十五名、ポーランド人百六名等で無國籍人三百四十二名もありこれは大體白系露人である、なほこれらを職業別にすると商人實業家二百十名、宣教師、教員學生百六十四名、技師六十名、外交官四十六名となつてゐる、商人、實業家は前月に比すと十四名、十二名と增加してゐることは滿洲國の經濟的發展より通商挨拶の關係日々密接となり、又建築界の新興氣分の横溢してゐることを物語るものである

工大對工專
陸上競技

【旅順】第五回旅順工大豫科對工專の陸上競技大會は二十八日午後一時より旅順兒玉グラウンドに擧行される兩軍メンバー左の如し

▼百米　工大原、布施、舟田（補）瀧川、古原、工專大庭、稻葉、藤島（補）和田、野間
▼走高跳　工大馬場、久笠、古原（補）茅原、瀧川、工專橋田、王三隅（補）鹿島、和田
▼砲丸投　工大茅原、三好、乃美（補）古原、久笠、工專數根、稻葉、鹿島（補）景浦、山口
▼千五百米　工大久笠、宮田、林（補）三好、工專森田、久松、山田（補）森崎、牧野
▼高障碍　工大茅原、古原、馬場（補）瀧川、原、工專王、橋田、鹿島（補）和田、數根
▼圓盤投　工大茅原、布施、乃美（補）馬場、三好、工專景浦、鹿島、藤島（補）數根、池本
▼棒高跳　工大張、保坂、馬場（補）茅原、工專稻葉、鹿島、藤島（補）王、折田
▼四百米　工大原、久笠、瀧川（補）舟田、布施、工專大庭、藤島、山田（補）稻葉、牧野
▼走巾跳　工大茅原、久笠、古原（補）瀧川、布施、工專三隅、橋田、稻葉（補）野間、折田
▼槍投　工大窪田、茅原、古原（補）馬場、工專和田、稻葉、王（補）數根、相生
▼八百米繼走　工大原、布施、古原、舟田（補）瀧川、久笠、工專大庭、山田、藤島、稻葉（補）和田、野間

漁場の大望海寨へ
滿鐵沿線から國道
砂崗、蘆家屯發展せん

【大石橋】蓋平縣下の大望海寨は砂崗驛より一邦里、蘆家屯驛より一邦里半の渤海灣に面する水產物集散地にして從來其名界隈に知られたるが毎年五、六月漁業旺盛期となれば山東方面其他對岸各地より漁業關係者多數入り込み大望海寨一帶海岸にはバラック式の一大都邑を出現し滿鐵各地並に背後地よりは取引人等集合各々持ち寄りの市等が盛立てられ素晴らしい殷盛を呈するところであるが最近蓋平縣公署に於ては縣下唯一の漁場大望海寨並に交通上に鑑み國道計畫を進められ既に着手せる地區もあり本國道に依り營口蓋平が完成に結ばれたる曉には是等漁場產業の交通に及ぼす影響好轉すると共に既に着手せる沙崗、蘆家屯驛より本國道を結ぶ縣道の完成は必ず海路營口方面に搬出しつゝありたる鹽魚介類の流出を喰ひ止め時間と經費半減する沙崗蘆家屯に出廻る事は必然にして斯くなりたる場合沙崗蘆家屯の將來は實に躍進の觸光に輝くものたるべく斯業關係者は勿論驛當局に於ても大いに期待と共に對策考究中である

棉花脫稅防止
對策を決定
大石橋で關係者懇談

【大石橋】營口縣稅捐局に於ては從來大石橋近郊一帶より市場に出廻る棉花の脫稅行爲を敢行する不德漢あるに鑑み之れが防止策を考究中なるが脫稅は抑々滿洲國の國策に違背すると共に地場棉花の信用に多大の影響あると共に各種の弊害を伴ふものある見地よりこれが徹底的取締を期する爲め二十五日三木營口稅捐局員來石當地警務局に於て脫稅防止策懇談會を開催した

右に依り脫稅の國法違反なる點を强調し地場棉花の信用確保脫稅に依る各種弊害を除去を工作する方策として滿洲國警察官をして一切嚴重取締りに當らしむる事が最も適切にして効果的なりとの衆議に基き營口縣警務局との交涉を開始する事となつた、而して當地區同業關係者の總意に依り脫稅防止對策考究方案を日本憲兵隊にも依賴する事となつたと

初冬の吉林……小白山廟よりの遠望

使命を果し得ず
聲援に申譯なし
佐々木巡査代表歸る

【安東電話】在滿機構改革問題軍部案反對陳情に上京した關東廳巡查代表十四名は幾多の苦心を拂つたがその成果意の如くならず、涙をのんで歸還命令に從ひ二十三日東京で解散式をあげ、三々五々歸還の途にあるが第一着に歸滿した奉天警察の佐々木代表は二十六日午後四時十分安東署員多數の出迎へをうけて着安した、驛頭一同に對して

我等代表の苦心も空しく原案通り臨時閣議で決定し初志の

貫徹 を見なかつたことは殘念に堪へない、我等の充分任務を果し得なかつた事をお許し願ひたい、上京中の絕えざる御聲援には深く感謝する

と挨拶を述べ、展望車內で安東署幹部に詳細報告するところあり同四時五十分奉天に向つたが車中記者に語る

我々代表が東京に勢揃ひしたのは十五日で直ちに宮城遙拜、靖國神社に參拜し、それから行動を開始して先づ拓務省で坪上次官始め幹部に面會して後、岡田首相、河田書記官長に會ひ非常に突き進んだ陳情をなし回答を求めたのだ、ところが全く回答に窮した形で悲壯な場面を展開したが、やつと一日、二日回答に猶豫を與へられたいと云ふことになつて別れた、十六日は陸軍省を訪問したが都合で大臣や幹部には會へず滿蒙調査班長大城戶中佐ほか數名と

會見 した、之は結果からみて却つて不利を來たしたのではないかと思はれるのだ、衆議院議長と會見したが我々の意見に全く贊成だ、議長であるため議會でも意見が述べられない故各政黨に會つてくれとのことだつた、そこで後に鈴木總裁その他と會見したのだが、十八日岡田首相から先日の回答をするからとの事で官邸で會見したが原案は變更できないが成るべく部長を文官にする樣考慮しやうとの事で殘念だが仕方がない、十九日は鈴木政友會總裁に會ひ、續いて政友會幹部に會つて、約二時間に亘つて說明したものだ、二十一日は藤沼警視總監及び警視廳幹部等に挨拶にあがつたが

非常 に僕等を激勵し關東廳の代表でなく日本國民の代表だと大變な聲援をうけた、かくて我等の奮鬪も空しく臨時閣議で原案決定となり本部から歸還命令をうけて我々は二十二日聲明を發表したのだつた、二十三日全員悲痛な緊張裡に解散、それ〳〵歸途についたのだが、一般市民の同情が非常に高かつたことには一同驚歎した、かくて歸還命令に從つて歸つて來たが、完全に使命を果し得なかつたことは代表として聲援を受けた諸君に會はす顔もないが

最後 まで責任を完了せねばならないと思つて急いで歸つて來たわけだ

短氣は損氣

【旅順】市內青葉町東野菜＝假名＝方へ實姉の關係上本年五月頃から厄介になつてゐる高知縣人菓子職積喜（[illegible]）は同町內に髮結業を營む實姉松本トシエ（二七）に對し近く菓子店を開店する爲め出資方に就き相談中、二十五日午後三時過ぎトシエと口論の上薪割を以て鏡臺、茶棚を破壞した上旅順署へ自首した

この男は國元に妻子五人を有してゐるが生來の短氣者で、これも不景氣が生んだ社會相の一現れである

營口三義旅館
家屋明渡し

【營口】營口市街東二道街で營口唯一の大旅館たる三義旅館は家賃滯納の廉で家主タンバー氏より家屋明渡の訴訟にて敗訴となり愈々執行を受け爲めに二十五日永世街裕豐棧跡に引越し假營業を開始したと

戰歿者慰靈祭
淩源にて擧行

【淩源】滿洲神職會大連神社神職鈴木雄治氏普蘭店神社神職三宅直一氏等の戰跡弔問軍隊警察官慰問に來凌を機とし戰歿者十一氏の靈を慰むべく二十四日午前十一時淩源北門忠魂碑前に於て白雪皚々たる中に軍民多數參列の上慰靈祭を盛大に執行同十二時終了した

會と催し

◇中島縣參事官送別會　營口縣公署參事官中島定夫氏は今回新設黑河省公署警備員に榮轉する事は既報の通りだが、榮轉を惜んで留任運動さへ起る溫厚篤實の氏を營口有志が其行を盛んにする爲め二十九日午後五時から舊市街瀛海樓に於て送別會を開くことゝなつた
◇第一警察車體檢查　滿洲側營口市警察第一警察署に於ては警務局の命令により、人力車々體檢查を二十五、六兩日に亘り同署に於て執行したが、比較的良好の成績を示してゐたと
◇鄉軍射擊大會　錦州在鄉軍人分會では非常時精神作興と萬一に備へる用意のため、二十八日午前九時から午後三時まで舊交通大學裏に於て射擊大會を擧行する、その方法は正會員、一般班、婦人班の三班に分け正會員は既教育、未教育者、一般班は來賓及青年團員、一般婦人班は婦人會員及女子青年團員一般婦人等で採點は一人五發とし最高點者より順位を定め各班毎に十等まで入賞者とし賞品を贈呈する事になつてゐるから一般市民も振つて參加して貰ひたいと
◇鐵嶺縣立女子師中學校展覽會　來る二十九、三十の二日間校舍新築落成記念の爲め全校生徒の作品展覽會を開催し一般多數の參觀を歡迎すると

各地人事

▲小林才治氏（大石橋地委議長）軍民懇談會出席の爲め二十五日午後八時四十分發新京へ、二十七日頃歸石
▲愛甲直剛氏（大石橋、蓋平、瓦房店電燈事務、大石橋地委員）公務の爲め東京出張中の處二十五日歸石
▲濱邊德重氏（遼陽地委議長）二十五日夜行で新京へ
▲細矢福吉氏（遼陽憲軍分會長）二十五日大石橋往復

家庭

緣遠い娘さんのあるご家庭へご注進
あかず知己先輩の助力を求め手段と誠意を盡せ

合緣奇緣

あちこちにきらびやかな花嫁衣裳の陳列があるかと思へば、誰彼のお嫁入りの噂も聞かれるこの頃、嫁がせたい年頃の娘さんのあるお家では、何となくそわ〳〵したものを感じませう。わけて二十三、四を過ぎて、また思はしい緣につからない娘さんを持つお母さんの心は、他人のお目出度い話を聞くのさへ腹が立つほどあせり氣味になります。

みが二、三年無かつたら就職難以上の神經衰弱になつてしまふだらうと思ひます。しかるに、家計の補助に働きに出る娘や好きな業に專念になつた女の人等は、自分の年を取るのや、いはゆる嫁入り期等をついうつかり過ごす者が多くなつて來て居ります。さういふ人たちはつまり緣さへあればどんなに年を取つてゐてもいらいらする思ひをせずに嫁入りしてしまへるのです。

合 緣奇緣といふ位、緣といふものはなかなかなものであります。なか〳〵あせつたからとて思ふやうにばかり行くものではなし、まして結婚難の聲高いこの頃、幸ひにお相手にぶつかる人もあるし、中にはぶつからない人も出て來ます。血眼になつて探したとて見付けられない代りにオヤと思ふほど電光石火で成立する事も澤山あります。俗に緣遠いといふ娘さんのあるお家では、この事をはつきり心得てゐなくてはいけません。またこの事は娘の心にもはつきり分るやうに話しておいて緣遠いといふことが決してその身の恥や不見識でない事をよく知らせておく必要があります。

い つたい娘ざかりに嫁入り口を待つて、それが無い程寂しい事はありません。親があせり出す以上、娘心には悲しい思ひの湧くものです。花嫁學校の嫁かしい卒業生に、お嫁の申込

娘 盛りに何にもせず嫁入り口をのみ待つのは、一昔前の事で、したが今の世では一般的にはむしろ愚な仕業だといへませう。お嫁の口がなかなか無いからといつて、職業婦人にさせるのは出來ない事でせうし、又急にそれだから好きな道にすゝませるといふも、本人にとつて見ればそれこそどんなに心寂しい事でせう。結婚難といふのは現代では分り切つた事實なのですから、その覺悟ではなくても始めから娘に仕事をもたせておきたい。嫁に行くだけが行く道だと小さく考へ込ませておかない事も親の慈悲ではないでせうか。

そ して娘さんをいつまでも若々しく晴れやかに過ごさせるやうにします。一方緣さはいへ良緣を求めさすのは一つは廻りの人の努力にもよりますから、あかず知己先輩の御助力を得るやういろいろの手段と誠意をつくすのがよくあります。

酷寒何のその これはいかゞ?
杉本滿鐵秘書役夫人考案の コート下用のお袴

滿洲の冬 和服の外出に何より辛いのは裾口から遠慮會釋なく吹き入る寒風と、たつた一ぺんの外出にも大切なきものの裾をま黑にする汚らはしい煤煙でせう。滿鐵の杉本秘書役の夫人華子様は和服のこの不快、不便な點から最近コート下用の袴を考案しました。寫眞はこの

新考案の 袴を穿いた夫人ですが、この袴に就て次のやうに語りました。

何時も年頭や大連驛にいろんな方を送り迎へいたしますが、ヂッと立つてゐますと寒さが裾の方からヂン〳〵とこたへます。一寸買物に出ても裾が風にあふられて寒さもムロンですが裾を

氣恥かし いか知れませんが冬の外出にはどうせ上から長いコートをお召しになるのですから、コートにかくれてちつとも不體裁なことはありません。御訪問などにお用ひになるならコートの内側の兩脇と、この袴の兩脇にスナップをとりつけておいて、玄關でコートをお脱ぎになる時この袴もぬいでコートの内側にスナップでとめてお置きになれば少しも不體裁はないと思ひます。

不自由を なめた末かういふものを拵へて見ました。私の郷里は米澤で、あちらでは冬になるとあの股引のやうなモンペを穿きますが、あれが大變重寶であたゝかいのであれからヒントを得たわけです。裁方も縫方もごく簡單です。布は手輕にお洗濯の利くやうな紋波、紋羽二重或は薄手の支那どんす風の生地で大巾四尺五寸くらゐと、それにゴムテープ三尺ほどあれば體裁のよいのが出來ます。これを眞中から二つ折にして兩脇を縫ひ合せ袋を拵へます。袋の底に當る部分(わきになつてゐる)は兩端を五分、中央約六寸ほどはそのまゝわきにしておいて、中間を五寸五分ほど裁切り

足を出す 穴を拵へます。この二ケ所の穴には共布が同色の布で玉べりをとつて足を出すに不自由ないだけの長さのゴムテープを縫込みますと、丁度昔の公卿様の袴の裾見たいになります。上の方は折返して中にゴムテープを通せばそれでよいのです。一見した所袋見たいな變な形ですが、肢がありませんから帶のきはまで引こんでも内のきものゝまくれることもなく、ゴムテープで脚をキッチリ締めますから絶對に風が吹入らずお召物のよごれることもなければあたゝかいことこの上ありません。もつともこれを上からお召しになつては聊か

サラリーマン喜べ
鬼が笑つても來年は當り年だ!!
日曜と祭日續き四日

來年 の日曜はどんな調子か、一年を通じて日曜の多いのをよろこぶことは當然サラリーマン氣質といつてもはゞからぬものそれ故日曜と祭日がかち合ふとなるとこれほど癪なものはないその反面、日曜祭日の二日續きとなると、先づ鬼の首でもとつたやうに有頂天になつて春は春、秋は秋と、其季節に應じて命の洗濯とのんびりするは當然のこと。それが今年のやうに日曜が祭日と一緒になると癪に觸る。

さて 昭和十年の日曜はいく日あるかと算へて見ると、五十二日ある。然し五十二日は今年も五十二日あつたんだから別にうれしいこともないが、日曜と祭日が續くのが四回あるから、先づサラーマンの當り年といへよう。ところで一月から日曜を見ると四日ある日曜のうち五日が新年宴會で六日が日曜。二月も四日で、十日が日曜、十一日が紀元節と三月の祭日は地久節と春季皇靈祭があるが日曜と續く日はない。然し日曜とかち合ふやうなこともないし、又この月は五日も日曜があるので祭日と合せれば七日も遊べるわけだ。

四月 は櫻の月、神武天皇祭だが第一日曜は七日で續かない。二十八日は日曜、翌二十九日は天長節で二日續きの休みとなる。五、六、七、八の四ケ月は祭日もないが、九月には秋季皇靈祭がある。然しこの二十四日の祭日に對して日曜は二十二日、いところで二日續きとはならない。十月は十七日が神嘗祭だが二日續きにはならぬが日曜ともかち合はない。十一月は三日が日曜で明治節だから、これはどうしやうもないが、二十三日の新嘗祭は翌二十四日が日曜となるから完全に二日續きの休みとなるわけ。最後の十二月は一日が日曜で最後の日曜二十九日までの日曜日は五日ある。それに二十五日が大正天皇祭であるから、この月の休みは都合六回となつて來る。

何に しても、來年は日曜と祭日がかち合はないことが多く、勤人にとつて大きなよろこびだ。前記の如く五十二日の日曜數と祭日數十三を加へると六十五日の休日となるが、このうち日曜と祭日が一致する日があるから先づ六十四回、一年三百六十五日からこれを引くと三百一日、來年はこの三百一日を働くことになるわけのものである。

おらが一年 三百と一日だ お休み實に六十四日

康德學院設立に就て (4)
駒井德三

第一〇 に學院生は單に北京語を語り、且つ響き得るのみならず、生きたる支那事情を知らねばならぬ。支那事情の講師として は、大滿東亞部長の神尾茂氏、大每東亞部長長岡克曉君に御願ひしたいと思ふ。其の他知友にして滿支の官界、或は實業界に活動して居らるゝ方々に時々特別講義を御願ひする。尤も私自身外部に對して學院に對する一切の責任を負ふと共に、常に學生に接して滿支に對する私の理想や體驗を講述する事は申す迄もない。

第一一 に學生が學院卒業後、直に實務に從事し得るために は、東洋の地理、歷史、實用英語と商事要項並に簿記及び經濟學と法學とだけは習得せしめて置きたく、各々適當な講師を囑託する。それと同樣に必要なる課程は軍事教練である。滿洲支那に渡つて第一線に活動する青年は、萬一の場合君國に殉ずる決心を要する。それに必要な訓練は、スポーツでもなく、日本古來の武道でもない。それは日本獨特の軍隊的精神と、各種最新兵器の操縱法である。これは其筋の方に御願ひして、成る可く現役の教官の派遣を御願ひしたいと思ふ。

第一二 に學院の學科程度であるが、私の考へとしては一定のイデオロギーなどを持つてゐない中等學校の卒業生を採用する事が、最も適當であると思ふ。それには中學校、工業學校、商業學校師範學校、農學校の卒業生と其他に獨學で勉強し、而も中等學校卒業生と同等以上の學力を有する者を加へたい。

第一三 に學院生採用の目標は、第一身體强健なること、第二學力優秀なること、第三に扶養の義務少き者なること、第四に外柔内剛にして思想の堅實なることで此等は嚴密なる身體檢査、學科試驗及びメンタルテストの結果で決定する。(つゞく)

帝展 ハンモックによる裸婦
中村研一作

▼▼…「裸でハンモックに乗る女があるものかといふでせうが、私はそれを乘せ、光りも氣儘に作り出し、自由な畫面を構成して行く事も畫家に與へられた特權ではないか」

▼▼…と云つて中村氏は、いつものお馴染み婦人を裸にして緑の庭につるしてしまつた。この繪は光面の扱ひにポイントを置き、白い光りを我等の眼に再び亂反射させる事に妙を得てゐる。

▼▼…然しこの事にのみ表面描寫に止る故か、繪に品が薄くなつた事を惜しむが、同氏の大畫面をこなす腕には年々洗煉の跡を見せ、今年のこの大作等走る樣なブラッシュで巧みに繰り、氏一流の黑と白とを驅使し得てゐる。

學藝 吃音から雄辯へ (二)
前田征一

次に精神的な副作用としては家に吃音者は、自分は吃音だと云ふことを常に心痛して、その結果は憂鬱症となり、厭世的になり、果は世を呪つて自殺する者もあるのです。第二には吃音者の神經過敏であります。例へば非常に怒り易く神經質になり、日常の行事がすべて不愉快になるのが通例であります。次に原因に就いて調べて見ますと、槪ね次の樣に分けられます。

一、精神的原因に依るもの
一、模倣したもの
一、感情によるもの
一、意思の弱いもの
一、能力の足らぬもの

これ等の中で模倣によるもの、即ち人の吃音を面白がつて眞似る中に吃音になつたものが一番多く吃音者の約七十五パーセントを占めて居ります。兩親や親類、友人子守、女中、下男或は教師などの吃音の眞似をしたり、或は又「吃の又平」の芝居を見て面白がつて一生懸命にその眞似をした爲に、一週間後には立派な吃音者となつた例もあります。模倣程恐ろしいものはありません。兩親や保護者は子女が吃音の眞似をした場合には、嚴重にその非を諭し、絶對にならぬ樣に注意しなければなりません。此處に申して置きますが、吃音は決して遺傳するものではありません。

次に感情に依るもの、例へば非常に恐ろしい目に出會つたとか、二階から落ちようとした時とか、火災に遇つた時とかいふ場合に吃音になるので、これは約二パーセント、意志の弱いものは、前の模倣したもの ゝ中に包含されてなか〳〵多いものです。

次に能力の足らぬものは、言語中樞が充分發達してゐないので、比較的少ない方でありますが、これは普通の吃音と云ふべきではなく矯正も亦困難であります。特殊なものは醫學的技術に俟たねばなりません。

一、肉體的原因に依るもの
一、呼吸の調節不完全
一、聲帶の開閉調節不充分
一、病氣
一、舌聲帶の附着過大、聲蓋等であります。尚ほ吃音發生の時期は、大正十一年八月東京樂石社入社生八、六一八名の統計で見ますと。

幼年期(生後より六歳まで) 三、六〇一名
少年期(七歳より十二歳まで) 四、七二〇名
青年期(十五歳より廿歳まで) 二八〇名
壯年期(廿歳より三十歳まで) 一七名

となり、如何に少年期に吃音に罹る率が多いかゞ分ります。この時代の子女を持つ御兩親は充分に注意して、模倣や感染を絶對に防がねばなりません。それと同時に小學校の教師は、又此少年期の心理を充分に理解して、適當な指導をしなければならぬと思ひます。

新刊紹介

岩波全書 ▲耐震構造汎論(佐野利器、谷口忠共著)第一篇耐震構造學の歷史及研究の現狀、第二篇震力論、第三篇建築技術家及一般人に對する耐震構造の方法及知識▲有機化學(漆原義之著)應用方面は略述してあるが、純有機化學には主力を注ぎ高等學校専門學校の程度を保持してゐる、説明は簡潔。▲基督教史(石原謙著)基督教史を説明しやうとするものではなく、寧ろ唯だ西洋思想史並びに文化史上に重要な位置を占めた基督教の史的展開の跡を辿り、各時代に於ける外貌と特質を槪説しやうとしたものである。▲寫眞(藤澤信著)寫眞の一般知識及化學物理に多少の知識ある者に對して、科學的に專門的知識への導入を目的としたものである。▲齒車(成瀨正男著)齒車の基礎的理論若しくは一般的理論を詳述し、第一篇で齒形を、第二篇で齒形を齒車に應用することに關して述べてゐる(發行所東京市神田區一ツ橋通町岩波書店、價八十錢)

●滿洲(十一月號)發行所大連市大江町四滿洲俳句會、價二十五錢
●セルパン(十一月號)發行所東京市麹町區三番町一ノ一第一書房價二十錢
●改造(十一月號)大森義太郎「現代知識階級の困惑」猪俣津南雄「今年の米の問題」關西大風水害に就いて長岡半太郎、藤原咲平氏等の一文、創作は光治良、芙美子、洋次郎、房雄、長江(發行所東京市芝區新橋七ノ三改造社、特價八十錢)
●ダイヤモンド(十月二十一日號)發行所東京市麹町區内幸町二ノ三其社、價四十錢
●婦人俱樂部(十一月號)別册附錄として民間療法全集と凸凹黑兵衛があり、濱紬婦人コート地五百反贈呈の大懸賞が發表されてゐる(發行所東京市小石川區音羽三丁目大日本雄辯會講談社、價五十錢)
●短歌研究(十一月號)發行所東京市牛込區市ケ谷加賀町一ノ一二改造社、價五十錢
●女性文化(十一月號)特輯名作女主人公の再吟味(發行所東京市小石川區江戸川町一八交蘭社、價二十五錢)
●大乘(十一月號)發行所京都市伏見桃山三夜莊其社、價四十五錢
●祖國(十一月號)發行所東京市杉並區井荻町三ノ一學苑社、價二十五錢)

冬籠りをひかへて 對寒衛生について (下)

醫學博士 松浦有志太郎

第二種法 のうち野外戸外の焚き火は無害、我邦古來農家の居爐火も冬の夜などなかなかに親みがあいていゝもので無害、これ偏に家屋構造の然らしむるところである。西洋室の焚き火カミンは、略これに似てをる。煙道の故障さへなければ、室内空氣の交換にもよろしい。但し室温を高め過ぎぬ樣、又密閉せぬ樣注意しなければならない。

日本室の 火鉢は、昔時のまゝの日本室ならば空氣を汚染せず、又室温を格別高めぬ。故に安全なれども西洋室、又は此頃の文化室(硝子を多く用ひて改造したる室)において之を用ふるは甚だ危險である。總て此法を用ふるには室内温度の上昇を計らずして窓戸等開放主義なるを要する。此頃文化人の住宅に於て、その應接間や居室の無煙突の瓦斯ストーブを用ひて平然たるもの少からず。

危險千萬 である。近代人の衛生知識の退歩慨歎すべきかな。序ながら茲に警告して置く第一居室内に瓦斯管を引き入れ置く事が既に餘りの大膽さである。

第一種原則に屬する法は、多くは最も簡單且つ理想的にして空氣を汚染せず、又室内高温空氣の危險がない。只從來多くは個人的、又は小規模のものにして、大規模のものは少い、併し此中のおんどる床式は、之を改造して電氣蒸氣又は温湯を應用したならば大なる室大講堂等の床板(叩き、コンクリート、敷瓦、疊敷の室、二階、三階等々にも用ふるを得べし)をも加熱するを得べく、此の温床に起つも坐するも頭寒足熱の健康法に叶ひ、理想的の暖室法を初めて完成する事が出來やう。故に私は此の第一種法の法式は最も理想的のものにして、將來大に應用せらるべき最良の方法であらうと思ふ。將來大に發達すべきは此のおんどる式の煖房法であるであらう。私は此の道の專門家達の今後大にこれに就て研究工夫されん事を希ふものである。

結論 在來の西洋式の煖房法は、甚だ有害なるを以て之を廢し、之に代ふるにおんどる式の採暖法を改造擴大して用ふる事は、住宅衛生上甚だ急を要する事と認めるものである。放射熱法も亦適宜適所に之を用ひて甚だ便利、且つ無害なるを得やう。(終)

さても珍奇好みな

珍奇好みのヤンキーは、シカゴ市で行はれた自轉車祭の時に、いろいろかはつた自轉車競技をしました。そのうち一番人氣を呼んだのは、この寫眞の競技です。これは中世期のナイトのいでたちをした連中が自轉車競爭をして、集まつたヤンキーたちのどぎもを抜きました。

本社特選 高段新手合【其二】

平手 先 六段 平野信助 / 六段 飯塚勘一郎

【圖は四四銀迄の局面】

	九	八	七	六	五	四	三	二	一	
	香	桂		金	王		金	桂	香	一
		飛					銀	角		二
	歩	歩	歩	歩		歩		歩	歩	三
					歩	銀	歩			四
								歩		五
			歩		歩					六
	歩	歩		歩	銀	歩	歩		歩	七
		角						飛		八
	香	桂	銀	金	玉	金		桂	香	九

▲飯塚氏持駒 ナシ
△平野氏持駒 ナシ

△四六銀 ▲三三角
△七八金 ▲四二銀
△六八銀 ▲五三銀上
△五七銀上 ▲六四銀
△六六銀 ▲八四歩

累計二十二手

講評 土居八段

△圖面の場合先手は二四歩、同歩、同飛、二三歩、二八飛、五五歩、同歩、同銀、五六歩、六四銀、六六歩と突き、以下堅固な陣容を張つて、敵銀の壓迫を兼ね、徐ろに對戰する方法と、本局指手の如く四六銀と上つて中央攻防の二つの方法がある。何れを執るも可である。

△平野君は、後者の手段が自己の棋風に適して居るとみえてこれを實行した。その結果、双方とも二枚銀を戰線に繰り出して同型で爭ふこととなつた。

觀戰記 七段 萩原淳

◇五筋の對立

平野氏の四六銀は、敵の四四銀に對抗して、五筋の交換を避けたものである。が、その代り敵に三三角と指されては、飛車先が切れなくなるので五分々々である。

然し、先手は成るべく飛車先を切ることが得とされてゐるから、この際、二四歩と指す方が、氏の棋風に合致するやうに思はれる。

飯塚氏の四二銀は、次に五三銀と繰り出して、中央の位取りを意圖するものである。

平野氏の六八銀、五七銀は、敵銀に對抗したものである。

さて此局面から見ると、兩々中央に伯仲した勢力となつて、相當仕掛の六ケ敷い難局を現出して勢ひ先手の得の發揮に困難をみるやうになるであらう。

日本棋院 大手合戰譜(十九局)

先 三段 宮下秀洋 / 初段 松浦勝治

制限時間各七時間(但し一分以内は切捨)

—【2】—

●二一れノ六 ○二二たノ十(1分)
●二三たノ十三(14分) ○二四かノ十
●二五なノ六(10分) ○二六なノ十(5分)
●二七かノ四 ○二八はノ十六(1分)
●二九にノ九(3分) ○三〇ろノ十七(1分)
●三一よノ三(18分) ○三二たノ二
●三三ちノ四 ○三四かノ十七(3分)
●三五かノ十六(21分) ○三六わノ十六
●三七かノ十五 ○三八たノ十七(6分)
●三九れノ十七 ○四〇なノ十八

所要時間累計 (白)二十七分 (黑)一時二十四分

對局者の言葉 (白)二十二と高く攻めたのは、二十までの外勢に對應する意味です (黑)二十三も先づ此の一手といふ處でしたが— (黑)二十五も一路控へて(わ六)なれば本當なのですが、二十七のケイマが打てれば此方が多少働きかと思ひました (白)二十六を怠つて黑からボーシされては堪りません (白)二十八、三十と取り切つたのが問題かも知れませんが—實利なので— (黑)三十一は疑問でした、次ぎに三十三と打ちたかつたので、利かしの積りでしたが— (白)四十は(よ十七)にツグものでしたか

戰の跡 ◇黑二十一は必然この押へを急がせた處に、白十八と押した意味が含まれてゐる◇白二十二は豫定の行動であらう(れ十)の星下や(れ十二)の星ワキは、二十までと外勢を張つた趣意と背馳する◇黑二十三は白から此點へヒラかれるのが絶好なので考慮の餘地のない位の所である◇白二十六で二十七又は(わ三)に受けて居ると、黑二十六のボーシが必然で、此のボーシに對する白の働きは、延いて二十までの厚壯を解消する虞れがある◇黑二十五、二十七は本調子、此の二十七と打てれば二十五は(わ六)に控へる必要を認めない許りか、寧ろ一路進んで居るだけに譜の方が働らいてゐる◇白二十八、三十と取り切るのは、後手二十九目に相當する一手が十四目半に當る勘定だから決して小さくはない—然しそれは局部的の問題で、大勢上からは白二十八では二十九に先着し、黑若し(ろ十五)ならば白下邊(な十六)あたりを占めるのが妥當ではなかつたか◇黑二十九て(は十七)に受けるのは利かされて、二十九の點は白に奪はれる事になる、此の黑二十九を向一路又は二路進めて見ても、却つて打込みの後患を遺して詰らない◇黑三十一は保留したい、白(か二)とケイマされてから黑三十二とツケて行く筋の所だから打ちたくない若し強ひて打てば(よ二)のケイマが形であらう◇黑三十五は(わ十三)に二間トビし(ぬ十)のボーシの含みで行くのが輕妙らしい譜のツケは黑二十三が二間だけに何となく好ましくない

ラヂオ 廿八日

大連(JQAK 六五〇KC)

午前の部

六・〇〇 ラヂオ體操
七・〇〇 ラヂオ體操
八・三〇(東京より)子供の時間「童謠と唱歌」下谷區竹町尋常小學校兒童、ピアノ伴奏百瀬三郎(一)齊唱「がん」石原和三郎作詞、田村虎藏作曲(二)獨唱大沼政子「イ、かうもり」富原義徳作詞、佐々木すぐる作曲「ロ、落葉の子供」富原薫作詞、百瀬三郎作曲(三)齊唱「イ、秋の夜半」ヴェーバー作曲、佐々木信綱作詞「ロ、三歳女」新訂尋常小學校唱歌=荒川區第一日暮里小學校兒童、ピアノ伴奏望月富貴雄▲齊唱イ、「歸り道」川部昡氏作詞、望月富貴雄作曲ロ、「雉子射ち爺さん」北原白秋氏作詞、草川信作曲ハ、「秋」細田道村氏作詞、望月富貴雄作曲ニ、「牧場の朝」文部省唱歌=日本橋區箱崎尋常小學校兒童、ピアノ伴奏矢島佐可枝(一)齊唱イ、「夢」文部省唱歌ロ、「運動會」矢島佐可枝作詞作曲(二)獨唱 南谷周三郎イ、「影法師」文部省唱歌ロ、「お池の噴水」矢島佐可枝作詞作曲ハ、「日の丸の旗」文部省作詞、田村虎藏作曲(三)齊唱「白虎隊」文部省讀本 田村虎藏作曲
九・〇〇(東京より)宗教講話「日本精神の一端に就て」東叡山寛永寺住職輪王寺門跡大多喜守忍
九・四〇(東京より)母の時間「此頃の青年の心持」文學博士野上俊夫
一〇・一〇 レコード
一〇・四〇 滿洲音樂(レコード)
一一・四〇 ニュース
一一・五〇 講演「新官公署官制制定の經緯とその趣旨」總務廳長遠藤柳作

午後の部

引續き東京大學野球聯盟リーグ戰實況(慶大對早大)=明治神宮外苑野球場より中繼
二・五〇(東京より)經濟市況
五・〇〇(大阪より)子供の時間 童話 伴奏大阪ラヂオオーケストラ(一)「お水がほしい」木下柚子(二)「お伽の國のバス」石原照子
六・〇〇 ニュース、告知事項
六・三〇(大阪より)日曜特輯新作演藝「義太夫修禪寺物語」岡本綺堂原作、大森痴雪作詞、文樂座、淨瑠璃竹本鏡太夫、三味線豐澤廣助
七・一〇 琵琶「城山」飯干錦壽長
七・三〇(東京より)舞踊劇「桐一葉」坪内逍遙作、場景一、片桐邸書院の場二、長良堤訣別の場▲配役=片桐市ノ正且元(松本幸四郎)石川伊豆守貞政(市川染五郎)片桐主膳正貞隆(市川團右衛門)木村清藏(松本高麗五郎)十河十兵衛(市川照藏)今村三石衛門(松本錦四郎)石川の郎黨一(松本友十郎)同二(松本麗平)片桐の臣一(松本錦車)同二(松本錦八)同三(松本武之助)大野の臣白倉楯六(同)神崎治右衛門(松本桃四郎)片桐一葉の前(坂東秀調)侍女楓(松本錦三郎)木村長門守重成(市川高麗藏)竹本連中太夫豐竹巌太夫、三味線竹澤仲造、鳴物連中杵屋連中
八・三〇 時報、ニュース、氣象通報、明日の番組のおしらせ
八・五〇 滿洲音樂(レコード)

新京(MTCY 五七〇KC)

午前の部

六・〇〇(東京より)ラヂオ體操
六・二〇 ラヂオ體操(滿語)
一〇・四〇 ニュース(日語)
一〇・五〇 音樂(レコード)(滿語)
一〇・五九 時報(滿語)
一一・〇一 音樂(レコード日語)
一一・五〇 講演(大連と同じ)

午後の部

四・三〇 ニュース(滿語)
四・四〇 演藝(滿語)鶯春院金鏡
五・〇〇(奉天より)子供の時間
五・二五 ニュース(鮮語)
五・三〇 演藝(鮮語)
六・〇〇(東京より)ニュース
六・二〇 ニュース、氣象通報、番組豫告(日語)
六・三〇 日曜特輯演藝義太夫(大連と同じ)
七・一〇 琵琶(大連と同じ)
七・三〇 特輯演藝週間第一夜(大連と同じ)
八・三〇(東京より)時報、ニュース
八・四五 講演(鮮語)「學校と家庭」鄭恒謨
九・〇〇 演藝(滿語)鶯春院梓寶
九・二〇 ニュース(滿語)

京城(JODK 九〇〇KC)

午後の部

〇・〇〇 時報、今日のプログラム發表
〇・〇五 氣象通報
〇・三〇 ニュース
〇・五〇 滿洲より
一・四〇 野球試合實況(大連と同じ)

◆大邱の夕◆(大邱公會堂より中繼)

五・三〇 開會の辭(第二放送に依る)朝鮮民報社長河井戸四雄
六・〇〇 兒童劇「リンゴ祭」朝鮮民報コドモ・サークル
六・二五 挨拶 大邱府尹門脇默一
六・二五 講演「慶尚北道當面の問題」慶尚北道内務部長大竹十郎、講演「大邱府の現狀」大邱商工會議所會頭小倉武之助、講演「慶北の水産に就て」慶北水産會長中谷竹三郎
七・〇〇 ニュース、天氣豫報
七・二五 ギターと尺八合奏(一)山は夕燒(二)城ケ島夜曲 尺八安田契堂、ギター石坂俊一▲新日本音樂(一)飛躍(二)光輝 琴岡野光雄外、尺八島原帆山▲獨唱(一)曉鐘(鮮語)(二)私の太陽よ ピアノ伴奏宋粉祚▲小唄(一)待ちわびて(二)だるま(三)空や久しく 大邱券番老松▲長唄「秋の色種」杵屋六義、杵六壽外▲和洋合奏越後獅子
八・三〇 特輯演藝週間第一夜(大連と同じ)
九・三〇 時報、ニュース、氣象通報、翌日のプログラム發表、ニュース再放送

赤い字で"空車" 歸り大タク三十錢
來月の一、二日頃から掲示
輕くなる市民の快足

大型タクシー營業者側から出願中の"空車"表示板の掲示方に就いては、さきに大連署保安係から許可あり赤色で"空車"と書いた表示板製作を注文してゐたが、二十七日漸く完成組合に着荷したので藤井、梅野正副組合長、馬越役員の三氏は同日午後二時大連署に出頭、長川保安主任に改めて掲示方の諒解を求むるところあつた、二十八日から掲示板の取付を開始し多分十一月一日乃至二日より全市大型一齊に"空車"の表示をなすと同時に、豆タクに對抗し歸り車は一區三十錢で走ることに暗々裡に決定してゐる模樣で、本格的な豆タクとの賃金競爭はこれを機會に猛烈に展開されるものと見られ市民の興味を煽つてゐる

友愛會の提案 勞資協調策
會員を株主にする案

勞資の對立からストライキ騒ぎまで惹き起した大連自動車株式會社（大タク）では、過般爭議で承認した運轉手側の要求事項につき調停役葛和善雄氏を中心に馬越大タク專務以下重役間で協議中であつたが、運轉手側の要求全部を無條件で容ることになれば會社内部の根本的改革を必要とする重大問題で、未だ問題全部の解決を見るに至らない模樣であるが、最近同社運轉手で結成する友愛會内部より對立的な勞資の協調を圖るには相互的利害に立脚した結合が先決問題であるとなし、會社側に對し友愛會として會社の株を持ち運轉手全部を株主にし確かと握手して行きたいとの希望申入れがあり、馬越專務は友愛會の趣旨に賛意を表し重役側の諒解を求めた結果、來る二十九日遼東ホテルで開かれる同社定時株主總會に諮る事となつたが承認を得れば友愛會員より重役一名を選出する筈である

當日總會では決算報告の外重役四名の改選が行はれた後、過般爭議の要求事項に對する會社側の解決案（一部を殘して）も議題として提出されるものと見られ、一方友愛會でも當日臨時總會を招集、會社總會の結果に基き協議する筈で注目される

右につき馬越大タク專務は語る

タクシー界非常時の秋會社と運轉手が睨み合つてゐては双方共に大きい損害でこの際シックリ手を握つて行かうとしてゐる時友愛會から會として株を持ち利害一致の立場で進みたいとの申入れあり洵に結構な話だと思ひ私自身は直ちに承諾し二十九日の總會に諮る事となりました、これが實現すれば運轉手側から重役一名を出すことにならうがこゝまで運轉手と會社とが融合すれば爭議による運轉手の要求解決の如きは易々たる問題であり私は職を賭してもこれが實現を期したい

先生も銃を持つて　きのう訓導射擊大會

大連で一遊び 新京人士に福音
十一月三日から實施
週末列車

【新京電話】國都新京と滿大連を七時間半で突走る超特急あじあ號の運轉に伴ひ滿鐵本線のダイヤの大改正が十一月一日から行はれるが海を持たず娯樂機關に惠まれない新京人士にとつて極く氣樂に週末旅行のプランがたてられると云ふダイヤが出來てゐる

つまり土曜日に會社なり官廳なりから自宅に歸つて夕食をゆつくりと認めて手廻品を纏めて午後十時新京發列車に乘り込んで一眠りすると翌朝の六時二十五分には奉天につくそこで顔でも洗つて先づ一休み七時半の奉天大連間の急行列車で一路大連へ大連着はその日の午後一時卅分恰度日曜のこと御好きな野球なり映畫を見るなりそれとも星ケ浦か或は老虎灘のオゾーンを腹一杯吸ひ込むなりして時間が餘つたら一寸一杯と洒落込み午後八時の十五列車で新京に歸ると翌朝八時五十分には何の苦もなく新京着九時の出勤には完全に間に合ふこの上ないダイヤが十一月三日の土曜日から實現されると云ふ新京人士にとつては何より嬉しい話

大連驛の宣傳週間
ダイヤ改正で

大連驛では十一月一日より變更される列車時刻變更に伴ひ之を一般民衆に徹底させるため、十月二十六日より十一月十五日迄の三週間を宣傳週間とし、大連驛々是たる"一歩前"に則り列車時刻宣傳の徹底、サービスの向上、乘遲れ防止の三項目宣傳のため驛員一同は緊張を呈してゐる

白衣の勇士 七四名來連

北滿の曠野に皇國の第一線に立つて奮戰し惜くも傷ける我等が勇士歩兵中尉水中實氏以下七十四名は一等軍醫正尾坂正男氏護送の下に二十七日午前六時二十分着列車にて凱旋驛頭官民各團體の出迎へを受け直に大江町衛戍分院に入つた二十九日出帆あめりか丸で内地へ凱旋の筈

接戰の末、早大勝つ
血を沸した早慶第二回戰

【東京特電二十七日發】晴れの早慶戰は結局一A對零で早大の勝利に歸したが七回後の經過左の如し

◇八回　慶應本田遊撃猛直球は野手の美技に阻まれ櫻井山下とも に捕邪飛▼早大高須遊撃長野遊飛後小島二壘強襲單打に出で永澤の遊飛は捕手の妨害となつて小島二進鶴岡打者の時小島、永澤の重盗成つたが鶴岡三匍

◇九回　慶應岡投匍灰山（中村の代打）一直飛礒石中飛

	打數	安打	犠打	盗壘	三振	四球
慶應	32	3	0	0	2	3
早大	29	7	1	2	4	4

秩父宮同妃兩殿下 帝展へ御成り

秩父宮同妃兩殿下には二十三日午前十時上野府美術館に目下開催中の第十五回帝展に御成遊ばされ正木院長の御案内で場内を御巡覽あらせられた【寫眞は場内御巡覽の秩父宮同妃兩殿下】

閑院元帥宮殿下 産業博へ御成り

閑院元帥宮殿下には二十四日午前十時目下上野公園東京科學博物館別館に開催中の産業教育博覽會に成らせられ詳さに御覽あらせられた【寫眞は台覽の閑院宮殿下】

炭疽病の豫防に 獸疫研究所を擴大
全滿に豫防注射施行

滿洲には二千五百頭以上の牛馬を有するが、これ等に傳播する炭疽病は滿洲の風土病ともいはれ一度猖獗すれば本年の北滿における如く馬匹の全滅を來すことがあるので、軍事上又産業上炭疽病の撲滅は緊急事であり日滿關係當局では是が對策を研究中であつたが、滿鐵獸疫研究所を擴大し炭疽血清製造能力を増して來年中に炭疽豫防注射を全滿に亘つて施行徹底的惡疫の撲滅を期することとなつた

即ち獸疫研究所では十年度豫算を以て炭疽血清製造工場を擴大する事に決定、現在の七十萬瓦製造能力を三倍の二百萬瓦製造能力に増し血清製造に努めるが炭疽血清は本年よりも倍加されて三十五萬瓦製造より七十萬瓦に増されたものである

なほソウエート側ではチタに炭疽病菌を製造する尨大なる細菌研究所を有してゐるが、時局柄滿洲における炭疽豫防注射は緊急を要するものとされてゐる

大谷光暢師 來月八日大連へ
新京奉天華北を經て

【大阪特電二十七日發】大連大谷派別院本堂入佛慶讃法要のため東本願寺法主大谷光暢伯智子裏方は二十七日朝九時京都發陸路來滿三十日新京に於いて皇帝陛下に謁見三十一日奉天經由にて十一月四日天津公會堂における軍人追悼會を執行し北平を經て八日午後六時半"あじあ"にて大連着三泊の豫定

【奉天二十七日發國通】東本願寺法主大谷光暢伯並に智子裏方は滿洲國興隆の御祝賀を申上げ又滿洲事變勃發以來護國の鬼と化した日滿兩國軍警官民の英靈を慰める大法要執行のため二十九日午後二時着車の豫定で、同日はとで新京に向ひ滿洲國皇帝陛下に拜謁、日滿各方面歴訪の上三十一日夜十時半降奉し十一月一日午後一時より奉天東本願寺にて大法要を執行すると

横領の穴埋に 詐欺を働く
遊蕩の幾久屋店員

大連濱町幾久屋百貨店の一店員が二千餘圓の集金を横領し遊興費に費消した結果店主よりの請求に迫られ大膽にもその穴埋めに詐欺を働いたが遂にその目的を果さず逮捕された事件がある、幾久屋食料品外賣部店員石川直哉(二)は二十六日午後九時美濃町にある自分の下宿先より同店商品券賣場に電話で

滿洲報社長西片朝三氏が購買傳票で五十圓商品券四枚を欲しいさうだから今メッセンヂャーボーイをやるから直ぐ自分の所へ屆けてくれ

と申込んで來たので同店では石川の言葉を信用し早速それを屆けたところが一方石川は食料品外賣中二千餘圓を集金した儘それを着服盛んに遊興してゐるばかりでなく現在食料品外賣主任からその金をしきりに請求されてゐるといふことが間もなく商品券賣場係の耳に入り、さては石川が何かの計畫で詐取したのではないかと感付き此の旨濱町の派出所に屆け出ると同時に店員も直に石川の行方搜査を開始した

石川は二千餘圓の穴埋めに幾久屋を詐稱して臺灣三共商會のパインアップル罐詰四百四十五箱價格二千五百九十三圓を仕入れこれを二千二百二十五圓で賣却しやつと二千餘圓の穴埋めは濟ましたが"向ふ立てればこちらが立たず"今度は三共商會より矢の取り立てを受けて、どうしても言ひ逃れが出來ず、内金として二百圓を入れることを約して商品券の詐欺を思ひついたものである

そして石川は商品券詐欺後直に事情を知らぬ三共商會主と一緒にその書換さに苦心し發覺を恐れつゝ一枚々々市内賣店に入質し三枚まで現金にかへ最後の一枚を持行して賣店を物色中、濱町派出所巡査と幾久屋店員に西廣場附近で逮捕され直に大連署へ突き出されたものである

ウエルカム！白菊
奉天の歡迎準備

【奉天電話】訪滿飛行の壯途にある女流鳥人松本キク子孃の愛機白菊號は二十七日午前八時十五分太刀洗を出發、見事に朝鮮海峽を乘切つて同午前十時二十五分蔚山に着陸、同零時二十五分同地を出發飛行を續けてをり二十八日の旅程は確定して居ないが、二十八日午前八時京城を出發すれば同十時には新義州を通過し愈々目的の滿洲の空へ機影を現し、一氣に奉天に來れば同日午後零時三十分乃至一時三十分までには到着するので、これを心から歡迎すべく滿洲國協和會、市政公署、婦人會では歡迎準備を整へて居る

當日の東飛行場では白菊號の到着と同時に萬歳を三唱し協和會奉天事務局長韋煥章氏の祝辭、在奉日本婦人團代表岩田和子氏より花環贈呈同滿洲國婦人團代表の花環贈呈次いで日本婦人代表三谷靜子氏の祝辭、同滿洲國婦人代表の祝辭、市長の記念品贈呈それより航空會社の歡迎宴あり終了後再び機上の人となり新京に向ふ筈である、尚馬淵孃の訪滿日程は不明である

惜しや不時着
京釜線の始興驛に

【京城二十七日發國通】蔚山離陸以來行方を氣遣はれてゐた白菊號は二十七日午後六時半京釜線始興驛の南方五百米の地點に不時着せることが判明した、強風のため進路を誤りガソリンの缺乏を來した爲で松本孃も飛行機も無事であつた

滿人老婆たち 喧嘩の末殺人

若狹町一〇三番地の二階建赤煉瓦の支那人家屋で老婆が無殘な死骸となつて現はれた老婆は王氏發見者はその息子汪光春(三)で直に此旨近江町交番へ屆出たので大連署の活動となつたが加害者と目された同居同業の張鉄和の母蕭氏(五)の行方について嚴探したところ、意外にも右隣の楊柏川方に潜伏してゐるのを發見逮捕した

家人を取調べたところ、二人の老婆は平素から至つて仲が惡く一週間前にも摑み合つたほどで大喧嘩の末蕭氏が激昂して料理用の刄物で王氏の咽喉を突いたものらしく、現場附近に洗面器で血痕を洗ひ落した形跡が歴然と殘つてゐた

鮮人店員自殺

【奉天電話】二十六日午後六時三十分頃春日町櫻屋店員朝鮮平安北道生れ金萬福(二)はカルモチンを嚥下して自殺を圖り、本朝に至り家人に發見され應急手當を施したるも生命危篤である、原因は郷里の實家が破産したのを苦にしたためであると

市の火葬場移轉 白雲山麓と決定
問題は地元市民の態度

昨年來大連市の懸案である市内火葬場移轉並に改築問題に對しては市衛生課でも本年度二月の衛生委員會開催以後諸般の調査及研究を續けてゐたことは既報の通りであるが目下豫算編成期を前にその具體案作成も去る二十五日終了し、來年度豫算に移轉並に改築費として十三萬圓を計上することに決定した、右具體案の内容は

現在の大連東火葬場（櫻花臺）を撤去して西火葬場（白雲山後）の一ケ所に合併すると共に、更に現在の石炭式燃燒を重油式に變更改築に決定し、今日迄の如き舊式な建物及び内部諸施設に對し一大改良を加へモダンな火葬場を建築する模樣である

而して從來の石炭式では一個死體火葬には石炭約二圓、燃燒時間六時間以上を要してゐたものが、重油火葬によれば燃料費として九十錢、時間にして僅か一時間半程度に改善し得る見込みであるため、經費に於て多大の節減を見るのみならず當日中に遺骨をあげることが出來るわけ、たゞ問題は右の移轉問題が圓滿に解決するかどうかで、今日までも市では移轉に伴ふ敷地選定に關し屢々行き惱みの苦い經驗を有してゐる關係から、東火葬場廢止は地元住民の意向に副ふとしても、白雲山一帶の住民が前記移轉案に對し果して默してゐるか、火葬場設置が地價騰落を惹起するといふ基本的問題が解消されざる限り地元の反對は當然豫想されるものとし、その實現に多大の危惧の念を抱く向きがある

兒童讀物懇談會

大連伏見臺兒童圖書館では、二十九日午前十時半から大連民政署視學はじめ市内各小學校長並に圖書館當事者、童話家等を招き、兒童讀物についての懇談會を開くと

共産匪首射殺

【大石橋電話】岫巖地區に於ける共産思想匪首魁苗克秀は部下五十名を率ゐ二十五日午時十時頃頭道干溝に向ひ移動せりとの確報を得た末田部隊は二十六日午前五時大營子を出發、また在哨子河の滿洲國軍は午前三時、岫巖警察隊主力は三河子を午前五時にそれぞれ出發し包圍隊形を以て頭道干溝に向つたが、二十七日午前五時滿洲國軍の尖兵は頭道干溝北方高地において共匪軍と遭遇戰鬪開始中、米田部隊も來援し縣警察隊も協力遂にこれを擊滅し苗克秀外一名を射殺した

なほ首魁苗克秀は北京大學出身で中國共産黨の指令を受け來滿し、一穴の中に印刷機その他を据付けパンフレット宣傳物を印刷し、各方面にこれを配布し奉天以南に於ける唯一の思想匪の首魁である

けふのメモ

▼大連あるかう會　午前九時黑石礁電車終點に集合、凌水寺へ
▼神明高女學藝展覽會　午前九時半より神明高女にて
▼印刷業組合總會　午前十時より商工會議所にて
▼沙河口青訓査閲　午前八時より沙河口小學校にて
▼鄉軍射擊大會　午前八時より春日池畔にて
▼風水害バザー　午前九時より商工會議所樓上にて
▼羽衣高女バザー　午前九時より同午後四時まで同校にて（新築大講堂で生徒の餘興あり）
▼不動尊緣日法要　遍照寺にて午後七時より祈禱會奉修
▼沙河口兒童遊戲園開園式　午前十時半より
▼超特急あじあ試乘　朝大連出發
▼寄附電話抽籤　午前十時より敷島町青年會館にて
▼梅若定式素謠會　午前九時より西公園町梅若流支部にて
▼銀鈴少女會　午後一時半より協和會館にて風水害義捐歌劇と踊の會
▼大連觀世協會月例謠曲會　午後一時から大連市社會館にて
▼日曜教壇（禮拜、午前十時より傳道說教、午後七時半より）大連西廣場日本基督教會において

スポーツ

◇ラグビー……大倶對鐵道工場午後一時三十分、滿鐵對工專第一軍同二時四十分、工專第二軍對滿鐵同三時五十分、大連運動場で
◇サッカー……蹴球リーグ戰隆華對滿鐵午前十一時三十分、大連運動場で
◇籠球……全滿選手權大會午前九時、大連一中屋内コートで

安樂椅子

捨てる神あれば拾ふ神あり、世の中はうまくしたもの。滿洲事變を契機に日貨ボイコットをせざるを得なくなつた新嘉坡の華僑、拾ふものあり「廉價良質のニッポン商品でなけりや」と、印度商人がこれに目をつけた。

……◇……

この印商、排日華僑の隙を狙つて着々日本商品で地盤をかため勢力を扶植してしまひ、最近では日本品デパートを開設して、英商デパートに對抗しようといふ、しかも目下工事中だと。

……◇……

華僑遂に敗北す、と來るべきなのだが、行くとして可ならざるなき華僑依然砥れず。轉んでもたゞは起きぬ彼等。レッテルすり換策で、捨てた振りした日本品を自ら拾ふ。避け途はあるもの。日本商品萬歳。

由比正雪 (70)

悟道軒圓玉演　武田一路畫

一貫目筒抱へ撃

此の時正雪は膝を進めて、

「されば紀伊家に仕へては何うか大守大納言賴宣侯は家康公の第十子にて幼名常陸介と仰せられ、最も賢明な御方にて、一流に達せし武藝者は高祿を以て家臣となされる。貴公は火術に達して居る。由つてそれを申立て、かの御家に御奉公いたさば、一生は安樂と存ずる」

彌右衞門これを聞いて喜び

「先生の御推擧にて紀伊家に御奉公いたす事になりますれば拙者の幸福でございます」

「併しこれほどの火術に達して居ると云ふ事を御覽に入れれば御抱へにはなるまい」

「それは御道理至極、未熟ではござるが、砲術にては人後に落ちぬ自信もございます。一貫目筒を抱へ撃ちにして御覽に供します」

正雪はこれを聞いて吃驚した。彈丸の重量一貫目、その大砲を抱へて撃つと云ふ。今迄に斬んな事は聞きも及ばぬ。然し牧野が斯う申す以上は必ず出來る事に相違ない、と、これから紀伊家の水野美濃守にこの事を申入れた。美濃守より賴宣侯へ上申した。

これを聞かれて試驗の上採用すると申され、水野よりこれを正雪に沙汰をした。

茲で八月の二日、品川の海岸に於て牧野彌右衞門が砲術の手練を見せる事になつた。

紀州賴宣侯は家康公が大層愛して居られた。尤も賴宣侯は非凡な人物でした。大阪の戰ひの時は十三歲でありましたが、茶臼山の本營に參つた時は既に城は落ちてゐた。依つて賴宣侯が、此の戰ひに參加いたさぬは殘念であると申された時に、家康公のお側にゐた本多佐渡守が、

「君は未だ御幼年、さすれば此後の一戰に御初陣の御功名をあそばせ」

斯う申すと、賴宣侯――此時は常陸介と申されたが、佐渡守をハッタと睨み、

「此の以後戰ひはあるにもせよ、予の十三歲といふ歲が再びあるか」

と言つた、これには本多佐渡守、ホンダ事を申上げましたと閉口したさうですが、家康公はこれを聞かれてこやつ凡者ではないと、一層寵愛されて、駿州沼津に於て八十萬石を與へる事にした。然るに大阪が落成した翌年元和二年四月十七日家康公薨去、これが爲に賴宣侯は八十萬石を領する事もならぬ。これは口約束で證據とすべき文書もない。その後二代將軍秀忠公は老臣と協議の上賴宣侯を紀州和歌山の城主として五十餘萬石を與へた。

幕府では何となく賴宣侯が恐ろしく思はれる。先づ注意人物です。三代將軍の時に明の遺臣鄭成功より日本に加勢の兵を乞うた。それは淸と戰ふ爲め、すると賴宣侯が鄭成功の請ひを容れて、兵を率ゐて自分が大將として彼の地に渡り、淸を打滅ぼし明を恢復するであらうと言つた。斯ういふ人物ですから幕府では氣味がわるい。それで和歌山の城主として其の周圍には譜代大名を置き、附家老として安藤帶刀、水野美濃守といふ名義で監視させた。さう云ふ譯で幕府では賴宣侯を眼の上……ではない眼の下の瘤の如く思つてゐる。此の賴宣侯を利用して正雪が、紀伊家よりの內命と號して同志を集めた。これにて正雪の拔目のない人物なる事も判る。併し一方には眞個く賴宣侯と深い關係があつたなぞとの說もあり。賴宣侯は幕府のすることが氣に入らぬ。時機があらば天下の實權を握らうといふ危險思想を抱いてゐたに相違ないと前の說に裏書をする學者もある。

賴宣侯は號を南龍と稱したが、おれは南の龍だといふ。北には仙臺の政宗を獨眼龍と申した。その頃北と南に龍がゐた。それで賴宣侯は武藝に秀でた浪人をドシ〲家臣にいたら、今度正雪の紹介により牧野彌右衞門も試驗に及第すれば、紀州家に仕へる事になる。さすれば彌右衞門としては、此の試驗は最も大切。

滿洲日報
十月二十七日發行
發行人 鈴木昇
編輯人 橋本喜代治
印刷人 村本武盛
大連市東公園町卅一番地
發行所 株式會社滿洲日報社

有吉駐支公使 來月上旬北支へ

【上海二十七日發國通】有吉公使は來月五、六日頃有野書記官、横川書記生隨伴、北支へ向ふに決定した

日英第一次專門家會議
兩代表とも技術的に 相當突き込んで應酬す

【ロンドン二十六日發國通】第一次日英海軍專門家會議は午前の第二次會談に引續き二十六日午後三時半から英國海軍省で開會

▲日本側 山本少將、岩下大佐、溝田通譯

▲英國側 チヤツトフイールド大將、リツツル中將、クレエギー外務參事官

諸氏出席審議二時間半にて散會した、右會議においては山本少將とチヤツトフイールド軍令部長との應酬に終始したが、特に各國共通の最大兵力量決定問題を始め防禦的並に攻擊的兵力の兩部門に亘り艦種別に技術的立場から兩代表とも自國の見解を披瀝した、專門家同士のことゝて技術的且つ具體的に相當突込んだ應酬が進み、殊に共通最大限兵力量の具體的數字については英國側から專門的立場よりして可成深刻な質問が出たものと解せらる、專門家會議は來週に入つて一回續開することゝなるかも知れない

英代表部會議

【ロンドン二十七日發國通】イギリス代表部は日英第二次會商終了後議場に居殘つてそのまゝ直に代表部會議を開き午後零時十分より四十二分まで協議するところあつた、右は日本側より當日新に追加提示せられた軍縮案內容につき各自の所見を突き合せて今後の會議進行方針に就き協議したもので、就中

一、國防平等權と安全保障の關係

一、保有量共通最高限の性質と質的軍縮との關係

一、主力艦縮廢に關する量的及び質的提案

等の諸項については當日の日本代表の補足的說明を基礎として技術委員會よりも種々意見の開陳あり會商內容は益々多岐複雜化の傾向が顯著となつた

日本の立場に關し 遙に良好なる諒解
イギリス代表部談

【ロンドン二十六日發國通】二十六日の第二次會談は英國側をして日本の新軍縮方式の眞意を呑み込ませる上に多大の效果があつたものと觀られ、第一次會談において頗る難色を示した英國側も漸く我軍縮案の根本精神を諒解するに至つた模樣であるが、總噸數主義を骨子とする共通最大限設定の根本原則に對しては英國側に相當難色があり、從つて豫備會談は相當に長引き幾多の曲折を免れぬものと觀られてゐる、第二次會商後、イギリス代表部は語る

二十六日の會商は双方とも極めて率直に突込んで話合ひ、會議進行上大いに裨益するところあつた、今や我々は日本の立場につき前回より遙かに良好なる諒解に近づきつゝあり、日本側が何を要求してゐるのであるかといふ事につき可成り判然とした觀念を得るに至つた、我々はこの新らしき理解をアメリカ側へ傳へたい、來週初めの日米會談に先んじ今一度英米會談を行ひ相互的理解增進を圖りたい心組みである

贊否は別として わが態度は諒解
會商後 山本代表語る

【ロンドン二十六日發國通】日英專門家會商後山本代表語る

相當詳細な質問があり隔意なき意見を交換した、贊否は別としわが態度が明瞭に諒解され又之により先方の言分も判つた、武器の主張は双方に大懸隔があるといふ程ではない、中には大差のあるものもあるが大體において及第點といひ得る、滿洲事變以來の國際關係の反動で、日本の態度はジニネーヴ軍縮會議當時と比べて隨分相違がある、英國から幾分數字の提示があつたが日本は共通最大限等根本方針を提示したのみで數字は出さなかつた、專門家との會見は今一回開いてよいが大體は終了した、米國專門家との會見は未定である

專門委員會 開催事情

【ロンドン二十六日發國通】二十六日の日英會談で日本がワシントン、ロンドン兩條約に代る新軍縮條約の基礎となるべき根本原則及びその技術的細目として包藏されてゐる重要點の全貌を餘すところなく說明し盡し、日本は數字的審議に入る前に先づ此等諸原則の決定を主張するものなる事を明確にし、之を理由に數字の提示を拒絕した、英國は旣に日本の原則には

贊成しない樣子であるが、會議促進の立場から更に海軍專門家のみで專ら技術的細目の審議を續行するに意見一致し專門委員會はこの見地から開催されたものである

コムミユニケ 第二次日英會談

【ロンドン二十六日發國通】二十六日の第二次日英會談後左のコムミユニケが發表された

第二次日英豫備會談は二十六日ダウニング街の首相官邸で擧行された、本日の會談に於て日本代表は日本の新軍縮提案中數箇の點を明らかにするため一層詳細なる說明を行つた、第三次會談は近日中に開會の筈である、本日の會談に於ける双方の出席者は二十三日の第一次會談と同樣である

增稅問題
主稅局で作成した 二案の內容
藏相の裁斷を待つ

【東京二十七日發國通】大藏省主稅局においては豫てより增稅に關する調査研究の結果漸くこの程成案を得藤井藏相の斷の一字によつて何時たりともこれに應ずる準備を整へてゐる、而して主稅局の原案は大體左の如き二案より成つてゐるが、第一案は金額少く大正八年における戰時利得稅の如き類似せる前例もあり、實施の方法よろしきを得ば經濟界に與ふる影響も比較的少なく實現容易であるところから頗る有力視されてゐる、而して主稅局は兩案を劃然と區別することもなく場合によつては兩案を折衷して增稅の卽行を具體化せんとする意向の如くである

第一案 非常時利得稅なる新稅を創設する、非常時利得稅は法人及び個人に區分して賦課する法人の場合は課稅對象となる法人の資本金最低限度を定め利益金の百分の十內外を徵收す、個人の場合においては過去數ケ年の實績に徵した所得增加額を決定し之に或る程度の課稅をなす而して課稅法人に對しては事業の性質上多少の例外を置くも特に軍需工業、爲替關係業者等所謂インフレ事業に限定せず、右により年額約三千萬圓の增收を期す

第二案 法人所得稅、相續稅、資本利子稅の稅率を引上げ約一億圓內外の增收を期す

我等の訪日は 單なる漫遊
袁滿洲國參議語る

滿洲國參議袁金鎧、增韞、胡嗣瑗、寶熙氏ら訪日視察團一行十二名は二十七日午前七時四十分來連した金州迄出迎への記者に袁金鎧氏は語る

今度の旅行は政治的意味をもつたものではなく、多年憧憬の焦點であつた秋のニッポンを鑑賞するためと、日本にゐる私達の舊友と語るための漫遊にすぎない、日本には未だ一度も行つたことのない我々ですから…日滿親善視察團と見做してよいかつて?いや、視察とかそんな固苦しいものではありません

一行中の寶熙氏は現代日滿支を通じて書に於ては第一人者で、丁度奈良の正倉院が十一月三日より十二日間在庫書畫を曝書するため、その中に唐時代の有名な書畫が豐富にあるので、それを見るのが最上の樂しみだといつてゐた、大連驛頭には滿鐵杉本秘書役ほか多數日滿官民の出迎へあり、午前十時矢田參議を加へてうすりい丸で出發した

（寫眞右より增韞、袁金鎧、胡嗣瑗三氏）

午前七時四十分着列車にて來連、同日出帆のうすりい丸で離連したが團長は奉天高等檢察廳長徐維新氏で同氏以下九名が視察の途に上り殘りの一部は日本への留學生として元氣よく日本へ向つた

郡山滿鐵理事

公主嶺以南の沿線視察のため二十七日午後四時二十分發列車にて北行の筈

ク領事赴哈

【ハルビン二十六日發國通】在チチハル、ソ聯領事クズネツオーフ氏は二十六日午後二時半來哈した

扶桑丸船客

【門司特電二十七日發】二十九日大連入港豫定の扶桑丸の主なる船客諸氏

日本製鐵取締役吉田豐彥、大連市會議員高塚源一、同熊谷直次、大學教授伊藤誠哉、神戶市商工部奉天出張所主任野添愼、會社員秋田可作、海軍々人杉江一三、浦田哲一、小河愛吉、大澤正之、平野源藏、ドイツ染料會社代表一行ペイラ外三名、アメリカ副領事（北平駐在）ドラムライト

人事

▲山田長三郎氏（陸軍省軍務課長）二十七日午前七時着列車にて來連うすりい丸で歸任

▲早川唯一氏（奉天憲兵隊副官）二十七日午前七時四十分着列車にて來連

▲秋田豐作氏（鐵路總局機務處運轉課長）同上

▲上野義氏（元國務院總務廳總務科長）同日うすりい丸で內地へ

▲中村明星氏（新京通信社長）同上來連

▲滿洲國司法部日滿法曹協會代表一行十五名 同上

▲小林準氏（陸軍步兵大佐）二十七日午前九時發はとにて新京へ

▲神鞭常孝氏（昭和製鋼所常務）同上歸鞍

▲藤井諭三氏（富山商工會議所顧問）同上新京へ

▲野口多內氏（奉天居留民會長）同上歸奉

▲王存氏（北滿鐵路監事會秘書）同上歸任

▲野村嘉六氏（代議士）二十七日入港あめりか丸で來連

▲三輪環氏（滿鐵監查役）同上歸連

▲小山倉之助氏（滿洲行政學會社長）同上來連

▲渡邊傳氏（中山太陽堂理事）同上

▲中野義雄氏（一等軍醫）同上

▲山際滿壽一氏（關東軍囑託）二七日出帆うすりい丸にて內地へ

▲小澤太兵衞氏（新隆洋行主）同上

▲矢田七太郎氏（滿洲國參議）同上

▲袁金鎧氏（同）同上

▲寶熙氏（同）同上

▲胡嗣瑗氏（同）同上

▲增韞氏（同）同上

▲徐維新氏（奉天高等檢察廳長）同上

▲妻擧謙氏（奉天同法院長）同上

▲吉益臣賢氏（日本柑橘滿洲輸出組合理事）同上

▲藤田順氏（滿洲土建協會顧問）同上內地へ

▲防野幾之助氏（日本柑橘滿洲輸出組合理事長）同上

南滿事務局等の 細部機構審議
けふ關東廳重要會議

新在滿行政機構官制は既に法制局において草案を脫稿、關係各省に內示されたが、滿洲現地機關としての關東廳に對し拓務省を通じその急速具申方を通達し來つたので關東廳では豫て三局長始め各課長會議室などにおいて法制局草案を基調として詳細に亘り檢討審議を行ひつゝあつたが、二十七日午後一時より長官々邸において大場、日下、中村三局長以下全課長等南滿事務局及び關東州廳並びに各分掌規定等につき細部的の根本方針を協議決定のため重要會議を開くことになつたが、これが決定に基き今後各部局に於てそれ〴〵現狀に卽せる事務機構體系を檢討し、これらを綜合し滿洲現地機關として適切萬全なる官制體系を整へ法制局に對し最良の參考資料たらしめることになつた

廳員慰留に 軍部の協力希望
日下內務局長けふ 土肥原機關長訪問

關東廳日下內務局長は二十七日正午遼東ホテルに土肥原特務機關長を訪問、二十六日の機關長の新任挨拶に對する答禮の後機構問題經今後の善處につき懇談するところあつたが、日下內務局長は關東廳側の空氣を詳細に說明し、三局長はじめ首腦部は部下の慰留には萬全を盡して居り、大勢は大體において漸次平穩化しこのまゝ新機構に投合せんとする空氣が濃厚となりつゝあるもなほ相當强硬なるものもあるにつき、これに對しては軍としても充分協力されたいと述べた、之に對し土肥原機關長は非常に滿足なる旨を答へ、出來得る限りの協力を惜まないものであると答へ會談一時間十五分の後辭去した（寫眞日下局長右と土肥原機關長）

騷がず靜觀 土肥原機關長談

會見後土肥原特務機關長は語る

日下局長は廿六日の答禮に來られたのだが話は自然機構問題に觸れた、大變立派な御意向なので、自分としては非常に安心した次第だ、今後はあまり騷がず靜觀してゐれば自然解決するものと思つてゐる

日下局長談

土肥原特務機關長との會談後の日下內務局長は記者の質問に對し

今日は特務機關長の新任挨拶に對し答禮に來たのだ、勿論土肥原少將とは同縣人であるし以前からの知人であるから色々の話は出たが、別に機構問題の具體的解決策につき相談などしない廳內の空氣は平穩化しつゝある

のだからあまり騷がないやうにして欲しい、僕等幹部の辭表撤回などまだどうなるか判らないと語つた

公共團體代表の 慰留諒とす
關東廳局課長態度

關東廳官吏慰留のため蹶起した全滿各地の公共團體は二十四日奉天において全滿公共機關聯合會を組成し邦家のため隱忍自重して留任されたき旨の決議を行つたが、更に旅大において慰留運動をなすべく同聯合會中の各團體代表者たる石田奉天商議會頭、野口奉天居留民會長、安彥營口、上郡山開原、長井鞍山、山下大石橋の各地方委員議長又は委員および中原撫順實業協會副會長の七氏は打揃つて二十六日來連、同日赴旅、午前十時より關東廳において三局長および各課長と約二時間に亘つて會見、委曲を盡して留任方を勸告するところがあつた

公共機關聯合會側の意向としては機構改革問題に對する關東廳側の主張は實際においては目的の大半を達したものとも考へられる、しかるに連袂辭職が傳へられるのは居留民の憂慮に堪へざるところであるから既往の經緯は水に流して非常時局の重大國策に協力されたい、それには三局長をはじめ各課長がまづ翻意して全廳員一致して留任されんことを切望する

といふにあつたが、これに對して三局長以下各課長とも、諒とする旨を答へ一同辭去した、なほ全滿公共機關聯合會の代表者の一半は新京に赴き關東軍當局に對しても善處方について要請して居ると

統制委員會本部を訪問

全滿公共機關聯合會は廿七日午前十時大連署統制委員會本部に六名の折衝委員を派遣し新機構順應を要請した、警官側は統制委員會春川部長及び大連署代表高橋、中島、河田、日笠の諸氏出席、約二十分間に亘つて會談、警官側は飽くまで初志の貫徹を强調し結局何等具體的成果を得なかつた

愛國聯盟の宣言
直ちに活動を開始す

滿洲各地の愛國諸團體は軍縮問題、滿洲問題等の時事問題について寄々意見の交換中のところ、先般新京の愛國團體の代表が來連を機會に各團體の幹部の懇談が開かれ、その結果各團體の大同團結を行ふことに決定、名稱を在滿愛國團體聯盟と稱し、本部を大連に各地に地方事務局を設けることになつた

參加團體は現在のところ大亞細亞建設社、滿洲青年同志會、興亞青年同盟、全亞細亞會、天兒社、惟神會、聖烽會、全滿在鄉軍人有志會、長男會、明德會滿洲本部の十團體で、これら全滿愛國團體の連絡統制指導を以て目的とし、長谷部照俉少將を臨時事務總長に推した、なほ同團體は二十七日左のごとき宣言を發表し直に活動を開始した

宣言

現下日本は未曾有の非常時に直面す、之を克服し大義を世界に布かんが爲には國民擧つて協力和合し、一貫せる國策の遂行に邁進すべし。若し之を阻害するものあらば內外を問はず斷乎之を一掃する覺悟と準備を有す。時局今や切迫し一日も苟安を許さず、玆に愛國團體は聯盟して難局打開の爲に聖戰を張らんとす、以て日本の滿洲國策遂行に獻身し、併せて日本に向ひて在滿日本人の眞正なる輿論を知らしめ、共に國難克服に拮据せんことを期す。

右宣言す。

政民聯携問題
野村代議士談

民政黨代議士野村嘉六氏は臨時議會を前に滿洲各地を視察のため二十七日入港あめりか丸にて來連、船中政民聯携問題に對して左の如く語つた

政民聯携問題は內地方面で相當問題になつてゐるがこれは五月頃政民兩黨の有志の間に思想、教育、米穀の政策協定が表面化し、民政黨より米穀調査委員長に小山君、思想、教育調査委員長に自分がなり、政友會でも色々と研究をなしてゐたものであるが、結論には未だ到達せぬ、聯携問題はこれが機運となつたので現在もこの問題に對し熱心に研究運動を續けてゐるが、目下のところ新聞等に報ぜられてゐる程度までしか至つてゐない

（寫眞は野村氏）

司法制度視察
滿洲國司法部員

滿洲國司法部では今回日本の司法制度視察の爲め同國司法部中のエキスパート二十三名を日本へ派遣することゝなり、一行は二十七日

一蛇角

◇折も折、英米蘭三國から飛んだ橫槍が日本へ突き出された。

◇問題が石油だけに滑べり過ぎたのかも知れないが、この橫槍の方向は全くのお門違ひ。

◇當の滿洲國もまたお門違ひだといつて居る、お門違ひ序にその槍先を支那に向けたらどうだ。

◇誤解があるからその誤解を解くべく說明したら、それをまた內容公表だと誤解して非難した。

◇山口武官大迷惑だがこれは誤解でなくて曲解のせいだらう。

哭くな青春（25）
三上於菟吉
吉邨二郎畫

銀座の人人（その十）

さつきは、百合子とさまで懇意でもなかつたし、一緒に當のない散歩をする程、餘裕のある氣持でもなかつたが、しかし、ふり切れも出來なかつた。

彼女も、寂しいには寂しかつた。

「さうれ、ぢや、少し歩きませう」

二人は、肩を並べ、靴音をそろへて、歩み出した。二人とも、さまで美人と言ふでもなかつたが、揃つて大柄な、立派な體格の娘たちだつたので、かなり、往き來の青年たちの、目を惹くに充分だつた。

百合子は、歩みながら、あたりへ媚のある、微笑を送ることを忘れなかつた。京橋まで行く間に、二三度は、若い男女と、目禮の挨拶を交した。なか〳〵社交的な娘であることは、それでも解つた。

「わたしも今夜、このままでは、眠れないやうな氣がするのよ。何か輕い飲物をのみませうよ」

京橋をこして間もなく、百合子は、とある橫丁の、薄紫色の光が煙つてゐる、ドアを押して、さつきを招き入れた。

小さな、室には、櫛の花のやうな、夢はしい光が、朧にたゞよつてゐた。顏馴染らしい女給が、

「まあ、ようこそ――」

と、百合子を迎へた。

百合子は、嫋らしい女給に、微笑して見せて、隣のテーブルに坐つた。

室の中は、他に客の姿がなかつた。二人はアルコールがいくらか入つた、甘い飲物をのんだ。

ふと、百合子が言ひ出した。

「あなた、蘭子さんと、お親かつたわね?」

さつきは、はつとしたやうに相手を見た。

「ええ、この夏は、フランス文學の講習會で、毎日お目にかゝりましたわ」

さう言ひながら、あの、か弱く美しい蘭子の面影を目に浮べて、苦い胸苦しさを、感ぜずにはゐられなかつた。

彼女は、蘭子と義文との仲を、はつきり安心して、考へることが出來ないのだつた。

百合子は、さつきのさうした氣持には、恐らく氣がつかなかつたであらう、彼女は、例の、あけすけな調子で、

「蘭子さんと言ふ方、野心家だつて言ふぢやないの?」

「どうしてでせう?」

と、さつきは當らず觸らずに言つた。

「だつてあの方、フランス文學の堀田さんに、隨分厚がましく、接近して行つてゐたと言ふことを、誰からか聞いたことよ」

さつきは、義文の名が出たのでぎくりとして、急には、返事が出來なかつた。

――この人は、何もかも知つてゐるのだらうか?まさか――

さう思ひながら、しかし答へに窮してゐると、

「あなたのお友達のことを、かれこれ言つては惡いけれど、その評判は隨分高いのよ」

「わたし、ちつとも知らなかつたわ」

と、さつきは、辛うじて嘘いた。

「あなたが、知らないのなら、嘘かも知れないけど、でも、堀田さんが家庭がさみしいのにつけ込んで、何かたくらんでゐるらしいと言ふ話を、堀田さんとも蘭子さんとも知つてゐる、讀物新聞の河田さんが、言つてらしつたわ」

○○記念式とバザー○○

大連神明高女は今年校齢二十歳に達したので二十七日午前十時から同校講堂で創立二十周年記念式を擧行したが、來賓多數列席の上君ケ代合唱、勅語捧讀、式辭、關東長官告辭など嚴かに行はれ、併せて十年以上勤續の大野、中村、野口、茂木、田中、前田、伊佐、大田諸先生の表彰を行つたが、市中でも古い女學校だけに多數の同窓生が目立つた、式後正午よりは三階大ホールで祝賀宴、一時五十分よりは卒業生、生徒等の祝賀音樂會等校内には終日喜びが溢れてゐた(寫眞「上」記念式の光景「中」生徒作品展覽會)

恒例の羽衣高等女學校のバザーは二十七日午前九時より同校講堂で開催會場は生徒、校友會等の製作品で美はしく飾られ、更に松風會主催各流生花の陳列會、新光俱樂部佐藤俊子嬢個人寫眞展等も華やかに色をそへ、生徒の學藝餘興は完全に觀覽者の目と耳をうばつたこの外食堂にては生徒の手料理で賣試食會を始め、三越その他の賛助店の特價販賣品陳列優秀商品の陳列などあつて終日講堂にあふれる觀覽者を喜ばせた、尚明二十八日の日曜も本日同樣午前九時開會午後四時閉會の筈(寫眞下)

幸運掴んだ六十名 異色ある職業人
應募の志望者二千名を突破 あす"あじあ"試乘會

二十八、九兩日に亘る滿鐵々道部主催の"あじあ"試乘會はいよ〳〵二十八日午前八時五十分大連驛を出發、華々しく行はれるが滿鐵からは八田副總裁、山崎理事、石本總務部長等その他廣大の知名士約百名、これに募集に應じた民間からの志望者中當籤の幸福を拾ひ當てた六十名とが試乘する、何しろ流行の尖端を切つた"あじあ"に大手を振つて蘇峰守を決め込んで記念品まで戴けると云ふ破天荒のサアビスだけに"あじあ"試乘の志望者は二十六日の締切までに二千名を突破し内婦人が二百名と云ふ盛況振りに宣傳課を面喰はしたが宣傳課では五十餘種の職業別に嚴正な抽籤をなしたので、當籤の幸福者六十名は音樂家、畫家、教師、土木事業家等に至るまでの職業オンパレードであるが内婦人二十四名で異色なのは美濃町の藝者さん四名と星乃家の仲居さん二名で民間ロータリークラブを現出するわけだ、なほ日歸り往復の希望者のため特に蘇家屯で一分間停車の豫定であつたが運轉の都合上取止めとなつた

お歴々をずらり 證人に引出す
薩摩溫泉の土地をめぐる繋爭 けふ口答辯論開かる

市内初音町二六五番地薩摩溫泉の土地を繞り溫泉主村田平次郎氏が大連郊外土地株式會社山川吉雄氏を相手取つて起した十一萬四千二百四十圓の損害賠償請求事件の口頭辯論は廿七日午前十一時から大連地方法院民事部川畑裁判長係り開廷、二年越しもつれた事件解決のため關東廳民政部時代の内務局長廣瀨直幹、財務課長西山左内、上田官有土地財産主任及び當時の安川東拓支店長等外數名の證人訊問を行ふこと、なり舞臺の轉換に興味を惹いて來た——原告村田氏の主張は

現薩摩溫泉の土地(七百卅餘坪)は舊官有地で大正八年原告が滿人王某外六名から貸借權を買收占有した、然るに翌年郊外土地會社創立されるや被告會社は原告旅行不在中あだかも原告の承諾あつた如く裝ひ、老虎灘一帶の土地と共に原告土地を包含關東廳に拂下出願した、原告はこの事實に氣付いて驚き被告會社及び關東廳に嚴重交渉の結果、大正十年九月被告會社代表古財治八、廣瀨内務局長、西山財務課長、小川(現大連市長)地方課長、安川東拓支店長及び原告立會の下に原告に拂下確定したが一面被告會社が一括拂下を出願してゐるので拂下統制上被告會社の名義で形式的拂下を受け立替拂下金を支拂つた後、原告名義に書換へて呉れと會社に請求したが整理を口實に應ぜなかつたところ被告會社は昭和二年十二月原告土地を東拓に賣却したこれが爲め原告は十一萬四千二百四十餘圓の損害を蒙つたといふにあり、これに對し被告の郊外土地會社では

會社が老虎灘一帶の土地と共に原告土地を含めて關東廳から拂下げを受けたもので、殊に舊官有地は個人に拂下げをなさず、原告の主張は誤りであると反駁、二年越し繋爭を續け二十六日口頭辯論では前會社代表者古財治八氏等の證人訊問を行つたが結局兩者主張の相違に就いて當時關東廳幹部の證人訊問を行ふこととなつたものである、なほ前回辯論に滿財務課長で現電々會社監査役西山左内氏の證人訊問あり、被告會社に有利な證言があつたが次回再訊問が行はれることゝなり、廣瀨前内務局長、安川前東拓支店長の證人調べは東京地方裁判所民事部に囑託された

感激の慰問文
死んだ戰友に代つて 遙々小學生を訪問

【東京特電二十七日發】二十六日午後桃園第二小學校を訪れ戰死した戰友から頼まれ慰問文の御禮に來ました六年生に會はせて下さいと申込んだ兵士があつた、右は高岡二等看護兵で滿洲で此の程名譽の戰死を遂げた戰友歩兵二等兵瀧田七郎兵衞氏(岐阜縣出身)の戰友で瀧田君が公主嶺で最後の息を引取る時高岡君に

自分が一番感激したのは中野桃園小學校の一生徒から貰つた慰問文でどんなに自分を力づけて呉れたか分らぬ是非御禮に行つて呉れ最後のお願ひだ

と頼んで息絶えたので右の訪問となつたのであるが先生達は非常に感激し早速集めた六年生に高岡君は涙に咽びながら戰友の衷心を細々述べて純眞な子供達に非常な感動を與へた

京圖線で 列車襲擊
三百の共產匪

【奉天電話】二十七日午前四時十五分頃京圖線濛江發新京行き第五十二列車が老兵驛南濛間九百二十三キロの地點で共產匪三百名が路線に石塊を積重ね運行妨害をなし列車の徐行と共に左側山上より一齊射擊を開始し乘客滿人女一名は右大腿部に貫通銃創を受け列車は三十數發の彈痕を殘して通過したが詳細は不明である

"生きた學問をさす"
康德學院の講師として赴任の 上野氏、車中に語る

元滿洲國々務院總務廳總務科長上野巍氏は二十七日午前七時四十分着列車にて來連したが氏は今回酒井德三氏の阪神寶塚に新設された康德學院の講師に招聘せられて赴任の途にあるもので車中に同氏を訪へば語る

今回辭表を提出して學院に於て滿洲、支那の政治經濟の事情を講義する事になつた、學院の組織は御紙に掲載中であるが、愈々來年四月より授業を開始するが、程度は專門學校程度で係累なき十八人の學生を身體、思想、學力の點より考査し、之に衣食住を給與し、三年間のあひだ我等も之と寢食を共にする、講師は帝大、商大、阪大等の著名氏が當られるが、現代の學校組織の缺陷を完全に除去し、主として現代の經濟、政治に就て研究をなし之を詳細に亘り檢討、生ける學問を施こし諸學の教授をなし將來日滿の第一線に立つて活躍する人材を養成する積りだ、校舍は目下建築中であるが氣候清爽な寶塚において薫陶された之等の學生から將來日滿を背負つて立つ偉材が輩出するであらう

全日本軍の…
投手として上京
米國職業團と對戰する 滿俱の濱崎主將

近く來朝する米國職業野球團と試合する全日本選拔野球軍の投手に推薦された滿鐵々道部勤務現滿俱の投手で主將の重任を帯びる濱崎眞二氏は二十七日出帆うすりい丸で關係者多數の見送りを受け上京したが語る

試合は十一月四日頃から開始され歸連するのは十二月初旬になるでせう、試合は勿論問題にならんことは當然のことですが、ベーブルースが來てゐることはファンにとつても又我々ベースボールをやつてゐる者にとつても嬉しいことで、これを樂しみにまあ出來るだけのことはやつて來ます(寫眞は濱崎氏)

闘志火と燃ゆ
早慶戰・華々しく展開

【東京特電二十七日發】秋の東京大學野球リーグ戰もいよ〳〵終幕に近く法政の優勝も決定した後ではあるが今シーズンの掉尾の人氣を背負つて立つ天下の早慶戰、優勝への望みはなくとも傳統に生きる兩校の試合はファンの人氣を獨占し戰前既に觀衆は全スタンドを埋めつくし春の一戰に四—二で敗れた早大は今秋死角攝はざる慶應に對して闘志滿々たる攻擊陣を布き慶應亦早大を邀擊せんと戰前すでに殺氣は神宮球場に漲り一壘側早大、三壘側慶應の兩軍應援團は「都の西北」と「若き血に燃ゆる」校歌の應酬だ、この日朝來薄曇り、風は稍々強けれながら午後一時三十四分藤田(球)野本、齋藤、永澤(壘)四氏審判、慶應先攻にて開始された

大 早 谷 武 須 野 島 鵜 若 原 津
8 5 6 7 4 9 2 1 3
應 慶 田 井 下 岡 村 石 谷 本 川
7 2 8 4 3 5 9 1 6

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	合計
慶大(先攻)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
早大	1	0	0	0	0	0	0	0	A	1A

バッテリー　慶大　岩本(投)　櫻井(捕)　早大　若原(投)　鵜飼(捕)

經過

◇一回　慶應本田投飛、櫻井投手足下を抜く單打に出て山下四球に櫻井二進したが岡中飛中村二匍▼早大竹谷右中間二壘打に出て佐武遊飛で竹谷三進高須の三匍に竹谷還り佐武一壘三壘に走つて刺され長野左飛

◇二回　慶應磯石三匍、水谷四球に出でたが岸本の三匍に併殺▼早大小島三匍、夫馬三振、鵜飼中飛

◇三回　慶應勝川三振、本田投手足下を抜く單打に出で櫻井遊匍に封殺、山下三匍に櫻井も封殺▼早大若原遊匍、島津一壘顚上を抜く單打に出で竹谷の一ゴロに島津封殺佐竹右中間單打に竹谷一壘三進したが高須三振

◇四回　慶應岡左飛中村一匍、磯石左飛▼早大長野四球に出で小島三匍に併殺、夫馬三振

◇五回　慶應水谷一、二壘間を抜いて出で岸本投飛後水谷投手牽制球に刺され勝川三匍失に出たが本田三飛▼早大鵜飼四球に出て若原捕前バント野手封殺せんとして二壘に惡投し鵜飼一壘進島津の遊匍に若原二進、竹谷三振後佐竹四球二死滿壘となつたが高須の遊匍に早大又も好機を逸す

◇六回　慶應櫻井三邪飛、山下四球に出で岡遊匍失に山下二進走者一、二壘よりの好機となつたが中村三振、磯石三邪飛▼早大長野小島共に遊匍永澤(夫馬の代打)左飛

◇七回(早大永澤右翼となる)中山(小谷の代打)三匍、岸本左飛、勝川中飛▼(中山右翼となる)早大鵜飼右飛、若原右飛、島津二壘右を抜く單打に出て竹谷前單打に續いたが佐武遊飛

功臣、官吏の群で 宛ら滿洲國船
檣頭たかく五色旗を飜して うすりい丸出帆

二十七日出帆うすりい丸は宛も滿洲國デーの觀を呈し日滿連絡船に相應しい船出をした、先づ日本訪問の矢田七太郎參議に案内された滿洲國の袁金鎧、增韞、胡嗣瑗、寶熙の四參議は何れも

老人　揃ひで側近の者にいたはられつゝ乘船したが、新聞社のカメラ班に"デッキの上で撮れ"と乘船する時の痛々しさは何處へやら先に立つて元氣よく階段を上る有樣、日本語は判らぬながら滿面に笑を浮かべて見送りの人々に感謝を捧げる、この一行十三名續いて日本の司法制度見學のため赴日する滿洲國司法官徐奉天高等檢察廳長、黃國法院長等一行二十二名を始め日本の教育制度見學の哈爾濱北滿特別區教育會視察團

一行　十五名は教育主事原讓一氏に引率され緊張した面持で三等の一角を占めたが主として小學校の校長で孰も日本は初めてゞある、この外に建國以來總務科長の要職にあつて寧日なく建國の基礎確立に奔走した上野巍氏は今回退官して恰もこの船で郷里へ、かくて定時の午前十時うすりい丸檣頭に五色旗を掲げて敬意を表しつゝ出帆した

雪を血に染め 悲戀の鐵砲心中
國道局警備員と酌婦

【新京電話】國道局警備員山梨縣生れ岡友吉は豫て馴染の城内東三馬路料亭綠の酌婦ユカタ事榮儀氏(二〇)と新京郊外國道局東南六千米の畑中で折柄降り積つた朝雪を紅に染めて警備用步兵銃で鐵砲心中をとげてゐるのを廿六日午後六時發見されたが屆出により新京總領事館警察より田中警部補以下現場に出張檢視の後、男の死體は警備隊に女は料亭主にそれ〴〵引渡した、原因は御多分に洩れず添ひ遂げられぬことを悲觀した結果らしい

チチハルに また天然痘

【チチハル二十七日發國通】去る二十三日チチハル市内に天然痘發生し市民に多大の恐怖を與へてゐるが又復市内新開路文房具商本籍京都市烏丸通り園丑之助(二五)は二十五日醫師の診斷により眞性天然痘と決定直に隔離した、之でチチハル市内に二名の患者となり非常に市民の恐怖を招いてゐる

李經芳氏遺骨

元駐英、駐日公使にして去る九月廿八日大連に於て逝去した故李經芳氏の遺骨を本國に埋葬するため遺子李國燾氏は一行七名と共に二十七日出帆の大連丸で上海へ向つて離連

白菊號
平壤へ向ふ

【新義州二十七日發國通】松本菊子嬢の白菊號は二十七日午前八時十五分太刀洗出發平壤へ向つた旨當地飛行場に入報があつた、當夜平壤に一泊新義州着は二十八日午前中と見られる

妻と店員に 斬り付く
新京の刀劍師

【新京電話】朝鮮咸鏡南道生れ市内梅ケ枝町三ノ一六刀劍師秦大川(三)は二十七日午前九時頃自宅に於て妻女のシン子(二九)と同家の外交員宋觀勝(二〇)の兩名に日本刀を振りかざして斬付け負傷せしめ直に新京警察署に自首して出たが、右は外交員の宋が秦と同家隣のおでんやの女給京子(一九)との間に私通せる事實ある如く妻のシン子に中傷しその爲二、三ケ月前から夫婦仲に不和を生じてゐた所二十七日朝秦は妻女のシン子と宋及び隣家の京子を自宅に呼んで對談中激昂した揚句前記の始末に及んだものであるが、宋は頭部に三ケ所、腕に二ケ所の重傷を受け滿鐵病院に入院加療中、妻女のシン子は肩に一刀浴びせかけられたが生命には別條ない模樣で自宅で加療中

寄附電話抽籤

電々會社では二十八日午前十時より市内敷島町靑年會館に於て遞信局、警察新聞社側立會の上急設寄附電話申込者四千名の抽籤を行ふ筈

天氣予報

二十八日

北西の風晴一時曇

滿潮(午前一時三十分 午後一時三十分)

干潮(午前八時五分 午後七時三十分)

各地温度(二十七日午前十一時)

大連	一三	奉天	九
旅順	一五	新京	七
營口	一一	新義州	一四
ハルビン	六	承德	一一

今日の小洋相場(十一時半)　金百圓につき百十一圓三十錢

親鸞聖人 (32)

梅檀篇

吉川英治作 山村耕花畫

かげらふ記 (八)

「あ、もし」

介はあわてゝ、吉光の前のことばを遮つた。

「──おしかり遊ばすな。和子樣のは、世間のいたづら童が、飛びまはるのとは違ひまする」

「でも、かういふ時には」

「ご尤もです。けれど、介のぞんじますには、おそらく、和子樣はお父君のお病氣に、小さな胸をおいためあそばして、それを、お祈りしてゐたのではないかと思はれます」

「ほ……何うして?」

一介が、諸方をお探しして行きますと、いつか、和子樣を負つて、粘土を取りに參りました丘の蔭にかう、坐つておいであそばしました」

介は、縁へ坐つて、十八公麿が

賞めそやしたり稱へはしなかつたが、家族たちの手に交るゝ抱き上げられて嬉々としてゐる十八公麿の姿に、まつたく、心を奪はれたやうに見入つてゐた。そして、

(この子は──)

と、將來の眩さを感じ、膝まづいて、禮拜したいやうな氣もちに搏たれた。

すると、築土の外に、黄いろい砂ほこりが舞つて、がやがやと、口ぎたない喚き聲がきこえた。

「こゝぢやな、貧乏公卿の有範の邸は」

介の後を追つて來た壽童丸と、その家來たちらしかつた。

「やいつ、今の若黨、出てうせいつ。ようも、わしが家來を、投げ居つたな。出てうせれば、討ち入るぞよ。こんな、古土塀の一重や二重、蹴つぶして通るに、なんの

してゐたとほりに眞似をして合掌した。そして、三體の彌陀如來の像を作つてゐたこと、一心に何か祈念してゐたこと、それがとても幼い者の振舞とは思はれないほど端厳な居ずまひであつたことなど、目撃したまゝを、つぶさに話した。

「まあ……和子が……」

母の眸には、涙がいつぱいで、それが笑顔にかはるとたんに、ぽろりと、白いすぢが頬に光つた。

「では……そなたは、お父君のおいたつきが癒るやうにと、その小さい手で、御佛の像ちを作つてゐたのですか。……さうかや?」

頭髪をなでると十八公麿は、母の睫毛を見あげて、幼な心にも、何か、すまないものを感じるやうに、そつと、うなづいて見せた。

報らせを聞いて、宗業も戻つて來る、乳母も、扉をひらいて駈けてくる。

侍女や下婢までが、そこへかたまつて、口々に、十八公麿の孝心を稱へた。それに、粘土で佛陀の像を作つてゐたといふことが、大人たちの驚異であつた。

宗業だけは、さう口に出して、

雑作もないわ」

そして又、

「臆病者つ、答へをせぬか。壽童が勢ひに怯ぢて、音も出さぬとみえる。──皆の者、石を擲れつ、石を擲れつ」

聲が熄むとすぐ、ばらばらつと石つぶてが、館の廂や、縁に落ちてくる。

一つは宗業の肩を打つた。

「なんぢや、あの業態は?」

介は、睨めつけて、

「おのれつ」

と、口走つた。そして太刀の反を打たせて、

「おうつ、たつた今、出會うてやる程に、そこ、うごくなつ」

美しい映畫 「南の哀愁」 日活館次週上映

朝にオオソレミオ、夕にサンタルチアを唄つて暮す南歐ナポリの旅行案内人ヂオヴアンニは或る日ウィーンから來た若い未亡人クレーレの案内をしてゐる内に、その純な心をクレーレに奪は

れ、ナポリの戀人カルメーラを捨ててウイーンに出る、そして新進テナーとして處女獨唱會を開く前夜、ヂオヴアンニは上流社會の複雜な陰り多い生活に、クレーレに對する夢も破れ、人なき劇場の舞臺で唄つたのを最後にウィーンを立つてナポリに歸る……

このメロドラマは南歐の名匠カルミネ・ガローネがメカホンをとつてブリギッテ・ヘルムが未亡人クレーレに扮し又ナポリの案内人には歐洲一の美男テナーとして知られてゐるジャーン・キープラが扮してゐる、キープラはこの映畫によつて一躍世界映畫界の寵兒となつたのである撮影は「旅愁」の名手クルト・クーラン

この映畫の物語りは前記のやうに簡單なメロドラマで、結局、都會の女が田舎の青年を弄ぶといつた平凡なもので從つてこの映畫に對する興味はジーヤン・キープラの歌と、南歐に於ける素晴らしいロケーシヨンにある、事實映畫中最初から最後までキープラの唄ばかりだ、或ひはナポリの海邊で、或ひはポンペイの廢墟で、或ひはウイーンの劇場で唄ふキープラ、歌はリゴレット、サンタルチア等五六種であるが、馴染深いものも多く觀客はその唄については充分滿足出來やう、南歐のロケもクルト・クーランはその力を充分現して非常に美しい場面を次ぎ次ぎにスクーリンに描き出し觀客の目を樂しませる

失望するのはブリギッテ・ヘルムとキープラの芝居だ、この映畫を劇として見た時「プレジャンの舟唄」の監督カルミネ・ガローネを「南の哀愁」に見出せないことは非常な淋しさを感じさせやう──S──

新劇團を脅かす トーキーの發達 舞臺俳優の轉身相次ぐ

本邦トーキー界の活潑なる歩みは水谷八重子、澤村田之助、伊井友三郎等の舞臺人や舞踊の花柳壽美、流行歌手の勝太郎、市丸姐さん連までをエクランに呼びよせ近き將來にはその歩みを舞臺の全面に及ぼさん意氣込みであるが、最近注目される事はトーキーが新劇團を脅かしてゐる事實である。即ち新劇の不振を打開しようとする新劇大合同は漸く「新協劇團」の設立を見るに至つたが、その前後に當つて新劇俳優の銀幕轉身は非常に目立ち、折角の大合同にも一抹の淋しさを感ぜしめてゐるのだ新劇から銀幕へ轉身した者の主なる者をあげれば左の通りである

▲丸山定夫(新築地劇團からPCL入社)▲細川ちか子(同上)▲汐見洋(築地座から日下入江プロへ出演)▲伊達信(新劇フリーランサーからJOスタヂオ入り)▲嵯峨善兵(中央劇場から新興キネマへ)▲佐々木孝丸(中央劇場からJO入り)▲北原幸子(舊中央劇場員JO入り)▲石川由紀子(舊築地小劇場出身、葵令子と改名して松竹京都へ入社)

新劇森千惠子一座 近く大連劇場に來演

演劇界に新らしい形式を創始したことによつて内地においては相當知られてゐる森千惠子一座が近く大連劇場にデヴューする、一行は森千惠子を始め若葉晴雄、大倉欣也、水島京子、花柳綾子、六條榮子、舞踊の新進森房子等幹部級以下四十餘名で、何れも藝達者な處を揃へ、森千惠子は帝劇出身であり、從來京阪神並びに名古屋方面を中心として活躍してゐたが、今回滿洲巡業を行ふこととなつたもので、劇は映畫式なスピードと斬新な舞臺効果によつて幕間なしの猛演である、大體の處十一月一日初日開演の豫定であるが、初日番組は竹田敏彦氏作「軍國子守歌」長谷川伸氏作「旅藝人娘義太夫」眞山青果氏作「槍供養」の豫定、右三つの劇は從來各地の公演に於て何れも好評を博したもので、この一座が最も得意とするものであると(寫眞は森千惠子)

午後一時半の二回に亘つて協和會館に於て催されるが、プログラム左の如し

▲第一部 舞踊「待ぼうけ」「さんだく」「たそがれ」「煙の輪」「おもちやの兵隊」民謠「しぐれ日傘」舞踊「狸囃」「あの町この町」「證城寺の狸」「あかちやん」「兎の柴刈」民謠「嘲し歌」

▲第二部 少女歌劇「其の後のカチカチ山」舞踊「ユーモレスク」「鶯の夢」「雨」「ローレライ」「朝の唄」「夢の人形」「鐘が鳴ります」「谷間の灯」「天使」「カッコ鳥」民謠「河原なだれ」

銀鈴少女會 歌劇と踊

關西風水害福災學童義捐

大連銀鈴少女會主催、大連新聞社後援の近畿地方風水害罹災學童義捐「少女歌劇と舞踊大會」は二十七日午後六時半、並びに二十八日

梅若定式素謠番組

大連梅若綠葉會では二十八日午前九時より市内西公園町一四九の梅若流支部に於て定式素謠會を催すが當日の番組左の如し

龍田、七騎落、梅枝、成陽宮、羽衣、野宮、富士太鼓、通盛、杜若、小鍛冶、船辨慶(仕舞)蟬丸、敦盛、雄女、葵上、玉葛、忠度、鳥追舟(舞子)花月、八島

アッテス

檢番ホール特異な歩みを續けて漸次ダンス界に勢力をひきつゝある檢番ホールでは最近の催し物として新、ファンをキャッチしてゐるが、二十七日より三日間大根祭と稱する珍催しを行ふ、この三日間毎夜替り各管へてこのホール藝者の踊りを見せるが二十九日には假裝せるパートナーの中から人氣ファンの投票によつて行ふ

州內に檢査所を設けて
農林省 關東廳 共同燻蒸を行ふ
好轉した林檎入禁問題

農林省の滿洲苹果輸入禁止に對する態度は二十六日解禁促進のため上京中の滿洲果實販賣組合理事千葉豐治氏と長瀨農林次官との會見により明白となつた、即ち農林省としては二硫化炭素燻蒸による結果を全面的に認めると同時にその方法として

一、移出地にて檢査燻蒸したものを移入港で再檢査する案
一、移出地にて檢査し移入港で燻蒸する案
一、關東州に農林省檢査員を出し關東廳と共同して檢査燻蒸する案

を提示したが、第三案が大體に於て支持されてゐる模樣である

檢査所急設を强調

かく內地において問題が圓滿に好轉しつゝあり、しかも當地における檢査所豫定地として滿販沙河口倉庫、海務局空地等があげられてゐるに拘はらず關東廳は二十六日突然本年度內においては豫算その他の關係で輸出に關する檢査規定並に檢査所は之を設置せず、從前通り民間の品質檢査程度にしておかれたいと言明したので狼狽した滿洲販賣組合では同夜直にこれに對する策を協議これが積極的解決を要請することゝなつた

百萬圓食つた 林檎姬心喰虫
內地の輸入禁止による 果樹園業者の損害

姬心喰蟲を理由に內地へ輸入禁止となつた滿洲林檎は、加ふるに昨年度より三割增產の四百萬貫といふ豐作だつたので、卸賣値段一貫目十八錢から二十錢に下落（昨年度は五十錢）してゐる、これがために州內林檎栽培業者の損害はどの程度に達するか、大連民政署地方課の見積りによると、まづ直接的打擊として

は昨年度輸出總數量約十五萬貫（滿洲果實輸出販賣組合取扱ひ五萬貫、個人商人其他取扱ひ十萬貫）とほゞ同量を輸出するものとすれば、たとひ三割增產に伴ふ市價下落率を二割と見ても一貫目四十錢で、即ち六萬圓の損失である、更に間接的損害としては上記のごとく精々四十錢程度の下落にとゞまるべきものが二十錢まで下落してゐるのだから總出荷數量四百萬貫については約八十萬圓の値下りで姬心喰虫のために果樹園業者が直接間接に蒙つた損害は實に百萬圓に近い數字となるわけである

關東州貿易の入超 遂に一億を突破す
輸出は昨年と同額だが 輸入は三割二分增
原因

昭和九年九月中に於ける海路に依る關東州貿易の概況は輸出二九、五五七、九二五圓、輸入五一、五七五、八五一圓、即ち輸出入合計八一、一三三、七七六圓で、輸入超過は二二、〇一七、九二六圓であつた、之を前月と比較すれば輸出に於いて八、七八五、四八九圓（四割二分增）輸入に於いて一一八七八、三九二圓（三割增）であり、更に之を前年同月に比較すれば輸出に於いて七、二九八、四八四圓（三割三分）增、輸入に於いて二二、二九〇、四六六圓（七割六分）增である、又一月以降の累計を觀るに輸出二四九、一九一、三八六圓、輸入三五〇、七八一、五八七圓で、輸出合計五九九、九七二、一七二圓、輸入超過一〇一、五九〇、二〇一圓となり、前年同期に比較すれば輸出に於いて三三五、一八六圓（一分）減、輸入に於いて八七、四六二、八八八圓（三割二分）增で輸出は殆ど三分の一を增加した計算になり、今年度中の入超遂に一億を突破し、今年度の輸入が如何に旺盛であるかを物語つてゐる、なほ九月中輸出入の重要品目及び國別を示せば左のごとし（單位圓）

輸出

品名別	價額
大豆	一七、四五八、一五三
小豆	四一一、〇八四
高梁	三七八、八三九
玉蜀黍	五九、四一六
落花生	六二二、三四七
蘇千	七七、〇四四
小麻子	二一六、〇一七
製鹽	二八四、五一〇
砂糖	二六、九一八
煙草	八四七、二六七
綿糸	一二、六三四
野蠶糸	二四七、八八一
毛及毛糸	二九、八三〇
綿織物	三九九、五九三
鐵及鋼鐵	一六二、七二二
皮革	一四〇、八九二
豆油	九、五二八
セメント	[illegible]
石炭	一、八九七、五八九
豆粕	九六二、七八三
人造肥料	一〇〇、三二〇
其他	五、一一二、五五八
總計	二九、五五七、九二五
前年同月	二二、二五九、四四一

世界を席捲する日本商品 4
石鹼・火藥の原料 魚油と硬化油
年輸出額・七百萬圓

◇…硬化油と云ふ名は餘り知れ渡つてゐないが、大抵の人は博覽會とか共進會とかで一度位は眼に觸れて居る。白い塊狀の脂で、見た處パラフキン蠟の樣である。之に硬化油と云ふ名稱が附記してあつても餘り人の注意を惹かぬ。固まつた脂だから

硬

化油かと思ふだけである。此の硬化油は魚油から造られる。主に鰊や鰮の油を原料とし之に水素を吸收させて無臭の脂肪としたものである。斯うして一度硬化油にして臭氣を拔き純度の高いものにする必要がある。

◇…硬化油は何故そんなに苦心してまで造られねばならなかつたのか。魚油を脂肪として使ふには何云つて了へば何でもないが、我國の技術が此處まで發達するには數十年間の歲月と苦心を重ねたもので今日では我硬化油技術は世界に誇り得るほど上達した。そして日本は世界一の魚油生產國であるから魚油を原料とする硬化油生產額も亦世界一である。

脂

肪の用途は最も大きいのは石鹼原料であるが脂肪から石鹼を造る時に同時にグリセリンが得られる。そのグリセリンは醫藥品や化粧品等色々の用途があるが、最も重要なのは火藥を造ることである。即ち脂肪は石鹼と火藥の原料で、その供給の難易は國民衞生と國防上の問題である。

◇…凡そ脂肪の原料として世界的に大量のものは牛脂、棉實、亞麻仁、大豆、魚油等であるが、牛脂は我國にはホンの僅少しか產せず、棉實は米國が世界の供給を支配し、亞麻仁は英國が國際取引上指導的地位にあるから我國としては何うしても魚油と滿洲大豆とを脂肪の主原料とせねばならぬ。脂肪の自給が不十分であれば國防の危險をさへ感ずるのである。これが爲に我國では魚油の硬化技術を必死で研究した。大豆の方は

食

用油として需要の多いもので今まで硬化は餘り行はれて居らぬが、之も滿洲獨立後は各方面で研究が盛んとなつて來てゐる。

◇…我國の魚油產額は約五萬五千噸、此の大部分は硬化油とされる。魚油のまゝ鞣皮用其の他に使はれる量も多少ある。輸出は魚油及硬化油合計約七百萬圓で、輸出品中金額から云つても相當の重要性を持つものである。日本は世界に稀な魚油國として年毎に斯業は繁盛に向つてゐる。

◇…原料魚油は近年新式な漁業と火藥の關係などで一般人の考へぬことであるが、日本近海に鰊鰮の多いことは此の意味に於て、我國の安泰に非常な貢獻をしてゐる。そして日本人は世界に稀な清潔好きな國民でフンダンに使ふ石鹼の原料も亦之れに依ることが大である。考へれば妙な廻り合せである。（高濱）

漁

業と火藥の關係など一般人の考へぬことであるが…

等にも多量に產するやうになつたが、之等の魚油は總て一度油脂工場に集めて精製されその上で輸出される。魚油を硬化する爲に必要な水素丸斯は電氣分解による苛性曹達製造の際副生するものを用ひてゐる。我國には電解曹達工場が多いから其副產物利用の便宜によつたのである。觸媒としてはニッケル粉末が使はれる。

◇…油脂と國防との關係は直接的でないから氣の付かぬ人が多いまして鰊や鰮の…

大阪商船が着手する 日・滿・臺新航路
日臺航路に一强敵

日臺航路を繞つて最近における大阪商船、近海郵船は新造船にあるひは傭船に猛烈な角逐戰を演じてゐる折から、一方大阪商船ではこれが側面的戰術に出て年內中に內地—大連—臺灣の三角航路を新設臨時定期的に就航せしめるべく目下臺灣總督府に申請中である、現在においてはO・S・K大連—臺灣線は月二回盛京、長沙、福建の三隻を配し北支沿岸における蒐荷をなすと同時に大連汽船、日本郵船と列んで滿臺貿易の衝に當つてゐるが、今回この三角航路を新設滿洲における豆粕類の臺灣仕向に備へるとゝもに近海郵船と角逐中の日臺航路に拍車をかけるとゝなりこの三角航路實現は各方面より注目の的となつてゐる、なほ就航船その他に就ては近日中に發表される由

“柑橘類の輸入徑路 どれも一長一短” 吉益輸出組合理事長談

柑橘類の輸送に就いては荷揚げその他の關係で大連經由に關し兎角の評があるが、右に關し目下在連中の日本柑橘組滿洲輸出組合理事長吉益匡賢氏は語る

大連經由に就いて荷揚げ、荷捌きが充分でないため內地では裏日本經由、鐵道經由等が問題になつてゐます、併しいづれも一長一短で殊に我々としては大連を中心として蜜柑を賣捌きたいと考へてゐますので、この問題に就いては滿鐵、國際、商船と充分協議の上連絡をとつてもらふ樣にしたいと思つてゐます

連鎖商店の更生第一步
改組委員會を開催

合資會社として業績兎角の不振だつた大連連鎖商店も既報のごとく二十六日民政署の正式認可を得資本金五十萬圓（全額拂込）の株式會社としていよ〳〵更生の第一步を踏み出すことゝなり、十一月一日行はれる創立總會に先だち二十七日午後三時より改組委員會を開催株式會社設立に伴ふ株主組合、連鎖街組合の設置を協議するところがあつた、即ち同組合は權利の賣買を許さず結束を鞏固にし更生せる連鎖街今後の伸展に資さんとするのみならず建築費約二百萬圓に對する十年月賦償還も合資會社として現在迄僅かに七十萬圓の拂込みを終了したのみで各商店建築物は滿鐵、福昌、滿銀等の大口債權者の擔保物件となつてゐる關係上建築物による金融も全然不可能であつたところ今回五十萬圓全額拂込株式會社新設により合資會社七十萬圓の拂込金より差引きした二十萬圓は內入金とし擔保の名義書換へを債權者側が認められることになつた、この結果從來合資會社として度々內部的紛糾を起した不合理が清算される譯でこれに伴ふ自治的統制による連鎖街今後の動きは期待されるべきである

◇…一時は大連市發展上の癌のやうにいはれた連鎖商店もいよ〳〵認可が下つて株式會社として更生することになつたのは芽出たい極みである

◇…それに大連驛の新築に伴ふシピック・センターの西漸や、槃町筋の殷賑、ダルニー川沿ひの埋立による面目一新など環境の變にも惠まれてこれからの連鎖街は前途洋々たるものがある。

◇…これで失敗するやうなら邦人はこの種の共存共榮的營業は永久に不向きだと極印捺されても仕方あるまい。

◇…連鎖商店の組合員も一ト踏張りせねばなるまい。

政府米で一杯の日滿倉庫 三輪環氏談

來月開會豫定の日滿倉庫總會の打合せと川崎、大阪の滿鐵埠頭視察のため上京中の滿鐵監查役三輪環氏は二十七日入港あめりか丸で歸連、語る

川崎の滿鐵埠頭は滿洲の樣に荷役作業の獨占は不可能であるから今後も倉庫業に全力を注がればならない、現在同倉庫には本年度政府買上米が六十萬俵ばかり入庫されて居るが其他に今年上半期迄に石炭約十九萬噸程雜貨の輸出入は各々三萬噸合せて六萬噸程動いてゐる、歸途大阪の風水害を視察したが、クレーン二つ程壞はされて居り陸揚作業に大分變調を來して居る樣だつた

南潯鐵路の債權 十年間に皆濟に決定

【南京二十七日發國通】東亞興業常務內田勝司氏は民國十五年以來支那當局が償還延滯を續けてゐた南潯鐵路の債權一千七百萬圓につき先般來當地鐵道當局と交涉中のところこの程同鐵路收益金を以て今後十年間に皆濟するに解決成立した

“日本足袋の 遼陽進出 分布上結構” 關屋所長談

關屋奉天地方事務所長は本社と事務打合せのため二十七日午前七時來連したが日本足袋が遼陽に工場を移すことになつた事情につき左のごとく語つた

日本足袋は鐵西に工場地を設ける豫定であつたが遼陽に變更の樣子である奉天としては成るだけ工場豫定地が繁榮することを期待するが經濟の發展は全滿各都市に普遍化することが必要である、福助足袋と日本足袋が同一箇所で煙を吐くといふことは製造家としては希望しないから遼陽を選ぶことになつたと思ふなほ氏は廿八日歸奉の豫定である

上海爲替情報

【上海二十七日發】中央銀行の建値變向にて標金昂騰高値保合の所國華銀行の賣物と思はれる大德成と恒余の賣にて下押す、爲替は北方筋の出動なく滿商內にて保合

上海標金	
寄値	九八六元一
高値	九八九元九
安値	九七九元三
止値	九八一元四

麥粉市況 引續き不冴

十月中旬における大連港輸出入麥粉は日本粉のみ五萬七千八百袋を示し市況は民國政府の銀輸出稅引上げ斷行に連れ當地銀價の低落を見、たださへ氣迷ひ人氣の折柄買氣全く萎縮し、加ふるに海外材料は引續き不冴を呈し當市場も伴れて弱含みを辿つた、尙ほ下旬に入つて濠洲粉二隻約七十萬袋の入荷を見、在庫高二百萬袋に上り、これを眺め嫌氣投げ續出し市場も目先いま少し安値を見るやも知れぬと懸念される海外も大體底を突いた如く、また舊正の最盛期を控へ相當の引當を見越し現狀維持を遁るものと見らる、なほ相場は現在三井實船八十錢乃至八十五錢、三菱紅綠二圓五十八錢乃至六十錢見當である

市況（廿七日）
特產 閑散裡に諸品軟調

今朝の定期は大豆は到着增加と奧地筋賣に軟調をつげ、豆粕は邦商の買見送りに軟調、豆油は買氣薄く續落を辿り、高粱は閑散區々保合を呈した

豆 けさの大豆は到着增加と奧地筋賣に二錢乃至四錢方安と軟調を辿る▲豆粕は邦商の買見送りに閑散ながら軟調、豆油も買氣薄に續落、高粱は閑散に區々保合を告げ▲現物大豆は一錢方安と弱保合三井二〇、豐年五二に油房筋一二五と百五十車の出來高▲油房は連日十五、六軒四萬平均に生產高を示し昨年の今頃に比し素晴しい活況

銀 海外銀塊は倫敦紐育共同事高買八分一高と變らず▲上海は日本向小掟り標金は四、五元高を入れたが當市は氣配變らず閑散なるも底固い商狀であつた▲昨日後場はフランスの政局動搖し金本位制危しとの報で强調を示したけさ右に關する情報なきも相場は割合に緊りにあるは一般に先高を見越してゐるためであらう▲茲等で相當揉み合へば結句高い相場とみる向が多いやうだ

株 豫算編成にからむ增稅懸念や軍縮豫備會議を中心とした國際不安などで人氣は依然として冴えない▲殊に減配不可避とみられる取引所株などは偶々八月時代の高値取組の納會に直面して引立の商狀を呈してゐる▲それにしても新東の百三十圓臺は飽くまで堅いところもあり下値寂しい感を起させる▲結局は茲二三ケ月續出した內外材料の包圍攻擊に相場としては相當鍛錬済みとなつたので最早深押しの餘地なく襲ろ年末高相場の素地を形づくりつゝあるのではあるまいか

材料薄にて保合閑散（錢鈔）

地株釘付（株式）

綿糸變らず 麻袋保合（商品）

麻袋 產地情報は纖高爲替同事と保合を傳へ鈔票も變らず當市も保合なるも利喰ひ物と新規買進みで商內活況を呈した

綿糸 米棉現物五ポイント安、大阪先限四安、印棉一留比安、大阪三品も保合を入れ當市は氣乘薄見送る

奧地相場

市場電報（廿七日）

滿洲日報

朝夕刊共十二頁

第三種郵便物認可

大連市東公園町三十一番地　發行所　株式會社　滿洲日報社　振替大連六〇五三一番

マ首相から日本の具體的提案を求む

終始友好的態度で質問應答

日英第二次豫備會談

【ロンドン二十六日發國通】日英第二次海軍豫備會談は二十六日午前十時三十分から英首相官邸において開會され前後一時間三十六分に亘る協議の後零時六分散會した、出席者は双方とも前回通りである

【ロンドン二十六日發國通】二十六日の會談において英國側の要求に基き我が提案の細目が提議されるといふので、同會は劈頭より異常な緊張を見せたが、まづマクドナルド首相は豫想通り友好的態度を以て會談の進行を促進するため、日本が更に具體的技術的提案をなすを最善の道と信ずる旨を提言し、豫て英國から非公式に日本側に通達してあつた通り各種の技術的重要點の説明乃至提案を求めた、これに對し日本側は共通最大限設定による實質的軍縮は國防の安全感を充たす平等の權利の根本原則を基礎に新條約を締結するを基本とするものであるから、別に動きのとれぬ確定的提案を認めてならず、細目の點については關係國と友好的に協議し、出來るだけ和衷協同の實をあげたき希望なる旨を明らかにした、更に英國側の疑問とする諸點につき山本代表から明快な答辯があつたものと解される、英國の質問中最も重要點と認められるものは日本の所謂「共通最大限」なる一線を何噸とするかとの具體的數字であつたもの〻如く日本は關係各國がその國防安全感を滿足せしめる上に必要と認める最低の水準まで下げたい希望であり、その數字は各國と協議の上決定したいとて具體的數字の提示を避けたと信ぜられる、而して右軍縮をなすに當つては航空母艦、主力艦の順序により最も攻撃的な軍備より逐次廢止し、又は縮減すべき主張なる旨を強調し、その他第一次日米會談で米國に對して行つた技術的具體的説明を更に敷衍してより詳細に説明、之を中心に質問應答が行はれたものと信ぜられる

日英海軍專門家の技術的審議を開始

山本、岩下兩委員出席

【ロンドン二十六日發國通】廿六日日英會談の結果午後三時から英國海軍省において日英海軍專門家の技術的問題審議を爲すこと〻なつた、我が方からは山本、岩下兩委員が出席する

松平代表の談

【ロンドン二十六日發國通】松平代表は代表本部で語る

本日の會談では前會に續き我方が各種の重要點につき説明をし意見の交換を行つた、今回は前の會談よりさらに細かい點に行つたことは事實だが内容はいへない、英國側から圓卓會議の提議などなかつた、友好的雰圍氣を破らずで會談を行ふといふのが今回の會談の立前だから二國間の交渉が一番良いと思つてゐる

日本案受諾し難し

米國政府から代表部へ訓令

【東京特電二十六日發】ワシントン來電、アメリカ政府は二十四日の日米會談に日本が提出した軍縮大綱の報告をデヴィス代表より受くるや「日本の提案は受諾し難し」との訓令を發したと傳へらる、ホワイトハウスや國務省は日本案に對する批評を避けてゐるが日本案の原則には相當折衝の餘地あり漸次意見の扞格を緩和することは必ずしも不可能でないと見る向もないではないが現在の處日米兩國の主張は根本的に隔絶して居るから日本が思ひ切つて主張を緩和しない限り條約は不成立を告げ建艦競爭に入る外ないと一般に悲觀してゐる

日米間の仲裁役

英國が引受けるか

—一流の政治家的工作振り

【ロンドン二十六日發國通】日本代表部の軍縮新提案に對する英米兩國代表の意向は二十三日以來前後四日間に亘る交渉で略明瞭となつた、米國代表部は思ひ切つた軍縮新方式に全く豫想を裏切られた樣子で露骨に反對意見を表明してゐるが英國政府は艦型縮小方針等につき必ずしも米國政府と利害が一致してゐるわけでなく内心我代表部の提案に反對せず出來れば直接日米の衝突を避け問題を日米兩代表部間に移し仲裁者の位置に立ちマック首相を中心に日米兩國間に居中調停の一役を買つて出ようと云ふ一流の政治家的工作振りを示してゐる、專門家會議は原則論をその儘とし、原則問題で

であるが米國代表部の態度に徴し日米兩國の專門委員が會商しても和かな話合が出來るかどうか疑問だから日米兩國代表部間には當分專門家會議が開かれぬ模樣である

と並行して技術討議を遂げ側面から日本代表部の眞意を探り出來れば艦種別問題の討議に日本代表部を引摺り込む肚だつたらしいが日本代表としては原則先議の建前を堅持しつゝ技術的説明も敢て辭せずとの餘裕を示した、かくて英國政府當局も大體帝國政府提案の眞意を捕捉出來たものと見られるが今後英國政府がどう出るか、豫備會談は愈々來週から本舞臺に入るわけ

山口武官の說明

俄然問題となる

內容公表と誤解され

【東京特電二十六日發】ニューヨーク來電、駐米大使館附武官山口大佐は二十四日ワシントンにて外人記者團にわが軍縮態度を詳細說明したがこれが偶々日本案の內容公表と誤解を招き不公開の本旨を覆へしたるものとして俄然各方面にセンセーションを捲き起しアメリカ官憲は遺憾の意を表し沈默してゐると

英米代表會見

總噸數主義に反對申合

【東京特電二十六日發】ロンドン來電、突如會見した英米代表は左の如く協議したと傳へらる

一、アメリカは三國圓卓會議を早急に開いて懇談せんと提議した

が英國は日本が贊成ならば早く開きたいと述べた

一、英米兩國は共に日本案の骨子をなす總噸數主義に贊成出來ぬと披瀝し合つた

山口武官の辯

【ニューヨーク二十五日發國通】新聞記者團は山口武官と會見後直にホワイト・ハウスを訪れたが大統領は何事も言明することを拒絶した、右に關し當の山口武官は左の如く語つた

實は日本の提案が正式に英米に爲されたについてはアメリカの言論機關にして臆測を逞うし誤解せる論據に立つて日本案を批判されては迷惑だと感じたから外人記者團をわざ〳〵招待し從來の日本の軍縮方針に關し詳細なる說明を爲し其の質疑に應答した譯である、之は山本全權が英米に提出した提案內容其のものを公表した譯ではなかつたが內容が恰も軍縮全權が會談中でその內容が注目されてゐた矢先であつた爲め自分の說明が內容の公表と誤解されたことは遺憾である、自分の發表した意見は日本が比率主義に絶對反對であること、總噸數主義を採用し其の範圍內で自由建造を認めること、總噸數の噸數は會議の結果定めるとしても日英米三國は同數たるべきこと、戰艦、航空母艦の如き攻撃的武器は廢棄すべき事等を骨子としたものである

心點

乘馬は巧いが 惜い哉小兵

中西敏憲氏

◇…小粒でもピリリッとした山椒のやうなのは滿鐵地方部長中西敏憲氏「五尺二寸はあるから男一人前だよ」と御本人は言つてゐるが內心大きく見せやうと人知れぬ苦勞をして御座る。

◇…毎年秋に催される州外學生聯合演習に統監として馬上豐に二千の學生を檢閲するのは滿鐵乘馬倶樂部會長としての中西さん得意のところだが、乘手の小さいところを馬で補はうと毎年土地の地方事務所長が大きな馬を探すに一苦勞するさうだ

◇…昨年は噂の良い世話係が先頭に背の低い支那馬に乘せた一人を歩かせて、續く中西統監の肥馬に跨つた勇姿との對照比較錯覺をおこさせることによつて成功した、殊勳の發案者は後に部長からお賞めに預かつたかどうかそこまでは聞かなかつたがこの中西さんが今度多額納稅者になつたことは未だ人々は知らないだらう。

◇…先般嚴父吉之進氏が永眠されたので目下郷里の福井縣神山村に歸省中だが一人ッ子の中西さんは家督相續をせねばならぬ、家は福井縣切つての素封家、多額納稅者だ。

◇…「今に貴族院議員中西敏憲氏の滿鐵改組演說なんてのが議會で聞かれやう」とは地方部雀のさへずり。

英米第一次會談

—あす正式に開催

【ロンドン二十七日發國通】英米兩國代表は二十九日午後ダウニング街十番地の首相官邸に於て正式に第一次會談を行ふこと〻なつた

英米第二次會商

來る二十九日開く

【東京二十七日發國通】マクドナルド首相は日英第二次會商後米代表部と打合せをなし二十九日午後三時半より首相官邸でスタンドレー代表を加へて全員會同の英米第二次會商を開くことに決定したが右會合では一般技術事項に亘り緊張した重要折衝が行はれやう、なほデヴィス代表は英米會商前、日本側と會見して初會商の內容を確めんと希望してをり、二十七日松平大使との間において非公式の形をとつて行はるべく、デヴィス氏は二十七日郊外に松平代表を誘ひゴルフをやつて午餐を共にした後懇談を遂げんと我大使館に希望して來たと

馬淵孃

【大阪特電二十六日發】滿洲に不時着した馬淵孃の滿洲訪問機は二十六日午後四時半木津川飛行場に到着した、二十六日廻航機の修理成り次第太刀洗に向ふ豫定であるが大阪出發は或は二十八日になるかも知れない

桑原宮司

熱田神宮宮司桑原芳樹氏は北滿の曠野で匪賊討伐のために奮戰する皇軍兵士慰問のため老骨を提げて奔走中、無事慰問を終り、二十六日午後四時四十分着列車にて來連した、氏は北滿各地に散在する皇軍兵士に對し熱田神宮の御神符一枚と御神酒一合を配付皇軍の武運長久を祈つたものである

こゝ數日中に方針を決定

藏相の增稅問題態度

【東京二十七日發國通】增稅問題に關し藤井藏相は二十六日官邸で左の如く語る

財政上の重大問題として喧しい增稅即行の可否について自分は就任以來各方面の意見と各般の情勢を綜合しつゝゆつくり考へて來たが、愈々大藏省の豫算も二十七日より開かれるし、こゝ數日中に何とか自分の最後的態度を決定せねばならぬと考へてゐる、然し目下增稅斷行か否かどちらとも定つてゐない

大藏省議開催

來年度歲入の審議 けふに持越し終了

【東京二十七日發國通】大藏省は十年度豫算に對する主計局の査定が終了したので二十七日午後一時半より愈々來年度豫算に對する大藏省の態度を決定するための大藏省議を開催藤井藏相津島次官以下各局長主計局各課長出席先づ歲入豫算の審議に入り中島主稅局長より十年度租稅收入に關して詳細說明あり次いで官業その他の收入見積りに關し夫々關係官より報告して審議に入つた、歲入に就いての審議は二十七日中には全部の審議終了至難であるから二十八日日曜にも拘はず省議を續開し同日で歲入關係の審議を終り二十九日より陸海軍豫算の審議に入り三十一日から來月一日迄には省議を終了最も重要性を持つ國務豫算及び匡救事業關係豫算の如きは省議で最後の決定をなさず藤井藏相の政治的解決に讓る事となるものとみられるがこれを決定する三十一日又は來月一日頃の省議に於ては增稅に對する大藏省の方針も決定する事となるものと見られその前途は各方面より注視の的となつてゐる

佐々木巡查代表

安東經由奉天へ

【安東電話】上京中の關東廳巡査代表十四名は二十三日東京で解散式をあげ三々伍々歸還の途にあるが、第一着に歸滿した奉天警察署の佐々木代表は二十六日午後四時十分多數の出迎へをうけ安東に着き安東署幹部に報告、同四時五十八分奉天に向つた

軍需工業課稅

考慮は當然

林陸相の意見

【東京二十七日發國通】二十六日の定例閣議後林陸相は藤井藏相と豫算問題で懇談したがその內容は左の骨子と傳へられ成行注目さる

一、軍需工業方面は相當利潤を舉げてゐる傾向あるが故にこの業務を脅かさぬ程度において適切な課稅はどうか

一、軍需工業以外にも一般より特に高率の利潤を得つゝある工業及び會社工場にもその業績に應じ臨時的に適宜課稅や增稅はどうか

等の問題を話合つた、本問題に關して林陸相は語る

軍需工業に課稅してもその金額は幾何でもあるまいが、大戰參加各國の軍部が實行した戰時利得稅といふやうな精神から見ても亦貧富均衡を圖る事の一般觀念の上に及ぼす影響から考へても當然だらう

九觀・小觀

海軍々縮豫備會商第一週終る▲思ひ起す、ワシントン會議に於ては、開會式のその席上▲議長ヒューズが五・五・三の比率を提議して一氣に會議を押切つた▲今から考へると日本はあれほどまでに彼の心理に捕はれる必要はなかつたのだがヒューズの演說の後、滿場起立して嵐のごとき感激の拍手が起り日本新聞記者團も思はずこれに唱和したといふから▲當時の空氣は察するに餘りある▲會議外交は公開外交の一手段としてヴェルサイユ條約以來常例となつたが▲國運を賭すべき冷靜な會議がや〻もすれば多數の出席者や傍聽者のいはゆる〃會議輿論〃のために引ずられたこと枚擧に遑あらず▲今は多邊的二國外交などといふ新熟語が出ても人われ共に怪します▲さりながらワシントンでは□□投げられた日本が▲今度は遂に眞ツ先きに巨砲をぶつ放した▲環境の相違もあるが、日本自身に強い自信が出來た證左である

英米蘭三國から日本政府へ重大抗議

滿洲に於ける既得權侵害を指摘

【東京二十六日發國通】滿洲國の〇〇統制計畫に對し右は日滿兩國の闡明せる門戶開放機會均等の原則に違反するものとして英國外務省は九ケ國條約第三條に基き東京新京兩政府に抗議し米國及び和蘭兩政府も二十五日東京政府にそれ〴〵抗議した

日本政府は關知せず

滿洲國の石油統制につき

外務省、抗議に回答

【東京二十六日發國通】外務省は滿洲國における石油統制に關する英米等よりの抗議に對しこれが眞相を明白にする爲め當局談の形式を以て二十六日夕刻左の如く發表した

滿洲國の石油統制計畫につき英米等より日本政府に對し抗議の申入れがあつた等の情報が最近英米等よりの新聞電報により傳へられてゐる所右に關する眞相は左の通りである

◇

本年七月二日英國大使館より又同七日米國大使館より非公式覺書を以てそれ〴〵滿洲石油會社の設立及び滿洲國官憲の石油專賣實施計畫等に關し兩大使館の入手せる情報の眞否をたしかめたき旨を述ぶると共に本件に關する同大使館の所見を開示し來たる所があつたので外務省は八月三日次の樣に回答した

一、滿洲石油會社の設立及び滿洲國官憲の石油專賣計畫自體に關する滿洲國政府の方針については帝國政府の關知しない所であり從つて帝國政府としては之に關し何等說明を爲す地位にあらぬ次第である、然しながら參考として帝國政府の最近得た情報を記述すれば大要左の通りである

◇

滿洲國に於ては本年二月二十一日公布せられた特別法に基き滿洲國法人たる滿洲石油會社が設立せられたが右法規は同會社に何等獨占權を附與してならず又其の株式所有者に關しても右法規及び會社定款は何等國籍による制限を規定してならぬ、且目下滿洲國政府は歐洲諸國の事例にも鑑み重要產業たる石油業統制に關する法律の制定を考慮中の模樣である、情報によれば右法案の趣旨は石油販賣を政府の獨占として統制の目的を達しやうとするものであつて石油の製造輸出入まで政府に獨占しやうとするものではない、又同法案は前記石油會社に對し石油の製造輸出入その他に關し何等獨占權を與ふるが如き規定は含んでならぬとのことである、尙ほ情報によれば滿洲國側の計畫に於ては政府が販賣すべき石油の全部を滿洲石油會社製品を以て獨占せしむると云ふが如き事は考慮してならぬ模樣である

二、南滿洲鐵道會社が滿洲石油會社に出資してゐる事及び同石油會社が工場を關東州に設置した事は事實であるが此の點に關し何等日本側に於て既存條約抵觸の問題を生ずるものとは認められぬ

三、以上の諸事情に鑑み帝國政府としては日本資本家の滿洲國法人たる石油會社に對する出資を阻止し又は滿洲國當局に對し石油に關する或種の統制の實施を中止する事を說得することは出來ぬが一方滿洲國政府に於ては石油の購入及び販賣に關し現在同國內にある外國商人の利益を出來る限り考慮するの用意ある趣であるから兩國利害關係者に於て直接滿洲國側と折衝せらるることと可然と思考するものである

以上は外務省の回答の要領であるが尙ほ滿洲國においては門戶開放主義とは或る外國に通商上の獨占的排他的の特典を與へぬといふ事を意味するものであり、從つて今次の石油統制を實施する場合に於ても右制度にして日本其他外國人に對し其の國籍を理由とする差別待遇を助成するものに非ざる限り所謂門戶開放主義の違反とはならぬと云ふ見解を有してゐる趣きである

お門違ひの抗議

外交部當局の見解

【新京二十六日發國通】滿洲國の〇〇統制計畫に對し昨二十五日英國外務省並に米、蘭兩國が九ケ國條約第三條を楯に日本政府並びに滿洲國に對し抗議を發したとの報道に對し外交部當局は左の如き見解を持してゐる

滿洲國にはまだ何等抗議が來てゐないから何とも云へないが九ケ國條約第三條は支那に關する機會均等門戶開放に對し九ケ國中の一國が特殊な權益の優先權を享有しないとの申合せであつて之を新らしい事態のもとに生れた獨立國、個な滿洲國に抗議する根據にはならない、從つてたとひ抗議が來たとしても一顧だに値しないものである、勿論門戶開放は建國宣言に明記されてある通りで不變の國是ではあるが〇〇統制計畫は滿洲國の主權下に行はれる獨自の政策であつて建國宣言の門戶開放とは何等抵觸するものではない、若し抗議が到着したら其の內容を詳細に檢討した上で善處しよう

北支保安隊兵匪化し熱河青龍に侵入

滿洲國軍警と數時間交戰　縣長參事官安否不明

【凌源】凌源憲兵隊に於ては二十一日午前二時青龍縣城匪襲され縣長參事官等拉致さるとの報に接し俄然大活動を開始し八方密偵を派し眞相の如何を搜査の結果綜合した現在の情報に依ると河北省永平縣保安隊一個中隊兵變匪化し附近匪と合流し約三百名關內青龍縣三岔溝に進出し來り同警務局に歸順を申込み二十一日午前九時之を諒とした福田指導官は少數の警察隊引率の上歸順式に臨むべく同地に出張せるに突然發砲抵抗の態度に急變し福田指導官の指揮にて交戰に入り駐青龍滿軍騎兵一連の應援を得、敵味方多數の死傷者を出し頑强に退かず交戰二時間の後双方攻擊を中止し對峙の姿勢を持してなほ退かず同地方民避難して大混亂を演出した、此旨情報を得た滿軍承德部隊は平泉迄來り眞相の如何により行動を起すべく待機し凌源警備隊においても何時たり共行動起すべく待機中である、同地は電信電話の架設を未だ見ず、道路又省內一の難路にて行動の敏活を侵され縣長參事官等の拉致說の眞僞に對し當憲兵隊は苦心して居る

保安隊の九百名　武裝のまゝ脱走

給料不渡から匪賊化

【錦州】最近河北省の保安隊ならびに公安隊中には給料不渡りから匪賊化する者多く、各方面の被害尠くないので頗る憂慮されてゐる折柄、また復唐山保安隊の一部九百名は給料不渡りから武裝のまゝ脱走し、昌黎縣內石門鎭附近に立籠つて全く匪賊と化し、昌黎縣および安山縣下に出沒し盛に暴威を振ふので、一時は討伐隊も出動したが多數の負傷者を出した上却つて擊退され討伐の見込みなきものとして引揚げた、之がため同地方の治安は全く紊れ住民の不安昂まり何れも戰々兢々たる有樣である

村長父子が　反滿抗日軍の幹部

【錦州】錦西縣第三區富隆山村々長秦彦臣(六〇)及び長男秦武光(二五)の親子は同地方の治安工作上兎角の風評あり、同縣警務局において內偵中、愈々民國二十一年一月十六日附を以つて秦彦臣は東北民衆抗日救國義勇軍參謀長、秦武光は同副官中校(中佐)の辭令を受け黑山縣潛伏の同軍司令王啓廷と連絡し遼西、熱河の各地に蟠踞する匪賊を指揮して私かに滿洲國の機密を探り、或ひは治安の攪亂を行つてゐた事判明、特務主任呂澤生氏は部下警士中の腕利き四名を選拔しこの程連山を出發し一氣に秦村長親子を逮捕せんとしたが、早くもこれを知つた秦親子は家族の者と發砲し交戰約一時間の後朝陽縣境の方へ逃走した、呂特務主任一行は止むなく家宅搜查の上

一、國恥條約二十一ヶ條の條約寫し一通
二、孫中山遺書寫し一通
三、三民主義五全憲法寫し一通
四、委任狀一通
五、三八式長銃一挺、モーゼル拳銃一挺

を證據品として押收引き揚げたが反滿抗日軍の幹部を村長に任命してゐた錦西縣公署ではこの事實を知り非常に狼狽し早速善後策を講じてゐる、省境に匪賊蠢動の折柄とて民心頗る動搖の模樣である

孫財務局長　日本を視察

【營口】滿洲國民政部にては今回各縣々長の推薦せる行政官中より更に十五名選拔して日本各府縣の行政を視察せしむることゝなり營口縣も縣長の推薦により財務局長孫金波氏渡日視察班に入る事となつた、氏は十一月一日新京にて一行に加はり出發する筈である旅行豫定は約一ヶ月の豫定であると

鐵道愛護村會議　瓦房店にて開く

各關係者村長等出席

【瓦房店】瓦房店鐵道愛護村會議は二十六日午前十時より瓦房店驛教育室に於て開催、守備隊田口曹長、復縣警務局岡本指導官、保線區三浦保線工長、渡邊聯合村長、谷口庶務方、通譯俞萬元、愛護村顧問三名聯合副村長十五名出席、先づ渡邊聯合村長開會の辭を述べ左の事項を協議並に希望注意する處があつた

一、鐵道愛護村旗掲揚方について
二、愛護村旗旗竿配給について
三、愛護村旗破損品取換について
四、牛馬豚等放牧を嚴重取締る事
五、產業發達の目的にて愛護村に栗栽培獎勵について
六、會議の際は手帳其他辯記用具を携帶し會議の要項を記載し村民に傳達の事
七、愛護村徽章佩用勵行の事
八、本年春期穀類種子消毒實施に關し成績調查の件

田口曹長、渡邊聯合村長より注意事項につき二三の副村長に復唱せしめて指示事項の徹底を期し愛護旗は風雨雪の際は保管上掲揚せざる樣にと指示した、尙ほ副村長からは家畜の放牧は復縣官憲よりも取締勵行を希望して午後一時終了した

綏中縣下の村を合併　四十村にする

【錦州】綏中縣內における村の數は從來八十村であつたが、今回縣公署では經費の關係上これを縮小すべく計畫し、縣公署內に全村長を召集し二村を一村に合併し縣下四十村とし村長の改選を行ひ、年齡二十五歳以上五十歳まで、財產五千圓以上または十天地以上の所有者で、保證人二人を要する者を村長資格者としたが、村長は一月二十圓、副村長は十五圓の手當が支給される事になつたと

錦州尋常高等小學校　認可の指令

【錦州】錦州日本小學校では土地の發展と學童數の增加に鑑み、豫て領事館を通じ外務省ならびに文部省あて錦州日本尋常高等小學校として正式に高等科を併置すべく申請中であつたが、今回いよ〳〵認可の指令に接した

間島視察團一行　視察を終へて解散

【圖們】鐵路總局主催の間島視察團五十名の一行は敦化よりの臨時列車にて二十四日十六時半圖們着市中各旅館に分宿し、二十五日は早朝より圖寧線の假營業全線を視察し同日夕圖們に引返して解散した、一行の主なる顔觸れは

豆信專務田村幸三▲實業部總務司長向坊盛一郎▲東亞勸業社高橋孝順▲同農務司長松島鑑▲大連農事會社長大倉澤治▲朝鮮總督府事務官服部伊勢松▲大興公司理事中西瀧三郎▲中央銀行爲替課長長谷川忠治▲公主嶺農事試驗場長中元安藏▲滿鐵農務課長河村泰次▲同勞務課長上師嘉四郎

の諸氏で、圖們官民各機關の代表は一行が各方面の有力者たるを以て折角の來圖を意義あらしむべく二十五日は十七時半から若木家に五十名を招いて一大歡迎會を開き相互の意見を交換した

兵隊婆さん　遼陽を慰問

【遼陽】奉天醫大橋本博士の母堂は奉天兵士ホームの主催者で滿洲隨一の兵隊婆さんと推賞されて居る事は餘りに有名であるが二十六日來遼將兵の慰問をなし更に衞戍病院警察署を慰問した

有力者も交る　錦州の紳士賭博

行政委員五名、消防組頭等々　十三名・檢擧さる

【錦州】錦州領事館警察署では去る六月以來錦州一流料亭を根城として旺んに開帳されてゐた賭博犯の檢擧に際し、相當名譽職に在るものもこれに參加してゐた事とて、一切新聞紙上の掲載を禁止し極秘裡に嚴重取調中であつたが、今回やうやく一段落を告げたので身柄は不拘束のまゝ一件書類と共に

檢事局 に送附し同時に掲載の禁止を解除した、卽ち檢擧された者は

▲原籍廣島縣佐伯郡玖島村當時錦州驛前赤玉カフエー事居留民會行政副委員長廣瀨德松(三六)▲原籍滋賀縣犬上郡豐鄕村當時錦州大馬路三丁目料理店日本亭事民會行政委員西山捨吉(四七)▲原籍和歌山縣海草郡紀三井寺村當時錦州大馬路二丁目料理店紀廼國家事同上西出甚太夫(三九)▲原籍大分縣中津市船町當時錦州東門外料理店錦城館事同上自見梅治(四九)▲原籍愛知縣名古屋市南區熱田尾張町當時錦州大馬路三丁目電氣器具商同上寄山秀一(三七)▲原籍長野縣東筑摩郡村城村當時金州大馬路三丁目料理店桃太郎事民會行政副委員一ノ瀨道賢(三四)▲原籍福岡縣大牟田市住吉町當時錦州大馬路三丁目料理店丸古事消防組々頭古賀鐵太郎(六〇)▲原籍三重縣神前村當時錦州大馬路三丁目料理店桃太郎方生川銀二郎(五八)▲原籍福岡縣大牟田市三河町當時錦州大馬路三丁目料理店錦波樓事德安幸作方鐘ケ江與太郎(三四)▲原籍長崎縣南高來郡當時錦州大馬路三丁目料理店錦波樓事德安幸作(五三)▲原籍長崎縣北高來郡有喜村當時錦州大馬路三丁目料理店大凌河事廣谷長之助(六五)▲原籍廣島縣蘆品郡服部村當時錦州驛前土木請負業鍋田喜一(四六)▲原籍佐賀縣佐賀郡西與賀村當時奉天日吉町三飲食店喜乃家事種田喜三郎(六三)

の十三名で彼等は常に日本亭、錦城館、錦波樓、大凌河等に集合して五百圓、一千圓の大賭博を開帳してゐたもので

この中 には錦州居留民會の行政委員が五名、副行政委員が一名、消防組頭など市民の儀表となるべき代表者が加入して居り非常に繁盛されてゐる、なほ錦波樓主德安幸作は取調中死亡した

錦縣驛の發着時間改正

【錦州】奉山線は來る十一月一日より汽車時間の改正を行ふがこの結果錦縣、山海關に混合列車の一往復を增發し、また錦縣、奉天間に旅客列車の一往復を增發し、奉天で滿鐵線上下超特急と接續せしめ、區間旅客の便を圖ると共に大連または新京方面と錦縣方面との交通便益を圖ることになつた、改正による錦縣驛發時刻は左の通りである

◇奉山線(上り)

錦縣驛發	奉天驛着
二時〇二分	八時一五分
六時一〇分	一一時〇七分
一一時四二分	一五時五五分
一四時四六分	二〇時二〇分
二三時三三分	六時〇〇分

◇奉山線(下り)

錦縣驛發	山海關驛着
三時三二分	八時三〇分
六時〇八分	一一時〇〇分
一三時一三分	一六時五〇分
一六時五一分	二二時二五分

◇北票線(上り)

北票驛發	錦縣驛着
七時一〇分	一一時〇五分
一五時四〇分	二〇時〇一分

◇北票線(下り)

錦縣驛發	北票驛着
八時一五分	一二時五〇分
一七時〇〇分	二一時一四分

因に壺蘆島線は朝の九時四十分に發車するほか連山驛において接續する事になつてゐると

赤峰にも落地稅　淸野領事、婉曲に拒絕

【錦州】熱河省內各地で施行してゐる落地稅は舊軍閥時代に制定された一種の惡稅で、王道滿洲國が建國された今日に於いてもなほ撤廢されず、邦商より滿商へ賣り渡した日本商品に對し賦課徵稅してゐるので、日本商品の熱河進出に對してその販路を阻害するものとして屢々問題になつてゐるが、たゞ赤峰のみは從來より輸入邦貨の少量なるため之れが適用を見ず今日に至つて來た

處が最近邦人の居住者激增と滿人側の日本商品への趣好轉向により同方面に輸入される數量も相當增加した結果、熱河省稅務監督署赤峰出張所では熱河省における課稅統一の必要ありと云ふ理由の下に、近々赤峰に移入せらるゝ日本商品に對しても同稅を賦課徵收すべく赤峰領事館に諒解を求めて來たので、同地日滿商人間に異常なセンセーションを捲き起してゐた

一方淸野領事はこれに對し放地において落地稅を賦課するは明かに條約違反なるにより大使より特別の訓達ない限り承認いたし難しと婉曲に拒絕した由である

殖える視察團　昨年のザッと二倍

名實ともに完備する奉天驛

【奉天】商工業都市として伸び行く大奉天の玄關をなす奉天驛は滿洲の樞要地であるのみならず滿鐵本線安奉、奉山、撫順、奉吉各線の中心地をなすため滿洲を目指して來奉する視察

見學 團體その他旅行客は逐年增加しつゝあるが、毎年四月の解氷期を待つて來滿するこれ等團體も寒氣に向ふと共に漸減し十月を以て大體終つたやうであるが本年の統計によると團體數だけでも普通團體二百卅九組、學生團體百四十三組、合計三百八十二組その人員一萬八千六人に達し、これを昨年に比較すると團體は百九十九組、人員七千人の增加を示してゐる、又これに伴つて手荷物、小荷物等の數も增し奉天驛で取扱つただけでも實に九十萬個の多數に上り、昨年の二倍以上激增し、旅客、荷物の數においては他にその例を見ず、如何に奉天驛の

乘降 客が多いかこれを以ても窺知することが出來る

そこで奉天驛では現在のまゝでは狹隘を感ずるので目下屋上待合室を建設中で之が完成の曉には優に五千人の旅客を收容されるといふ高大なもので、來る十一月一日から實施されるダイヤの改正に伴ひ旅客列車の增發で毎日旅客列車は百一個列車發着し、之に貨物列車を加算すると實に百五十個列車が奉天驛に出入し、七百五十名の驛員により取扱はれる旅客、小荷物等も更に著るしく激增するであらう、かうして人口百萬人を擁する奉天を目指し各方面の躍進振りは目覺しいものがあるが、近き將來名實共に完備し奉天市民の

誇る べき大玄關を形成するであらう、ダイヤ改正による各列車の發着ホームは左の通りである

▲第一ホーム　大連、營口方面
▲第二ホーム　撫順線發着(西線)安奉線發(東線)
▲第三ホーム　新京、吉林、チチハル方面(西線)安奉線(到着)
▲第四ホーム　奉吉線及び奉山線發着

尚釜山、新京間直通となる急行「ひかり」で新京行きは第三ホーム、釜山行きは第二ホームに着發し乘客に便利を與へることゝなつてゐる

外人も多い　九月中だけで一千百餘名

【新京】滿洲建國以來滿洲へ〳〵と押しかける旅行者、視察團は後を斷たずもの凄い勢ひだが、外國人も滿洲國商人よりも一足先にまづ現地調查にと滿洲國現地に來るもの多く、氣溫下り氣候が惡くなつた九月でさへ一千百七名の來滿者あり、これを前月に比較するともはや觀光季節をはなれた關係で百八十名の減少を示してゐるが、前年の九月に比すれば二百三十八名の增加である

これを人種別にみるとソ聯人百三十四人でトップ、次に合衆國人百三十三名、イギリス人百二十五名、ポーランド人百六名等で無國籍人三百四十二名もありこれは大體白系露人である、なほこれらを職業別にすると商人實業家二百十名、宣教師、教員學生百六十四名、技師六十名、外交官四十六名となつてゐる、商人、實業家は前月に比すと十四名、十二名と增加してゐることは滿洲國の經濟的發展より通商挨拶の關係日々密接となり、又建築界の新興氣分の橫溢してゐることを物語るものである

使命を果し得ず　聲援に申譯なし

佐々木巡查代表歸る

【安東電話】在滿機構改革問題軍部案反對陳情に上京した關東廳巡查代表十四名は幾多の苦心を拂つたがその成果意の如くならず、涙をのんで歸還命令に從ひ二十三日東京で解散式をあげ、三々五々歸還の途にあるが第一着に歸滿した奉天警察の佐々木代表は二十六日午後四時十分安東署員多數の出迎へをうけて着安した、驛頭一同に對して

我等代表の苦心も空しく原案通り臨時閣議で決定し初志の

貫徹 を見なかつたことは殘念に堪へない、我等の充分任務を果し得なかつた事をお許し願ひたい、上京中の絶えざる御聲援には深く感謝する

と挨拶を述べ、展望車內で安東署幹部に詳細報告するところあり同四時五十分奉天に向つたが車中記者に語る

我々代表が東京に參着したのは十五日で直ちに宮城遙拜、靖國神社に參拜し、それから行動を開始して先づ拓務省で坪上次官始め幹部に面會して後、岡田首相、河田書記官長に會ひ非常に突き進んだ陳情をなし回答を求めたのだ、ところが全く回答に窮した形で悲壯な場面を展開したが、やつと一日、二日回答を與へられたいと云ふことになつて別れた、十六日は陸軍省を訪問したが都合で大臣や幹部には會へず滿蒙調查班長大城戶中佐ほか數名と

會見 した、之は結果からみて却つて不利を來たしたのではないかと思はれるのだ、衆議院議長と會見したが我々の意見に全く贊成だ、議長であるため議會でも意見が述べられない故各政黨に會つてくれとのことだつた、そこで後に鈴木總裁その他と會見したのだが、十八日岡田首相から先日の回答をするからとの事で官邸で會見したが原案は變更できないが成るべく部長を文官にする樣考慮しやうとの事で殘念だが仕方がない、十九日は鈴木政友會總裁に會ひ、續いて政友會幹部に會つて、約二時間に亘つて說明したものだ、二十一日は藤沼警視總監及び警視廳幹部等に挨拶にあがつたが

非常 に僕等を激勵し關東廳の代表でなく日本國民の代表だと大變な聲援をうけた、かくて我等の奮鬪も空しく臨時閣議で原案決定となり本部から歸還命令をうけて我々は二十二日解散聲明を發表したのだつた、二十三日全員悲痛な緊張裡に解散、それ〴〵歸途についたのだが、一般市民の同情が非常に高かつたことには一同驚歎した、かくて歸還命令に從つて歸つて來たが、完全に使命を果し得なかつたことは代表として聲援を受けた諸君に會はす顔もないが

最後 まで責任を完了せねばならないと思つて急いで歸つて來たわけだ

漁場の大望海寨へ　滿鐵沿線から國道

砂崗、蘆家屯發展せん

【大石橋】蓋平縣下の大望海寨は滿鐵本線砂崗驛より一邦里、蘆家屯驛より一邦里半の渤海灣に面する水產物集散地にして從來其名界隈に知られたるが毎年五、六月漁業旺盛期となれば山東方面其他對岸各地より漁業關係者多數入り込み大望海寨一帶海岸にはバラック式の一大都邑を出現し沿線各地並に背後地よりは取引人等集合各々持ち寄りの市等が盛立てられ素晴らしい殷盛を呈するところであるが最近蓋平縣公署に於ては縣下唯一の漁場大望海寨並に營盤田の交通上に鑑み國道計畫案進められ旣に着手せる地區もあり本國道に依り營口蓋平が完成に結ばれたる曉には是等漁場鹽業の交通に及ぼす影響好轉すると共に既に着手せる沙崗、蘆家屯驛より本國道を結ぶ縣道の完成は必ず海路營口方面に搬出しつゝありたる鹽魚介類の流出を喰ひ止め時間と經費半減して斯くなりたる場合砂崗蘆家屯に出廻る事は必然にして斯業關係者は勿論驛當局に於ても大いに期待と共に對策考究中である

棉花脫稅防止對策を決定

大石橋で關係者懇談

【大石橋】營口縣稅捐局に於ては從來大石橋近郊一帶より市場に出廻る棉花の脫稅行爲を敢行する不德漢あるに鑑み鋭意之れが防止策を考究中なるが脫稅は抑々滿洲國の國策に違背すると共に地場棉花の信用に多大の影響あると共に各種の弊害を伴ふものある見地よりこれが徹底的取締を期する爲め二十五日三木營口稅捐局員來石當地警務局に於て脫稅防止策懇談會を開催した

右に依り脫稅の國法違反なる點を強調し地場棉花の信用確保脫稅に依る各種弊害芟除を工作する事方とし滿洲國警察官をして一切嚴重取締りに當らしむる事が最も適切にして効果的なりとの衆議に基き營口縣警務局と交涉を開始する事となつた、而して當地區同業關係者の總意に依り脫稅防止對策考究方案を日本憲兵隊にも依賴する事となつたと

工大對工專　陸上競技

【旅順】第五回旅順工大豫科對工專の陸上競技大會は二十八日午後一時より旅順兒玉グラウンドに擧行される兩軍メンバー左の如し

▼百米　工大原、布施、舟田(補)瀧川、古原、工專大庭、稻葉、藤島(補)和田、野間
▼走高跳　工大馬場、久笠、古原(補)茅原、瀧川、工專橋田、王三隅(補)鹿島、和田
▼砲丸投　工大茅原、三好、乃美(補)古原、久笠、工專數根、稻葉、鹿島(補)景浦、山口
▼千五百米　工大久笠、宮田、林(補)三好、工專森田、久松、山田(補)森崎、牧野
▼高障碍　工大茅原、古原、馬場(補)瀧川、原、工專王、橋田、鹿島(補)和田、數根
▼圓盤投　工大茅原、布施、乃美(補)馬場、三好、工專景浦、鹿島、藤島(補)數根、池本
▼棒高跳　工大張、保坂、馬場(補)茅原、工專稻葉、鹿島、藤島(補)王、折田
▼四百米　工大原、久笠、瀧川(補)舟田、布施、工專大庭、藤島、山田(補)稻葉、牧野
▼走巾跳　工大茅原、久笠、古原(補)瀧川、布施、工專三隅、橋田、稻葉(補)野間、折田
▼槍投　工大窪田、茅原、古原(補)馬場、工專和田、稻葉、王(補)數根、相生
▼八百米繼走　工大原、布施、古原、舟田(補)瀧川、久笠、工專大庭、山田、藤島、稻葉(補)和田、野間

戰歿者慰靈祭　凌源にて擧行

【凌源】滿洲神職會大連神社神職鈴木雄治氏普蘭店神社神職三宅直一氏等の戰跡弔問軍隊警察官慰問に來凌を機とし戰歿者十一氏の靈を慰むべく二十四日午前十一時凌源北門忠魂碑前に於て白雪皚々たる中に軍民多數參列の上慰靈祭を盛大に執行同十二時終了した

營口三義旅館　家屋明渡し

【營口】營口舊市街東二道街で營口唯一の大旅館たる三義旅館は家賃滯納の廉で家主タンバー氏より家屋明渡の訴訟にて敗訴となり愈々執行を受け爲めに二十五日永世街裕豐棧跡に引越し假營業を開始したと

短氣は損氣

【旅順】市內青葉町東野某＝假名＝方へ實姉の關係上本年五月頃から厄介になつてゐる高知縣人菓子職積善義(三〇)は同町內に髮結業を營む實姉松本トシエ(三七)に對し近く菓子店を開店する爲め出資方に就き相談中、二十五日午後三時過ぎトシエと口論の上薪割を以て鏡臺、茶棚を破壞した上旅順署へ自首した

この男は國元に妻子五人を有してゐるが生來の短氣者で、これも不景氣が生んだ社會相の一現れである

會と催し

◇中島縣參事官送別會　營口縣公署參事官中島定夫氏は今回新設黑河省公署警備員に榮轉する事は既報の通りだが、榮轉を惜んで留任運動さへ起る溫厚篤實の氏を營口有志が其行を盛んにする爲め二十九日午後五時から舊市街瀛海樓に於て送別會を開くことゝなつた

◇第一警察車體檢查　滿洲側營口市警察第一警察署に於ては警務局の命令により、人力車々體檢查を二十五、六兩日に亘り同署に於て執行したが、比較的良好の成績を示してゐたと

◇鄕軍射擊大會　錦州在鄕軍人分會では非常時精神作興と萬一に備へる用意のため、二十八日午前九時から午後三時まで舊交通大學裏に於て射擊大會を舉行する、その方法は正會員、一般班、婦人班の三班に分け正會員は既教育、未教育者、一般班は來賓及青年團員、一般婦人班は婦人會員及女子青年團員一般婦人等で採點は一人五發とし最高點者より順位を定め各班毎に十等まで入賞者とし賞品を贈呈する事になつてゐるから一般市民も振つて參加して貰ひたいと

◇錦縣縣立女子師中學校展覽會　來る二十九、三十の二日間校舍新築落成記念の爲め全校生徒の作品展覽會を開催し一般多數の參觀を歡迎すると

各地人事

▲小林才治氏(大石橋地委議長)　軍民懇談會出席の爲め二十五日午後八時四十分發新京へ、二十七日頃歸石
▲愛甲直剛氏(大石橋、蓋平、瓦房店電燈專務、大石橋地委員)　公務の爲め東京出張中の處二十五日歸石
▲渡邊德重氏(遼陽地委議長)　二十五日夜行で新京へ
▲細矢權吉氏(遼陽鄕軍分會長)　二十五日大石橋往復

初冬の吉林……小白山腳よりの遠望

冬籠りをひかへて 對寒衛生について（下）

醫學博士 松浦有志太郎

第二種法 のうち野外戸外の焚き火は無難、我邦古來農家の居爐火も冬の夜などなかなかに親みがあいて、ものて無害、これに家屋構造の然らしむるところである。西洋室の焚き火カミンは、略これに似てゐる。煙道の故障さへなければ、室内空氣の交換にもよろしい。但し室温を高め過ぎぬ樣、又密閉せぬ樣注意しなければならない。

日本室の 火鉢は、昔時のまゝの日本室ならば空氣を汚染せず、又室温を格別高めぬ。故に安全なれども西洋室、又は此頃の文化室（硝子を多く用ひて改惡したる室）において之を用ふるは甚だ危險である。總て此法を用ふるには室内温度の上昇を許らずして窓戸等開放主義なるを要する。その應此頃文化人の住宅に於て、その應接間や居室の無煙突の瓦斯ストーブを用ひて平然たるもの少からず

危險千萬 である。近代人の衛生知識の退歩慨歎すべきかな、序ながら茲に警告して置く第一居室内に瓦斯管を引き入れ置く事が既に餘りの大膽さである。

第一種原則に屬する法は、多くは最も簡單且つ理想的にして空氣を汚染せず、又室内高温空氣の危險がない。只從來多くは個人的、又は小規模のものにして、大規模のものは少い、併し此中のおんどる床式は、之を改造して電氣蒸氣又は温湯を應用したならば大なる室大講堂等の床板（叩き、コンクリート、敷瓦、疊敷の室、二階、三階等々にも用ふるを得べし）をも加熱するを得べく、此の温床に起つも坐するも頭寒足熱の健康法に叶ひ、理想的の暖室法を初めて完成する事が出來やう。故に私は此の第一種法の法式は最も理想的のものにして、將來大に應用せらるべき最良の方法であらうと思ふ。私は此の道の專門家達の今後大にこれに就て研究工夫されん事を希ふものである。

結論 在來の西洋式の煖房法は、甚だ有害なるを以て之を廢し、之に代ふるにおんどる式の採暖法を改造擴大して用ふる事は、住宅衛生上甚だ急を要する事を認めるものである。放射熱法も亦適宜適所に之を用ひて甚だ便利、且つ無害なるを得やう。（終）

さても珍奇好みな

珍奇好みのヤンキーは、シカゴ市で行はれた自轉車祭の時に、いろいろかはつた自轉車競技をしました。そのうち一番人氣を呼んだのは、この寫眞の競技です。これは中世期のナイトのいでたちをした連中が自轉車競爭をして、集まつたヤンキーたちのどぎもを拔きました。

本社特選 高段新手合【其二】

平手 先 六段 平野信助 / 六段 飯塚勘一郎

【圖は四四銀迄の局面】

△四六銀 ▲三三角
△七八金 ▲四二銀
△六八銀 ▲五三銀上
△五七銀上 ▲六四銀

△平野氏持駒 ナシ

△六六銀 ▲八四歩

累計二十二手

講評 土居八段

△圖面の場合先手は二四歩、同歩、同飛、二三歩、二八飛、五五歩、同歩、同銀、五六歩、六四銀、六六歩と突き、以下堅固な陣容を張つて、敵銀の壓迫み兼れ、徐ろに對戰する方法と、本局指手の如く四六銀と上つて中央線防の二つの方法がある。何れを執るも可である。

△平野君は、後者の手段が自己の棋風に適して居るとみえてこれを實行した。その結果、双方とも二枚銀を飛線に繰り出して同型で爭ふこと、なつた。

觀戰記 七段 萩原淳

◇五筋の對立 平野氏の四六銀は、敵の四四銀に對抗して、五筋の交換を避けたものである。が、その代り敵に三三角と指されては、飛車先が切れなくなるので五分々々である。然し、先手は成るべく飛車先を切ることが得とされてゐるから、この際、二四歩と指す方が、氏の棋風に合致するやうに思はれる。飯塚氏の四二銀は、次に五三銀と繰り出して、中央の位取りを意圖するものである。平野氏の六八銀、五七銀は、敵銀に對抗したものである。さて此局面から見ると、兩々中央に伯仲した勢力となつて、相當仕掛の六ケ敷い難局を現出して野ひ先手の得の發揮に困難なみるやうになるであらう。

日本棋院 大手合戰譜（十九局）

先 三段 宮下秀洋 / 初段 松浦勝治

制限時間各七時間（但し一分以内は切捨）

【2】

●二一れノ六 ○二二たノ十八(1分)
●二三たノ十三(14分) ○二四かノ十
●二五なノ六(10分) ○二六なノ十(5分)
●二七かノ四 ○二八はノ十六(1分)
●二九にノ九(3分) ○三〇ろノ十七(1分)
●三一よノ三(18分) ○三二たノ二
●三三ちノ四 ○三四かノ十七(3分)
●三五かノ十六(21分) ○三六わノ十六
●三七かノ十五 ○三八たノ十七(6分)
●三九れノ十七 ○四〇よノ十八

對局者の言葉 所要時間累計（白二十七分 黑一時二十四分）

（白）二十二と高く攻めたのは、二十までの外勢に對應する意味です
（黑）二十三も先づ此の一手さいふ感じですが—
（黑）二十五も一路控へて（わ六）なれば本當なのですが、二十七のケイマが打てれば此方が多少働らきかさ思ひました
（白）二十六を怠つて黑からボーシされては堪りません
（白）二十八、三十さ取り切つたのが問題かも知れませんが—實利なので—
（黑）三十一は疑問でした、大きに三十三さ打ちたかつたので、利かしの積りでしたが—
（白）四十は（よ十七）にツグものでしたか

戰の跡 ◇黑二十一は必然この押へを急がせた處に、白十八さ押した意味が含まれてゐる◇白二十二は豫定の行動であらう（れ十）の星下や（れ十一）の星ワキは、二十までさ外勢を張つた趣意さ背馳する◇黑二十三は白から此點へヒラかれるのが絶好なので考慮の餘地のない位の所である◇白二十六で二十七又は（わ三）に受けて居るさ、黑二十六のボーシが必然で、此のボーシに對する白の蠢動は、延いて二十までの厚壯を解消する虞れがある◇黑二十五、二十七は本調子、此の二十七さ打てれば二十五は（わ六）に控へる必要を認めない許りか、寧ろ一路進んで居るだけに譜の方が働らいてゐる◇白二十八、三十さ取り切るのは、後手二十九目に相當する一手が十四目半に當る勘定だから決して小さくはない—然しそれは局部的の問題で、大勢上からは白二十八では二十九に先着し、黑若し（ろ十五）ならば白下邊（を十六）あたりを占めるのが妥當ではなかつたか◇黑二十九で（は十七）に受けるのは利かされて、二十九の點は白に奪はれる事になる、此の黑二十九を尙一路又は二路進めて見ても、却つて打込みの後患を遺して詰らない◇黑三十一は保留したい、白（か二）とケイマされてから黑三十二とツケて行く筋の所だから打ちたくない若し強ひて打てば（よ二）のケイマが形であらう◇黑三十五は（わ十三）に二間トビし（ぬ十）のボーシの含みで行くのが輕妙らしい譜のツケは黑二十三が二間だけに何さなく好ましくない

ラヂオ 廿八日

大連（JQAK 六五〇KC）

午前の部

六・〇〇 ラヂオ體操
七・〇〇 ラヂオ體操
八・三〇（東京より）子供の時間「童謠と唱歌」下谷區竹町尋常小學校兒童、ピアノ伴奏百瀨三郎（一）齊唱「がん」石原和三郎作詞、田村虎藏作曲（二）獨唱大沼政子「イ、かうもり」富原義德作詞、佐々木すぐる作曲「ロ、落葉の子供」富原薫作詞、百瀨三郎作曲（三）齊唱「イ、秋の夜半」ヴエーバー作曲、佐々木信綱作詞「ロ、三歲女」新訂尋常小學校唱歌＝荒川區第一日暮里小學校兒童、ピアノ伴奏望月富貴雄▲齊唱イ、「歸り道」川部眩氏作詞、望月富貴雄作曲ロ、「雉子射ち爺さん」北原白秋氏作詞、草川信作曲ハ、「秋」細田道村氏作詞、望月富貴雄作曲ニ、「牧場の朝」文部省唱歌＝日本橋區箱崎尋常小學校兒童、ピアノ伴奏矢島佐可枝（一）齊唱イ、「夢」文部省唱歌ロ、「運動會」矢島佐可枝作詞作曲（二）獨唱 南谷周三郎イ、「影法師」文部省唱歌ロ、「お池の噴水」矢島佐可枝作詞作曲ハ、「日の丸の旗」文部省作詞、田村虎藏作曲（三）齊唱「白虎隊」文部省讀本 田村虎藏作曲
九・〇〇（東京より）宗敎講話「日本精神の一端に就て」東叡山寬永寺仕職輪王寺門跡大多喜守忍
九・四〇（東京より）母の時間「此頃の青年の心持」文學博士野上俊夫
一〇・一〇 レコード
一〇・四〇 滿洲音樂（レコード）
一一・四〇 ニユース
一一・五〇 講演「新官公署官制制定の經緯とその趣旨」總務廳長遠藤柳作

午後の部

二・五〇（東京より）經濟市況
引續き東京大學野球聯盟リーグ戰實況（慶大對早大）＝明治神宮外苑野球場より中繼
五・〇〇（大阪より）子供の時間 童話 伴奏大阪ラヂオオーケストラ（一）「お水がほしい」木下柚子（二）「お伽の國のバス」石原鯛子
六・〇〇 ニユース、告知事項
六・三〇（大阪より）日曜特輯 新作演藝「義太夫修禪寺物語」岡本綺堂原作、大森痴雪作詞、文樂座、淨瑠璃竹本錦太夫、三味線鶴澤叶助
七・一〇 琵琶「城山」飯牟禮講長
七・三〇（東京より）特輯演藝週間「第一夜」新樂劇「桐一葉」坪内逍遙作、場景一、片桐邸書院の場二、長良堤訣別の場▲配役＝片桐市ノ正且元（松本幸四郎）石川伊豆守貞政（市川染五郎）片桐主膳正貞隆（市川團右衛門）木村將藏（松本高麗五郎）十河十兵衛（市川照藏）今村三右衛門（松本錦四郎）石川の郎黨一（松本友十郎）同二（松本錦車）同三（松本錦八）片桐の臣一（松本鶴平）同二（同）本武之助）大野の臣白倉六（同）神崎治右衛門（松本桃四郎）桐一葉の前（坂東秀調）侍女瀨松本錦三郎）木村長門守重成（市川高麗藏）竹本連中太夫豐竹巌太夫、三味線竹澤仲造、鳴物連中杵屋連中
八・三〇 時報、ニユース、氣象通報、明日の番組のおしらせ
八・五〇 滿洲音樂（レコード）

新京（MTCY 五七〇KC）

午前の部

六・〇〇（東京より）ラヂオ體操
六・二〇 ラヂオ體操（滿語）
一〇・四〇 ニユース（日語）
一〇・五〇 音樂（レコード）（滿語）
一〇・五九 時報（滿語）
一一・〇一 音樂（レコード日語）
一一・五〇 講演（大連と同じ）

午後の部

四・三〇 ニユース（滿語）
四・四〇 演藝（滿語）鼓書院金振
五・〇〇（奉天より）子供の時間
五・二五 ニユース（鮮語）
五・三〇 演藝（鮮語）
六・〇〇（東京より）ニユース
六・二〇 ニユース、氣象通報、番組豫告（日語）
六・三〇 日曜特輯演藝 義太夫
七・一〇 琵琶（大連と同じ）
七・三〇 特輯演藝週間第一夜（大連と同じ）
八・三〇（東京より）時報、ニユース
八・四五 講演（鮮語）「學校と家庭」鄭佾崇
九・〇〇 演藝（滿語）鼓書院桂寶
九・二〇 ニユース（滿語）

京城（JODK 九〇〇KC）

午後の部

一二・〇〇 時報、今日のプログラム發表
〇・〇五 氣象通報
〇・三〇 ニユース
〇・五〇 滿洲より
一・四〇 野球試合實況（大連と同じ）

◆大邱の夕◆（大邱公會堂より中繼）

五・三〇 開會の辭（第二放送に依る）（朝鮮民報社長河井戸四雄）
六・〇〇 兒童劇「リンゴ祭」朝鮮民報コドモ・サークル
六・二五 挨拶大邱府尹門脇默一郎、講演「大邱府の現狀」大邱商工會議所會頭小倉武之助、講演「慶北の水產に就て」慶北水產會長中谷竹三郎
六・二五 講演「慶尚北道當面の問題」慶尚北道內務部長大竹十郎
七・〇〇 ニユース、天氣豫報
七・二五 ギターと尺八合奏（一）山は夕燒（二）城ヶ島夜曲 尺八安田敬堂、ギター石塚俊一▲新日本音樂（一）飛燕（二）光輝 琴岡野光輝外、尺八島原帆山▲獨唱（一）曉鐘（鮮語）（二）私の太陽よ ピアノ伴奏宋勝▲小唄（一）待ちわびて（二）だるま（三）空や久しく 大邱券番老松▲長唄「秋の色種」杵屋六義、杵六壽外▲和洋合奏越後獅子
八・三〇 特輯演藝週間第一夜（大連と同じ）
九・三〇 時報、ニユース、氣象通報、翌日のプログラム發表、ニユース再放送

白菊號飛來の報に 奉天の歡迎準備
朝鮮海峽を見ん事横斷して 廿八日午後は奉天へ

【奉天電話】訪滿飛行の壯途にある女流鳥人松本キク子孃の愛機白菊號は二十七日午前八時十五分太刀洗を出發、見事に朝鮮海峽を乘切つて同午前十時二十五分蔚山に着陸、同零時二十五分同地を出發飛行を續けてをり二十八日の旅程は確定して居ないが、二十八日午前八時京城を出發すれば同十時には新義州を通過し愈々目的の滿洲の空へ機影を現し、一氣に奉天に來れば同日午後零時三十分乃至一時三十分までには到着するので、これを心から歡迎すべく滿洲國協和會、市政公署、縣人會では歡迎準備を整へて居る

當日の東飛行場では白菊號の到着と同時に萬歲を三唱し協和會奉天事務局長章煥章氏の祝辭、在奉日本婦人團代表岩田和子氏より花環贈呈同滿洲國婦人團代表の花環贈呈次いで日本婦人代表三谷靜子氏の祝辭、同滿洲國婦人代表の祝辭、市長の記念品贈呈それより航空會社の歡迎宴あり終了後再び機上の人となり新京に向ふ筈である、尚馬淵孃の訪滿日程は不明である

大連で一遊び
新京人士に福音 十一月三日から實施

週末列車

【新京電話】國都新京と港大連を七時間半で突走る超特急あじあ號の運轉に伴ひ滿鐵本線のダイヤの大改正が十一月一日から行はれるが海を持たず娯樂機關に惠まれない新京人士にとつて極く氣樂に週末旅行のプランがたてられると云ふダイヤが出來てゐる

つまり土曜日に會社なり官廳なりから自宅に歸つて夕食をゆつくりと認めて手廻品を纏めて午後十時新京發列車に乘り込んで一眠りすると翌朝の六時二十五分には奉天につくそこで顔でも洗つて先づ一休み七時半の奉天大連間の急行列車で一路大連へ大連着はその日の午後一時卅分恰度日曜のこと御好きな野球なり映畫を見るなりそれとも星ケ浦か或は老虎灘のオゾーンを腹一杯吸ひ込むなりして時間が餘つたら一寸一杯と洒落込み午後八時の十五列車で新京に歸ると翌朝八時五十分には何の苦もなく新京着九時の出勤には完全に間に合ふこの上ないダイヤが十一月三日の土曜日から實現されると云ふ新京人士にとつては何より嬉しい話

守備隊營舍と衛戍病院移轉

【奉天電話】奉天獨立守備隊及び衛戍病院の營舍は明春三月より新營舍に移轉する事となつたが、其の跡の三萬坪の土地と兵舍の使用に關しては地方事務所で關係者と打合せ中である、大體兵舍の使用出來るものは社會事業就中無料宿泊所、實務學校等に使用し土地は貸下げない方針で、同地を貫通する道路を建設せんと商店街で計畫を進めて居るので、市民多年の希望であつた貫通道路も愈々實現の運びとなる模様である

あじあ急行券 五日前に賣出す

【奉天電話】來る一日から運轉される超特急あじあの急行券は五日前から賣出しを開始する事となり一日の急行券は二十七日から販賣しても宜しいと滿鐵本社よりの認可を得て居るが、肝腎の急行券が未だ奉天驛には到着せず急行券購入者は遠慮なしに押掛け係員は面喰つてゐる有様である

刀劍家歡迎宴

二十六日午後六時より磐城町琴月に於て刀劍鑑定家東京南人社主川口陟氏の來連を機として滿洲刀劍會主催の歡迎宴が開催された、出席者は同會理事内藤宋次、内山氏津上兩幹事を初め會員二十餘名宴に入る前川口氏の携行せる國光兼元、二代關兼六、井上眞改、來國俊等の名刀につき會員の鑑定入札あり、その結果、鈴木、岡、藤井三氏入選、終つて川口氏より五ケ傳に就いての説明あり、引續き宴會に移り刀劍に就ての座談あり九時すぎ散會した

光暢師を迎へ 英靈の法要
奉天東本願寺にて

【奉天二十七日發國通】東本願寺法主大谷光暢伯並に智子裏方は滿洲國興隆の御祝賀を申上げ又滿洲事變突發以來護國の鬼と化した日滿兩國軍警官民の英靈を慰める大法要執行のため二十九日午後二時着奉の豫定で、同日はその儘新京に向ひ滿洲國皇帝陛下に拜謁、日滿各方面歴訪の上三十一日夜十時半歸奉し十一月一日午後一時より奉天東本願寺に於て大法要を執行すると

接戰の末、早大勝つ 血を沸した早慶第二回戰

【東京特電二十七日發】晴れの早慶戰は結局一A對零で早大の勝利に歸したが七回後の經過左の如し

◇八回 慶應本田遊撃猛直球は野手の美技に阻まれ櫻井山下ともに捕邪飛▼早大高須遊匍長野遊飛後小島二壘強襲單打に出で永澤の遊飛は捕手の妨害となつて小島二進鶴岡打者の時小島、永澤の重盜成つたが鶴岡三匍

◇九回 慶應阿部投匍灰山(中村の代打)一直飛碣石中飛

	打數	安打	犠打	盜壘	三振	四球
慶應	32	3	0	0	2	3
早大	29	7	1	2	4	4

鮮人店員自殺

【奉天電話】二十六日午後六時三十分頃春日町櫻屋店員朝鮮平安北道生れ金萬福(二九)はカルモチンを嚥下して自殺を圖り、本朝に至り家人に發見され應急手當を施したるも生命危篤である、原因は郷里の實家が破産したのを苦にしたためであると

杉浦夫人葬儀

杉浦高等法院長夫人の葬儀は二十六日午後四時から旅順偕行社に於いて貴山牧師司會者となり、基督教を以て盛大に行はれた、愛國婦人會、篤志看護婦人會の弔辭、小原法相、馮滿洲國法相の弔電あり會葬者は野田工大學長、大場、日下、中村三局長、久保田要港部司令官代理、中根要塞司令官代理、御影池、安永兩署長、米岡市長、岡野大連市長代理、野村電々總裁代理を初め在旅文武官數百名に達し盛儀を極めた

炭疽病の豫防に 獸疫研究所を擴大
全滿に豫防注射施行

滿洲には二千五百頭以上の牛馬を有するが、これ等に傳播する炭疽病は滿洲の風土病ともいはれ一度猖獗すれば本年の北滿における如く馬匹の全滅を來すことがあるので、軍事上又産業上炭疽病の撲滅は緊急事であり日滿關係當局では是が對策を研究中であつたが、滿鐵獸疫研究所を擴大し炭疽血清製造能力を増して來年中に炭疽豫防注射を全滿に亘つて施行徹底的惡疫の撲滅を期することとなつた

即ち獸疫研究所では十年度豫算を以て炭疽血清製造工場を擴大することに決定、現在の七十萬瓦製造能力を三倍の二百瓦製造能力に増し血清製造に努めるが 炭疽血清は本年よりも倍加されて三十五萬瓦製造より七十萬瓦に増されたものである

なほソウエート側ではチタに炭疽病菌を製造する尨大なる細菌研究所を有してゐるが、時局柄滿洲における炭疽豫防注射は緊急を要するものとされてゐる

市の火葬場移轉 白雲山麓と決定
問題は地元市民の態度

昨年來大連市の懸案である市内火葬場移轉並に改築問題に對しては市衛生課でも本年度二月の衛生委員會開催以後諸般の調査及研究を續けてゐたことは既報の通りであるが目下豫算編成期を前にその具體案作成も去る二十五日終了し、來年度豫算に移轉並に改築費として十三萬圓を計上することに決定した、右具體案の内容は

現在の大連東火葬場(櫻花臺)を撤去して西火葬場(白雲山後)の一ケ所に合併すると共に、更に現在の石炭式燃燒を重油式に變更改築に決定し、今日迄の如き舊式な建物及び内部諸施設に對し一大改良を加へモダンな火葬場を建築する模様である 而して從來の石炭式では一個死體火葬には石炭約二圓、燃燒時間六時間以上を要してゐたものが、重油火葬によれば燃料費として九十錢、時間にして僅か一時間半程度に改善し得る見込みであるため、經費に於て多大の節減を見るのみならず當日中に遺骨をあげることが出來るわけ、たゞ問題は右の移轉問題が圓滿に解決するかどうかで、今日までも市では移轉に伴ふ敷地選定に關し屢々行き惱みの苦い經驗を有してゐる關係から、東火葬場廢止は地元住民の意向に副ふとしても、白雲山一帶の住民が前記移轉案に對し果して默してゐるか、火葬場設置が地價騰落を惹起するといふ基本的問題が解消されざる限り地元の反對は當然豫想されるものとし、その實現に多大の危惧の念を抱く向きがある

兒童讀物懇談會

大連伏見臺兒童圖書館では、二十九日午前十時半から大連民政署視學はじめ市内各小學校長並に圖書館當事者、童話家等を招き、兒童讀物についての懇談會を開くと

匪首苗克秀を射殺
三角地帶共匪の元兇

【大石橋電話】岫巖地區に於ける共產思想匪首魁苗克秀は部下五十名を率ゐ二十五日午時十時頃頭道干溝に向ひ移動せりとの確報を得た末田部隊は二十六日午前五時大孤子を出發、また在哨子河の滿洲國軍は午前三時、岫巖警察隊主力は三河子を午前五時にそれ〲出發し包圍隊形を以て頭道干溝に向つたが、二十七日午前五時滿洲國軍の尖兵は頭道干溝北方高地において共匪軍と遭遇戰鬪開始中、末田部隊も來援し縣警察隊も協力遂にこれを擊滅し苗克秀外一名を射殺した

なほ首魁苗克秀は北京大學出身で中西共產黨の指令を受け來滿し、一穴の中に印刷機その他を据付けパンフレット宣傳物を印刷し、各方面にこれを配布し奉天以南に於ける唯一の思想匪の首魁である

新川巡査轢かる
五龍背驛の構内にて

【安東電話】二十七日午前十時二十八分第二百十四貨物列車が五龍背驛に入構した際、折柄驛東北の支那街より線路を横切つて派出所に歸らんとした新川茂(二四)巡査を腹部轢斷卽死せしめた、急報に依り同貨物列車は沙河鎭到着を以て直に應急處置に向ひ、午後三時十分着列車で擔架に乘せられた無殘な死體は署長始め署員一同に迎へられて着安直に滿鐵病院に收容應急手當を加へた、原因は同巡査は第二百十四列車が二番線にはいる事を熟知して三番線に入構しあつと云ふ間に轢倒されたものと觀られて居るが、何時もの例を知つて居る同巡査は汽笛も自分に對するものとも思へず三番線に踏み止つて居たのではないかとされて居る、善後處置は目下協議中であるが同巡査は廣島縣人である

米十五俵盜む

市内西公園町四七薪炭商中村貫一氏倉庫へ二十六日午後八時より二十七日午前六時迄の間に何者か堅固な錠前を破壞して侵入、倉庫に積んであつた白米十五俵が盜み取られてゐることに驚き大連警察署へ屆け出たが現場附近には三輪車の跡が幾條もついてゐるので、犯人は大膽にも何回にも亘つて運び出したものと見られてゐるが、大連署でも遣口には舌を卷いてゐる

教育の實地指導
滿鐵の優秀な訓導を 奉天教育廳に招聘

【奉天電話】奉天省教育廳においては管下各學校の教育改善の目的で滿鐵經營の各學校より優秀なる指導者を招聘し十月十一月の兩月に亘り教育の實地指導を實施する事となつた、右指導者として元千代田小學校長生田美紀氏は遼陽、海城、鐵嶺、興城の各縣において郷土教育に就いて、千代田小學校三木都男訓導は東豐、西豐、西安各縣に於いて國語科に就いて、同稻次都一訓導は算術科に就いて省城各學校並に通遼、遼源各縣に於いて、教育研究所鈴木定次教授は省城各學校、梨樹、懷德各縣に於いて手工科に就いて、同小島教授は本溪、鳳城、安東各縣に於いて物理化學に就いてそれ〲當ることゝなつた

横領の穴埋に 詐欺を働く
遊蕩の幾久屋店員

大連浪速町幾久屋百貨店の一店員が二千餘圓の集金を横領し遊興費に費消した結果店主よりの請求に堀りかれて大膽にもその穴埋めに詐欺を働いたが遂にその目的を果さず逮捕された事件がある、幾久屋食料品外賣部店員石川直哉(二三)は二十六日午後九時美濃町にある自分の下宿先より同店商品券賣場に電話で滿洲報社長西片朝三氏が購買傳票で五十圓商品券四枚を欲しいさうだから今メッセンヂャーボーイをやるから直ぐ自分の所へ屆けてくれと申込んで來たので同店では石川の言葉を信用し早速それを屆けたところが一方石川は食料品外賣中二千餘圓を集金した儘それを着服し盛んに遊興してゐるばかりでなく現在食料品外賣主任からその金をしきりに請求されてゐるといふことが間もなく商品券賣場係の耳に入り、さては石川が何かの計畫で詐取したのではないかと感付き此の旨浪速町の派出所に屆け出ると同時に店員も直に石川の行方搜査を開始した

石川は二千餘圓の穴埋めに幾久屋を詐稱して臺灣三共商會のパインアップル罐詰四百四十五箱價格二千五百九十三圓を仕入れこれを二千二百二十五圓で賣却しやつと二千餘圓の穴埋めは濟ましたが〃向ふ立てれば此方が立たず〃今度は三共商會より矢の取り立てを受けて、どうしても言ひ逃れが出來ず、内金として二百圓を入れることを約して商品券の詐欺を思ひついたものである

そして石川は商品券詐欺後直に事情を知らぬ三共商會主と一緒にその賣捌きに苦心し發覺を恐れつゝ一枚々々市内質店に入質し三枚までを現金にかへ最後の一枚を携行して質店を物色中、浪速町派出所巡査と幾久屋店員に西廣場附近で逮捕され直に大連署へ突き出されたものである

傷心の夜に聽く チエロのリズム
聽衆に感銘のプレゼント
一昨夜フォ氏演奏會

音樂を聽く秋!感傷のチエロを嘉つて二十六日夜の協和會館におけるチエロ獨奏會には早くから聽衆が押し寄せ、定刻午後八時には場内は全く滿員となり、遙か沿線方面からも詰めかけたファンで入場者は一千を突破し、近來にないレコード的盛況であつた、滿場のッステの拍手に迎へられて不世出のチエロ天才エマヌエル・フォイヤーマン氏はピアノ伴奏のフリッツ・キッツインガー氏と共に壇上に現れ曲はまづトッカータのフレスコバルデイーに始まつたが、フランスの拜情的サンサーンスのテクニックにおいて果然滿場の聽衆を魅了し去つた

續いて最も奏曲困難とされてゐる奏鳴曲ヴァレンテイーニやロココの主題による變奏曲チャイコフスキー等が何等の困難もなく鮮かに演奏され〃素晴らしい!〃の絶讃が拍手となつてアンコールを浴びせかけ非常なる成功裡に十時終了散會した(寫眞は壇上のフオイヤーマン、キッツインガー兩氏)

救國軍陣容整備

【奉天電話】北平方面よりの情報に依れば滿洲事變後、失地回復、滿洲國の治安攪亂を目的に組織された東北義勇軍の現在の兵力は殆んど潰滅狀態に在るが最近北平軍事委員分會の操縱する勵志社及び軍事同濟會等の幹部と連絡して陣容を整へ歩兵五十四路二十七ケ枝隊、騎兵六ケ枝隊を有するが其の實力は殆んどないものと觀られて居る

洋畫研究所展

洋畫家平島信氏の大連洋畫研究所展覽會は二十六日より三十日まで大山通三越三階にて開催されてゐるが、第六回のこの洋畫展も年々着實な結果を見せつゝあるが、平島氏の熱河風景等落付いた技巧を持つて同展の畫風を代表しなか〲盛況を極めてゐる

千歳丸

二十八日午後一時大連港外着の豫定

安樂椅子

捨てる神あれば拾ふ神あり、世の中はうまくしたもの。滿洲事變を契機に日貨ボイコットをせざるを得なくなつた新嘉坡の華僑、拾ふものあり「廉價良質のニッポン商品でなけりや」と、印度商人がこれに目をつけた。

◇

この印度商、排日華僑の隙を狙つて着々日本商品で地盤をかため勢力を扶植してしまひ、最近では日本品デパートを開設して、英商デパートに對抗しようといふ、しかも目下工事中だとも。

◇

華僑遂に敗北す、と來るべきなのだが、行くとして可ならざるなき華僑依然餒れず。轉んでもたゞは起きぬ彼等。レッテルすり換政策で、捨てた振りした日本品を自ら拾ふ。逃げ途はあるもの。日本商品萬歲。

由比正雪 (70)

悟道軒圓玉演
武田一路畫

一貫目筒抱へ撃

此の時正雪は膝を進めて、

「されば紀伊家に仕へては何うか、大守大納言頼宣侯は家康公の第十子にて幼名常陸介と仰せられ、最も賢明な御方にて、一流に達せし武藝者は高禄を以て家臣となされる。貴公は火術に達して居る。由つてそれを申立て、かの御家に御奉公いたさば、一生は安樂と存ずる」

彌右衞門これを聞いて喜び

「先生の御推薦にて紀伊家に御奉公いたす事になりますれば拙者の幸福でござります」

「併しこれほどの火術に達して居ると云ふ事を御覽に入れれば御抱へにはなるまい」

「それは御道理至極、未熟ではござるが、砲術にては人後に落ちぬ自信もございます。一貫目筒を抱へ撃ちにして御覽に供します」

正雪はこれを聞いて吃驚した。彈丸の重量一貫目、その大砲を抱へて撃つと云ふ。今迄に斯んな

事は聞きも及ばぬ。然し牧野が斯う申す以上は必ず出來る事に相違ないと、これから紀伊家の水野美濃守にこの事を申入れた。美濃守より頼宣侯へ上申した。

これを聞かれて試驗の上採用すると申され、水野よりこれを正雪に沙汰をした。

越て八月の二日、品川の海岸に於て牧野彌右衞門が砲術の手練を見せる事になつた。

紀州頼宣侯は家康公が大層愛して居られた。尤も頼宣侯は非凡な人物でした。大阪の戰ひの時は十三歳でありましたが、茶臼山の本營に參つた時は既に城は落ちてゐた。依つて頼宣侯が、此の戰ひに參加いたさぬは殘念であると申された時に、家康公のお側にゐた本多佐渡守が、

「君は未だ御幼年、さすれば此後の一戰に御初陣の御功名をあそばせ」

斯う申すと、頼宣侯――此時は常陸介と申されたが、佐渡守をハッタと睨み、

「此の以後戰ひはあるにもせよ、予の十三歳といふ歳が再びあるか」

と言つた。これには本多佐渡守、ホンダ事を申上げましたと閉口したさうですが、家康公はこれを聞かれてこやつ常者ではないと、一

層寵愛されて、駿州沼津に於て八十萬石を與へる事にした。然るに大阪が落成した翌年元和二年四月十七日家康公薨去、これが爲に頼宣侯は八十萬石を領する事もならぬ。これは口約束で證據とすべき文書もない。その後二代將軍秀忠公は老臣と協議の上頼宣侯を紀州和歌山の城主として五十餘萬石を與へた。

幕府では何となく頼宣侯が恐ろしく思はれる。先づ注意人物です。三代將軍の時に明の遺臣鄭成功より日本に加勢の兵を乞うた。それは清と戰ふ爲め、すると頼宣侯が鄭成功の請ひを容れて、兵を率ゐて自分が大將として彼の地に渡り、清を打滅ぼし明を恢復するであらうと言つた。斯ういふ人物ですから幕府では氣味がわるい。それで和歌山の城主として其の周圍には譜代大名を置き、附家老といふ名義で安藤帶刀、水野美濃守などをして監視させた。さう云ふ譯で幕府では頼宣侯を眼の上……ではない眼の下の瘤の如く思つて

ゐる。此の頼宣侯を利用して正雪が、紀伊家よりの内命と號して同志を集めた。これにて正雪の拔目のない人物なる事も判る。併し一方には眞個く頼宣侯と深い關係があつたなぞとの説もあり。頼宣侯は幕府のすることが氣に入らぬ。時機があらば天下の實權を握らうといふ危險思想を抱いてゐたに相違ないと前の説に裏書をする學者もある。

頼宣侯は號を南龍と稱したが、おれは南の龍だといふ。北には仙臺の政宗を獨眼龍と申した。その東北と南に龍がゐた。それで頼宣侯は武藝に秀でた浪人をドシドシ家臣にいたし、今度正雪の紹介により牧野彌右衞門も試驗に及第すれば、紀州家に仕へる事になる。さすれば彌右衞門としては、此の試驗は最も大切。

滿日案內

● 三行一回金壹圓貳拾錢　● 五行一回金貳圓　● 十行一回金四圓　● 十五行一回金六圓　● 二十行一回金八圓　● 被雇廣金九拾錢　● 姓名在社金五拾錢增
電話は二六九五・四四九一番

人事

給仕　採用廿歳迄男子希望者履歷書持參廿八日午後二時本人來談山縣通廿二合名會社原田組

主婦　代理至急求む卅五歳以上五十五歳まで給二〇來信乞ふ　金州金泰公司　電二一一番

女事　務員及給仕採用タイピスト經驗者二十歳前後履歷書持參委細面談但馬町法律時報社

教養　ある産婆助手至急入用履歷書携帶本人來談　浪速町ライト寫眞館　電三六八八

女中　さん至急五六名入用十七より廿歳位迄給料面談伊勢町五九ダイジルシ果物店電三

店員　入用自十五六歳廿歳位迄市内確實なる要保證人信濃町市場内七六大木商店　電三

募集　家庭的必需品販賣員を要す男女年齡をとはず　秋月町一八　日笠（電九九一四）

和服　裁縫見習募集並に經驗者入用浪速町百七十番地坂下裁縫所帝國館筋向電二一九二

和服　裁縫實習生募集寄宿生通學生年齡十四五歳以上旅順市末廣町三五東屋裁縫所

女給　月收百圓以上確實二十三歳以上寫眞送れ　大奉天　カフエーサクラ

女給　數名募集　連鎖街ミスダイレン　電話六〇二九番

教授

邦文　タイピスト短期養成　大連市大山通　小林又七支店

邦文　タイピスト養成　午前・午後・夜間　山縣通　日本タイプライタ會社

タイ　ピスト英文邦文華文短期養成英邦文速記英語中等……

貸家

貸間　あり、日當良獨身勤人を望む　電二九四一八

電話

電話の賣買は弊商會を御利用願ひます（電三六九〇番）　西通九三　電話商會

商人　に限り日掛金融但一口百圓以上千圓迄　西公園町二九　電二三九一八　多田商會

電話　並に金融一般商人簡易に御相談に應ず　丸大商會　電二九四二〇

簡單　に低利内密に御貸しします伊勢町一〇九雲水ホテル前　佐藤（電八五九六）

小切　手先日附割引本人直接御來談、天神町二八　大洋社　電話二二三六一番

債券　勸業復興公債賣買並金融債券新規參錢株式現物店　西通三五　電話六六六三大連案内社

恩給　利安く最も長く立替　大連市飛彈町三東郷商前　永島

商品　券各店商品券高價買入　三越五分引買入　西通三五電車通四階建大連案内社

電話　賣買金融は正直洋行に限る、西廣場三河町入口　電話八七六五・五五五七番

金融　信用貸勤人の方極秘低利大口小口一般金融恩給　沙河口元町三　松光社電九九二七

金融　會社員に小口信用御用達を致します電話〇二二八　早苗町八一番地の二旭洋行　梶田

食料品

牛乳　バター、クリーム　大連牛乳株式會社電四五三七番

牛乳　バタ、クリーム　アイスクリーム……　電話六一三四番

醫院・治療・名藥

鶴見　齒科醫院　西公園町六九　電話八二〇三番

水蛭　有ります

早川齒科醫院

大連市西通九三常盤橋附近
電話三九七一番

雜件

謄寫版　至極便利安價各種品豐富　大連市大山通　小林又七支店販賣部

キャンベル卵　無限大量買入初生雛中雛種禽分讓説明呈設備羽數東洋一セヒ參觀乞分場經營者募名古屋櫻山町二曾木農園株式會社

寶　イラド　クリーニング商會　大連彌生高女前　電八三一六

電氣器具　舶來オスラム瓦斯入燈米國ヱバテレデー電球電熱器及びスタンド類　浪速町　山形洋行　電話〇三一五・八八六八番

廣告マッチ

大阪市浪速區元町三丁目　松下合資會社
カタログ送呈

女給さん　新開業ハルビン第一壯麗高尚なる店廿五歳迄の方十五名入用寄宿舍の設備有り優待す　詳細面談　西公園町　トキワホテル

不二謄寫版　不二タイプ原紙

滿洲發賣元　高級事務用品
大連市榮町二（惠比須町電停前）
大連　大氣堂　電話四二四九番
新京興運路（宮城前）
新京　大氣堂　電話二四二五番

家畜

犬

大阪商船出帆

各汽船切符發賣所は全滿各地ツーリスト・ビューロー

大連汽船出帆

川崎汽船大連出帆

阿波共同汽船

島谷汽船出帆

日本郵船出帆

近海郵船大連出帆

朝鮮郵船大連出帆

松浦汽船大連出帆

映畫案内

中央館　帝國館　松竹館　宮館　常盤座